

平成23年度

函館市各会計歳入歳出決算および
基金運用状況調書審査意見書

函館市監査委員

函 監

平成 2 4 年 8 月 2 7 日

函館市長 工 藤 壽 樹 様

函館市監査委員 渡 辺 宏 身

函館市監査委員 植 松 直

函館市監査委員 福 島 恭 二

函館市監査委員 佐 古 一 夫

平成 2 3 年度函館市各会計歳入歳出決算および基金運用状況
調書審査意見について

地方自治法第 2 3 3 条第 2 項および第 2 4 1 条第 5 項の規定により
審査に付された平成 2 3 年度函館市一般会計および特別会計の歳入歳出
決算、証書類およびその他関係書類ならびに土地開発基金の運用状況に
関する調書を審査したので、次のとおり意見を提出します。

目 次

| [意見書編] | ページ |
|---|-----|
| I 審 査 の 対 象 | 1 |
| II 審 査 の 期 間 | 1 |
| III 審 査 の 要 領 | 1 |
| IV 決 算 の 概 要 | |
| 1 決 算 規 模 | 2 |
| 2 決 算 収 支 の 状 況 | 4 |
| 3 執 行 率 の 状 況 | 6 |
| 4 財 政 指 標 | 6 |
| V 審 査 の 結 果 | |
| 1 総 括 | |
| (1) 予 算 の 編 成 方 針 等 | 9 |
| (2) 審 査 意 見 | 10 |
| 2 一 般 会 計 | |
| (1) 決 算 状 況 等 | 11 |
| (2) 歳 入 | 26 |
| (3) 歳 出 | 39 |
| 3 特 別 会 計 | |
| (1) 港 湾 事 業 特 別 会 計 | 50 |
| (2) 国 民 健 康 保 険 事 業 特 別 会 計 | 55 |
| (3) 自 転 車 競 走 事 業 特 別 会 計 | 60 |
| (4) 奨 学 資 金 特 別 会 計 | 64 |
| (5) 地 方 卸 売 市 場 事 業 特 別 会 計 | 67 |
| (6) 介 護 保 険 事 業 特 別 会 計 | 73 |
| (7) 風 力 発 電 事 業 特 別 会 計 | 77 |
| (8) 母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 特 別 会 計 | 79 |
| (9) 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 特 別 会 計 | 84 |

| | |
|---------------------|----|
| 4 財産に関する調書 | 87 |
| 5 土地開発基金の運用状況 | 89 |

[資料編]

決算審査資料

[注記]

- 1 文中に用いた金額は、千円未満を切り捨て、千円単位で表示した。
- 2 文中および各表中の比率は、小数点第2位を四捨五入した。
- 3 上記のように表記している結果、文中および各表中の数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。

平成23年度函館市各会計歳入歳出決算および基金運用状況調書審査意見

I 審査の対象

- 平成23年度 函館市一般会計決算
- 平成23年度 函館市港湾事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市国民健康保険事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市自転車競走事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市奨学資金特別会計決算
- 平成23年度 函館市地方卸売市場事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市介護保険事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市風力発電事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市後期高齢者医療事業特別会計決算
- 平成23年度 函館市土地開発基金の運用状況

II 審査の期間

平成24年7月13日から平成24年8月20日まで

III 審査の要領

審査にあたっては、提出された資料に基づき決算状況の聴取を行うとともに、各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書および土地開発基金の運用状況に関する調書について関係法令の規定に準拠して作成されているかを確認、さらにこれらの書類の計数が正確に表示されているかについて会計諸帳簿および証書類との照合を行い、あわせて各会計の決算状況等について審査した。

なお、証書類の検証、現金・預金の残高の確認については、地方自治法第235条の2の規定に基づき、別に例月現金出納検査において実施し、その結果も踏まえて審査した。

IV 決算の概要

平成23年度の一般会計と特別会計を合わせた決算の概要は、次のとおりである。

1 決算規模

(1) 決算規模および純計の状況

当年度の決算規模および純計の状況は、次の表のとおりである。

| 区 分 | | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 | |
|------|------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------------|
| | | | | 増減額 | 増減率 |
| 総計 | 歳入総額 A | 211,111,644,724 | 210,509,222,084 | 602,422,640 | 0.3 |
| | 一般会計 | 131,897,366,869 | 126,840,873,388 | 5,056,493,481 | 4.0 |
| | 特別会計 | 79,214,277,855 | 83,668,348,696 | △4,454,070,841 | △5.3 |
| | 歳出総額 B | 210,666,903,267 | 209,485,625,287 | 1,181,277,980 | 0.6 |
| | 一般会計 | 130,844,120,949 | 125,731,465,064 | 5,112,655,885 | 4.1 |
| | 特別会計 | 79,822,782,318 | 83,754,160,223 | △3,931,377,905 | △4.7 |
| | 差引残額 A - B | 444,741,457 | 1,023,596,797 | △578,855,340 | △56.6 |
| | 一般会計 | 1,053,245,920 | 1,109,408,324 | △56,162,404 | △5.1 |
| | 特別会計 | △608,504,463 | △85,811,527 | △522,692,936 | 609.1 |
| | 純計 | 歳入総額 | 201,795,960,080 | 200,992,217,847 | 803,742,233 |
| 一般会計 | | 131,893,766,869 | 126,837,273,388 | 5,056,493,481 | 4.0 |
| 特別会計 | | 69,902,193,211 | 74,154,944,459 | △4,252,751,248 | △5.7 |
| 歳出総額 | | 201,351,218,623 | 199,968,621,050 | 1,382,597,573 | 0.7 |
| 一般会計 | | 121,532,036,305 | 116,218,060,827 | 5,313,975,478 | 4.6 |
| 特別会計 | | 79,819,182,318 | 83,750,560,223 | △3,931,377,905 | △4.7 |

当年度の**一般会計および特別会計の決算額の総計**は、**歳入総額**211,111,644千円（一般会計131,897,366千円、特別会計79,214,277千円）、**歳出総額**210,666,903千円（一般会計130,844,120千円、特別会計79,822,782千円）であり、**歳入歳出差引残額**444,741千円（一般会計1,053,245千円の黒字、特別会計608,504千円の赤字）となった。

当年度の決算額の総計を前年度に比較すると、歳入総額において602,422千円（0.3%）の増（一般会計5,056,493千円4.0%増、特別会計4,454,070千円5.3%減）、歳出総額では1,181,277千円（0.6%）の増（一般会計5,112,655千円4.1%増、特別会計3,931,377千円4.7%減）となった。

また、各会計間の繰入れ、繰出しによる重複額を控除した純計決算額では、歳入総額201,795,960千円（一般会計131,893,766千円、特別会計69,902,193千円）、歳出総額201,351,218千円（一般会計121,532,036千円、特別会計79,819,182千円）であり、これを前年度に比較すると、歳入総額において803,742千円（0.4%）の増（一般会計5,056,493千円4.0%増、特別会計4,252,751千円5.7%減）、歳出総額では1,382,597千円（0.7%）の増（一般会計5,313,975千円4.6%増、特別会計3,931,377千円4.7%減）となった。

(2) 繰入金および繰出金の状況

当年度の各会計間における繰入金および繰出金の状況は、次の表のとおりである。

| 会 計 名 | 平成 2 3 年 度 | | 平成 2 2 年 度 | | 対 前 年 度 比 較 | | |
|------------------|----------------|--------------------|----------------|--------------------|--------------|-------------------|---|
| | 繰 入 金 | 繰 出 金 | 繰 入 金 | 繰 出 金 | 繰 入 金 | 繰 出 金 | |
| 一 般 会 計 | 円 3,600,000 | 円 9,312,084,644 | 円 3,600,000 | 円 9,513,404,237 | 円 0 | 円 △201,319,593 | |
| 特 別 会 計 | 港 湾 事 業 | 2,361,420,000 | — | 2,802,052,000 | — | △440,632,000 | — |
| | 国民健康保険事業 | 2,773,138,644 | — | 2,682,357,237 | — | 90,781,407 | — |
| | 地方卸売市場事業 | 190,785,000 | — | 211,185,000 | — | △20,400,000 | — |
| | 介護保険事業 | 3,156,365,000 | — | 3,020,622,000 | — | 135,743,000 | — |
| | 風力発電事業 | 6,500,000 | 3,600,000 | — | 3,600,000 | 6,500,000 | 0 |
| | 母子寡婦福祉資金貸付事業 | 42,000,000 | — | 25,823,000 | — | 16,177,000 | — |
| | 後期高齢者医療事業 | 781,876,000 | — | 771,365,000 | — | 10,511,000 | — |
| 計 | 9,312,084,644 | 3,600,000 | 9,513,404,237 | 3,600,000 | △201,319,593 | 0 | |
| 合 計 | 9,315,684,644 | 9,315,684,644 | 9,517,004,237 | 9,517,004,237 | △201,319,593 | △201,319,593 | |

当年度の各会計における繰入金および繰出金の状況は、一般会計から特別会計に対し合計9,312,084千円が繰出されており、前年度に比較して201,319千円減少しているが、これは、国民健康保険事業90,781千円、介護保険事業135,743千円、風力発電事業6,500千円、母子寡婦福祉資金貸付事業16,177千円、後期高齢者医療事業10,511千円の増があったものの、港湾事業440,632千円、地方卸売市場事業20,400千円の減があったためである。

また、特別会計から一般会計に対し3,600千円が繰出されているが、これは風力発電事業からの繰出しである。

2 決算収支の状況

当年度の一般会計および特別会計の決算収支状況は、次の表のとおりである。

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 歳 入 | | 歳 出 | | 当年度形式収支額 (歳入歳出差引残額) D = B - C |
|-------------------------|-----------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-------------------------------------|
| | | 収 入 済 額 B | 執行率 B/A | 支 出 済 額 C | 執行率 C/A | |
| | 円 | 円 | % | 円 | % | 円 |
| 一 般 会 計 | 133,306,724,140 | 131,897,366,869 | 98.9 | 130,844,120,949 | 98.2 | 1,053,245,920 |
| 特 別 会 計 | 81,020,141,000 | 79,214,277,855 | 97.8 | 79,822,782,318 | 98.5 | △608,504,463 |
| 港 湾 事 業 | 3,594,892,000 | 3,600,814,847 | 100.2 | 3,576,971,211 | 99.5 | 23,843,636 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 | 35,297,974,000 | 34,293,243,690 | 97.2 | 34,758,713,721 | 98.5 | △465,470,031 |
| 自 転 車 競 走 事 業 | 15,728,230,000 | 15,092,537,180 | 96.0 | 15,699,391,535 | 99.8 | △606,854,355 |
| 奨 学 資 金 | 41,370,000 | 46,231,499 | 111.8 | 41,196,179 | 99.6 | 5,035,320 |
| 地 方 卸 売 市 場 事 業 | 490,238,000 | 484,766,834 | 98.9 | 477,528,609 | 97.4 | 7,238,225 |
| 老 人 保 健 医 療 事 業 | — | — | — | — | — | — |
| 介 護 保 険 事 業 | 21,902,865,000 | 21,862,761,306 | 99.8 | 21,643,007,953 | 98.8 | 219,753,353 |
| 風 力 発 電 事 業 | 18,978,000 | 18,630,312 | 98.2 | 17,514,830 | 92.3 | 1,115,482 |
| 母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 | 188,830,000 | 226,011,814 | 119.7 | 109,785,355 | 58.1 | 116,226,459 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 3,756,764,000 | 3,589,280,373 | 95.5 | 3,498,672,925 | 93.1 | 90,607,448 |
| 合 計 | 214,326,865,140 | 211,111,644,724 | 98.5 | 210,666,903,267 | 98.3 | 444,741,457 |

当年度の**形式収支**は、一般会計で1,053,245千円の黒字、特別会計では、港湾事業など7事業で463,819千円の黒字を生じたが、国民健康保険事業で465,470千円、自転車競走事業で606,854千円の赤字となったことから608,504千円の赤字となり、これらを合わせた**全会計の形式収支**は444,741千円の黒字となった。

また、**実質収支**は、翌年度へ繰り越すべき財源として、一般会計で繰越明許費繰越額5,133千円、事故繰越し繰越額16,571千円があることから、実質収支額は、一般会計1,031,541千円の黒字、特別会計608,504千円の赤字となり、**全会計の実質収支**は423,037千円の黒字となっている。

なお、**単年度収支**は、前年度の実質収支において一般会計934,464千円の黒字、特別会計117,941千円の赤字であり、全会計の実質収支は816,522千円の黒字であったことから、単年度収支額は、一般会計97,077千円の黒字、特別会計490,562千円の赤字となり、**全会計の単年度収支**は393,485千円の赤字となっている。

| 翌年度へ繰り越すべき財源 | | | | 当年度 | 前年度 | 当年度 |
|--------------|--------------|--------------|------------|--------------------|--------------|-----------------|
| 継続費通次 繰越額 | 繰越明許費 繰越額 | 事故繰越し 繰越額 | 計 E | 実質収支額 F = D - E | 実質収支額 G | 単年度収支額 F - G |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| - | 5,133,000 | 16,571,000 | 21,704,000 | 1,031,541,920 | 934,464,184 | 97,077,736 |
| - | - | - | - | △608,504,463 | △117,941,527 | △490,562,936 |
| - | - | - | - | 23,843,636 | 25,140,792 | △1,297,156 |
| - | - | - | - | △465,470,031 | △121,152,883 | △344,317,148 |
| - | - | - | - | △606,854,355 | △579,943,852 | △26,910,503 |
| - | - | - | - | 5,035,320 | 7,306,227 | △2,270,907 |
| - | - | - | - | 7,238,225 | 27,673 | 7,210,552 |
| - | - | - | - | - | 10,050,836 | - |
| - | - | - | - | 219,753,353 | 424,779,468 | △205,026,115 |
| - | - | - | - | 1,115,482 | 679,449 | 436,033 |
| - | - | - | - | 116,226,459 | 38,222,884 | 78,003,575 |
| - | - | - | - | 90,607,448 | 76,947,879 | 13,659,569 |
| - | 5,133,000 | 16,571,000 | 21,704,000 | 423,037,457 | 816,522,657 | △393,485,200 |

3 執行率の状況

当年度の一般会計および特別会計の予算現額に対する決算額の割合（以下「執行率」という。）は、次の表のとおりであり一般会計、特別会計の合計で見ると、歳入98.5%、歳出98.3%となっており、前年度に比較すると歳入は0.4ポイントの増、歳出は0.7ポイントの増となっている。

| 区 分 | 歳 入 | | | 歳 出 | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 |
| | % | % | ポイント | % | % | ポイント |
| 一 般 会 計 | 98.9 | 98.3 | 0.6 | 98.2 | 97.5 | 0.7 |
| 特 別 会 計 | 97.8 | 97.8 | 0.0 | 98.5 | 97.9 | 0.6 |
| 計 | 98.5 | 98.1 | 0.4 | 98.3 | 97.6 | 0.7 |

4 財政指標

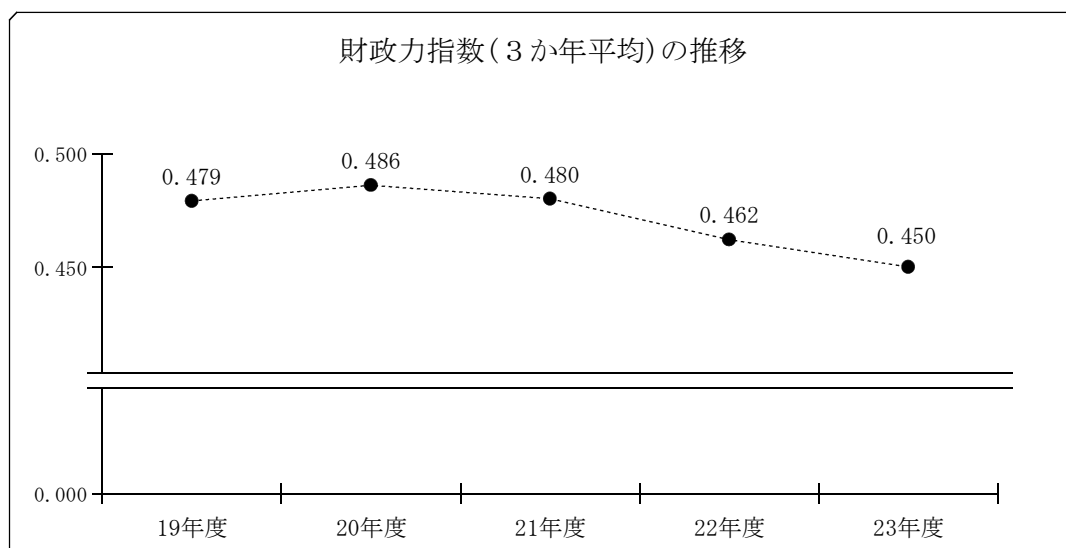
当年度における地方財政状況調査の数値を基にした普通会計ベースによる財政指標の状況は、次のとおりである。

※ 普通会計：地方財政状況調査において統一的に用いられる会計区分であり、一般会計と公営事業会計以外の特別会計を統合し、会計間の重複等を控除して一つの会計として集計したものである。

(1) 財政力指数

当年度の**財政力指数**は0.450であり、前年度に比較すると0.012ポイント悪化している。

| 区 分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 |
|------------------|--------|--------|--------|
| 財政力指数 (3か年平均) | 0.450 | 0.462 | △0.012 |



※ 財政力指数：次の数式により得られた数値の各年度における過去3か年の平均値であり、地方公共団体の財政力を評価するための指標となるもので、数値が1を超えるほど財源に余裕があるものとされる。

$$\text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$$

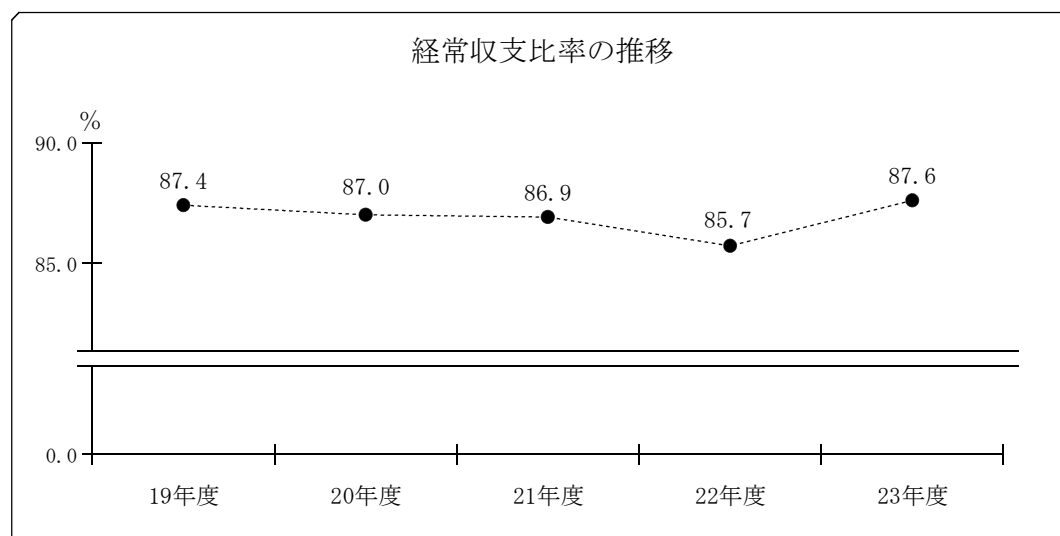
基準財政収入額：普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体の財政力を合理的に測定するため、標準状態で徴収が見込まれる税金等を一定の方法により算定した額

基準財政需要額：普通交付税の算定に用いるもので、地方公共団体が合理的かつ妥当な水準における行政を行うためなどの財政需要を一定の方法によって合理的に算定した額

(2) 経常収支比率

当年度の**経常収支比率**は87.6%であり、前年度に比較すると1.9ポイント悪化している。

| 区 分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 |
|--------|--------|--------|--------|
| 経常収支比率 | 87.6 | 85.7 | 1.9 |



※ 経常収支比率：次の数式により得られた数値であり、財政構造の弾力性を測定する比率として使われ、70～80%が標準的とされる。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源の額}}{\text{経常一般財源総額}} \times 100$$

経常経費充当一般財源：使途が特定されない収入のうち毎年度連続して経常的に支出される経費に充てられた額

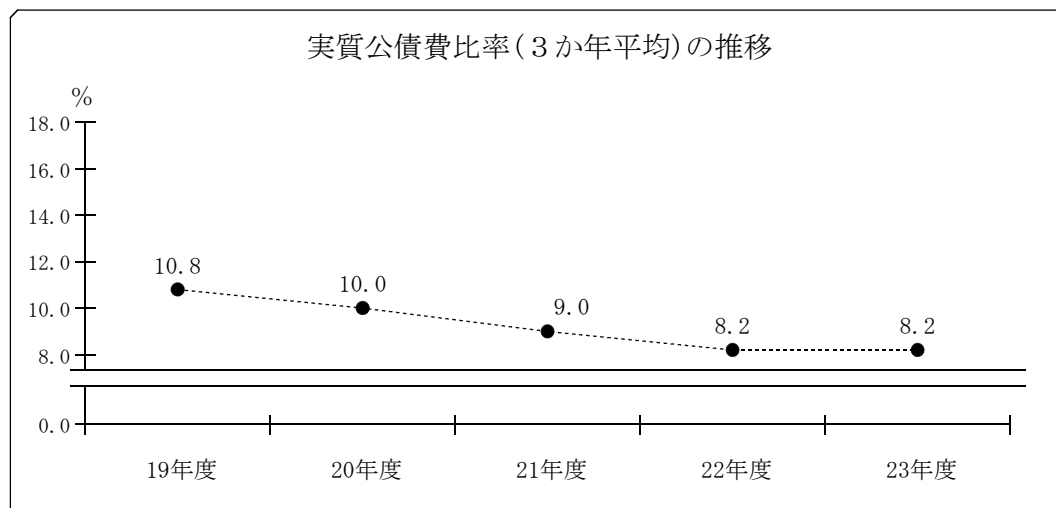
経常一般財源総額：毎年度連続して経常的に収入される財源のうち、使途が特定されない収入額で減税補てん債、臨時財政対策債の額を加えた額

(3) 実質公債費比率

当年度の**実質公債費比率**は8.2%であり、前年度と同率となっている。

なお、平成19年度決算から地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴い、実質公債費比率の算定方法が変更となっている。

| 区 分 | 平成23年度 | 平成22年度 | 対前年度比較 |
|--------------------|--------|--------|--------|
| | % | % | ポイント |
| 実質公債費比率 (3か年平均) | 8.2 | 8.2 | 0.0 |



※ 実質公債費比率：次の数式により得られた数値の各年度における過去3か年の平均値をいう。起債制限の基準となる比率であり、18%以上の場合は地方債の協議制から許可制（団体）となり、25%以上の場合は起債制限を受ける。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{(\text{地方債の元利償還金} + \text{準元利償還金}) - (\text{特定財源} + \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額})}{\text{標準財政規模} - \text{元利償還金} \cdot \text{準元利償還金に係る基準財政需要額算入額}} \times 100$$

準元利償還金：イからホまでの合計額

イ：満期一括償還地方債について、償還期間を30年とする元金均等年賦償還とした場合における1年当たりの元金償還相当額

ロ：一般会計等から一般会計等以外の特別会計への繰出金のうち、公営企業債の償還の財源に充てたと認められるもの（例 下水道事業の雨水分元利償還金など）

ハ：組合・地方開発事業団（以下「組合等」という。）への負担金・補助金のうち、組合等が起こした地方債の償還の財源に充てたと認められるもの（例 はこだて未来大学の校舎分償還金など）

ニ：債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの（例 臨空工業団地購入費など）

ホ：一時借入金の利子

標準財政規模：基準財政収入額の算定対象とされた標準税収入総額と普通交付税の合計額である。

なお、健全化判断比率を算出する際の「標準財政規模」は、決算統計における標準財政規模と臨時財政対策債発行可能額の合計額である。

特定財源：貸付金の元利償還金、住宅使用料、都市計画税の一部など

算定基準の変更点：上記算式のうち、平成19年度決算から特定財源に都市計画税の一部が加算された。

V 審 査 の 結 果

1 総 括

各会計の歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令の規定に準拠して作成されており、表示された計数は、関係書類と照合の結果、符合し、平成23年度の決算状況を正確に表示しているものと認められた。

以下、一般会計と特別会計を合わせた決算について、審査した結果は次のとおりである。

(1) 予算の編成方針等

近年、地方財政は、長引く景気低迷の影響による地方税収入の減少などにより、引き続き、多額の財源不足を生じるとともに、数次の景気対策による公共事業の追加、臨時財政対策債の発行等により多額の借入金残高を抱えており、その償還が将来の大きな負担となるなど、厳しい状況が続いている。

このような極めて厳しい地方財政の現状を踏まえ、国においては、平成23年度の地方財政計画の策定にあたり、歳出面では、経費全般について徹底した節減合理化に努める一方、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行うとともに、地域活性化・雇用・子育て施策等に取り組むために必要な経費を計上することとしたほか、歳入面では、「財政運営戦略」に基づき、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、実質的に平成22年度の水準を下回らないよう確保することを基本として、引き続き生じる大幅な財源不足については、地方財政の運営上支障がないよう適切な補てん措置を講じることとしたところである。

このようななか、本市においては、厳しい地域経済や雇用情勢のもと、国勢調査時の人口減少に伴う地方交付税の減収に加え、扶助費等の義務的経費の増嵩が見込まれるなど、多額の財源不足が予測される状況にあった。

また、当年度は市長の改選期であったため、行政運営の基本的な経費を中心とした、いわゆる骨格予算を編成したところであるが、新規事業および政策的経費は計上しないことを原則としつつも、厳しい経済情勢等を踏まえ、緊急性や継続性のあるものは、政策的経費であっても当初予算に計上したところである。

さらに、市長選挙後の6月補正予算においては、市政執行方針に掲げた「活気に満ちて、だれもが幸せに暮らせるまち・函館」を目標として、主要施策である「函館の経済を再生する」、「函館市の財政を再建する」、「日本一の福祉都市をめざす」、「子どもたちと若者の未来を拓く」、「市民が誇れる美しいまちをつくる」、「市民参画と広域連携の推進のために」の6項目の柱に基づき各種の施策・事業予算を計上したところである。

(2) 審 査 意 見

当年度は、長引く景気低迷の影響などにより、財源不足の増大が見込まれたことから、予算編成時において、退職手当債 22 億円の発行を見込んだほか、財源調整分として減債基金の取り崩し 9 億円を予定し収支の均衡を図ったところであるが、決算においては、歳入では地方交付税が減となったものの、歳出で人件費の減額や経費の節減を行ったことなどにより、退職手当債の発行を 10 億円に、減債基金の取り崩しを 4 億円にとどめることができた。

また、予算計上していた各種施策や事業については、2 月中旬の豪雪により一部の事業において事故繰越しが生じたほかは、概ね予定どおり執行された決算となっている。

当年度の決算の内容をみると、前年度に比べ、歳入では、地方交付税や譲与税・交付金などが大幅に減少するなか、基金からの繰入金や退職手当債などの市債の発行が増加したほか、歳出では、依然として扶助費等の占める割合が高く、増加傾向に歯止めがかからない状態が続いている。

一方、財政状況については、実質公債費比率は前年度と同率で推移したが、財政の豊かさを示す財政力指数および財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、いずれも悪化しており、非常に厳しい財務指標となっている。

今後においても、扶助費等の義務的経費が引き続き高い割合で推移することが見込まれるほか、効果的で質の高い福祉サービスの提供、産業・経済の活性化や雇用環境の向上に向けた各種取り組み、さらに子育て支援の充実や学校教育環境の向上に向けた諸施策の実施などが求められている。

このようななか、本市においては、基金の取り崩しや退職手当債に依存しない財政運営の確立を目指すため、平成 24 年度から平成 28 年度までを計画期間とした「新たな行財政改革プラン」の策定に向け取り組んでいるところである。

今後の財政運営にあたっては、行財政改革の取り組みを継続するとともに、限りある財源の有効活用、さらには健全な財政運営という観点から、中長期の財政見通しのもと、施策効果、その必要性、優先度などを十分考慮し、変化する地域の経済環境、多様化する市民ニーズに的確に対応する各種施策や事業に取り組み、もって市民福祉の向上と地域の振興発展に向けたまちづくりを推進されるよう要望する。

以下、各会計の決算状況について、審査した結果は次のとおりである。

2 一般会計

(1) 決算状況等

ア 歳入

(ア) 決算状況

| 区分 | 予算現額 A | 調定額 B | 収入済額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収入未済額 B-C-D |
|------|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|------------|---------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 133,306,724,140 | 137,718,451,331 | 131,897,366,869 | 98.9 | 95.8 | 1,700,091,118 | 4,120,993,344 |
| 22年度 | 128,997,941,000 | 131,645,366,147 | 126,840,873,388 | 98.3 | 96.4 | 473,660,789 | 4,330,831,970 |
| 対前年度 | 増減額 | 4,308,783,140 | 6,073,085,184 | 5,056,493,481 | | 1,226,430,329 | △209,838,626 |
| | 増減率 | 3.3% | 4.6% | 4.0% | | 258.9% | △4.8% |

当年度の**歳入の決算状況**は、当初予算額131,016,000千円、補正予算額1,785,733千円、継続費及び繰越事業費繰越財源充当額504,991千円で**予算現額**は133,306,724千円となっており、これに対して、**調定額**137,718,451千円、**収入済額**は131,897,366千円となっている。

予算現額に対する執行率は98.9%であり、前年度に比較し0.6ポイント増加している。

また、収入済額を前年度に比較すると5,056,493千円（4.0%）増加しているが、これは、繰入金において地域振興基金からの繰入金の増などにより3,782,009千円増の4,096,271千円、市債において退職手当債の皆増などにより1,096,200千円増の11,586,700千円となったことなどによるものである。

(イ) 不納欠損額

| 区分 | 平成23年度 | | 平成22年度 | | 対前年度比較 | |
|----------|---------------|-------|-------------|-------|---------------|-------|
| | 不納欠損額 | 構成比率 | 不納欠損額 | 構成比率 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 市税 | 394,510,617 | 23.2 | 382,171,562 | 80.7 | 12,339,055 | 3.2 |
| 分担金及び負担金 | 43,449,090 | 2.6 | 47,611,972 | 10.1 | △4,162,882 | △8.7 |
| 使用料及び手数料 | 8,044,380 | 0.5 | 7,807,060 | 1.6 | 237,320 | 3.0 |
| 諸収入 | 1,254,087,031 | 73.8 | 36,070,195 | 7.6 | 1,218,016,836 | 激増 |
| 合計 | 1,700,091,118 | 100.0 | 473,660,789 | 100.0 | 1,226,430,329 | 258.9 |

当年度の**不納欠損額**は1,700,091千円であり、これは、市税394,510千円、分担金及び負担金43,449千円、使用料及び手数料8,044千円、諸収入1,254,087千円によるものである。

また、不納欠損額を前年度に比較すると1,226,430千円（258.9%）の増加となっているが、これは、諸収入において老人保健医療給付費返還金の皆増があったほか、生活保護費返還金収入の増などにより1,218,016千円増の1,254,087千円となったことなどによるものである。

(ウ) 収入未済額

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|----------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | 収入未済額 | 構成比率 | 収入未済額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 市 税 | 2,839,532,461 | 68.9 | 2,947,672,432 | 68.1 | △108,139,971 | △3.7 |
| 分担金及び負担金 | 283,598,780 | 6.9 | 313,898,935 | 7.2 | △30,300,155 | △9.7 |
| 使用料及び手数料 | 196,962,990 | 4.8 | 205,483,733 | 4.7 | △8,520,743 | △4.1 |
| 財 産 収 入 | 10,737,319 | 0.3 | 11,950,663 | 0.3 | △1,213,344 | △10.2 |
| 諸 収 入 | 790,161,794 | 19.2 | 851,826,207 | 19.7 | △61,664,413 | △7.2 |
| 合 計 | 4,120,993,344 | 100.0 | 4,330,831,970 | 100.0 | △209,838,626 | △4.8 |

当年度の**収入未済額**は4,120,993千円であり、これは、市税2,839,532千円、分担金及び負担金283,598千円、使用料及び手数料196,962千円、財産収入10,737千円、諸収入790,161千円によるものである。

また、収入未済額を前年度に比較すると209,838千円（4.8%）の減少となっているが、これは、市税において個人市民税などの減により108,139千円減の2,839,532千円、諸収入において生活保護費返還金収入の減などにより61,664千円減の790,161千円となったことなどによるものである。

イ 歳 出

(ア) 決算状況

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | |
|--------|-----------------|-----------------|---------------|-------------|---------------|--------------|
| | A | B | B/A | C | A - B - C | |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 3 年度 | 133,306,724,140 | 130,844,120,949 | 98.2 | 515,735,000 | 1,946,868,191 | |
| 2 2 年度 | 128,997,941,000 | 125,731,465,064 | 97.5 | 504,991,140 | 2,761,484,796 | |
| 対前年度 | 増減額 | 4,308,783,140 | 5,112,655,885 | | 10,743,860 | △814,616,605 |
| | 増減率 | 3.3% | 4.1% | | 2.1% | △29.5% |

当年度の**歳出の決算状況**は、当初予算額131,016,000千円、補正予算額1,785,733千円、継続費及び繰越事業費繰越額504,991千円で**予算現額**は133,306,724千円となっており、これに対して、**支出済額**は130,844,120千円となっている。

予算現額に対する執行率は98.2%であり、前年度に比較し0.7ポイント増加している。

また、支出済額を前年度に比較すると5,112,655千円（4.1%）増加しているが、これは、扶助費等において生活保護費の増などにより1,007,673千円増の37,195,023千円、公営企業会計繰出金において病院事業分の増などにより2,631,552千円増の7,735,763千円となったことなどによるものである。

(イ) 翌年度繰越額

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------|-------------|-------|-------------|-------|--------------|-------|
| | 翌年度繰越額 | 構成比率 | 翌年度繰越額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 総 務 費 | — | — | 83,097,000 | 16.5 | △83,097,000 | 皆減 |
| 民 生 費 | — | — | 78,565,500 | 15.6 | △78,565,500 | 皆減 |
| 衛 生 費 | — | — | 58,500,000 | 11.6 | △58,500,000 | 皆減 |
| 労 働 費 | — | — | 2,300,000 | 0.5 | △2,300,000 | 皆減 |
| 農 林 水 産 費 | 3,564,000 | 0.8 | — | — | 3,564,000 | 皆増 |
| 商 工 費 | — | — | 7,000,000 | 1.4 | △7,000,000 | 皆減 |
| 土 木 費 | 142,671,000 | 27.7 | 4,900,000 | 1.0 | 137,771,000 | 激増 |
| 消 防 費 | 340,500,000 | 66.0 | — | — | 340,500,000 | 皆増 |
| 教 育 費 | 29,000,000 | 5.6 | 270,628,640 | 53.6 | △241,628,640 | △89.3 |
| 合 計 | 515,735,000 | 100.0 | 504,991,140 | 100.0 | 10,743,860 | 2.1 |

当年度の**翌年度繰越額**は515,735千円であり、これは、土木費142,671千円、消防費340,500千円、教育費29,000千円などによるものであるが、前年度に比較すると10,743千円（2.1%）の増加となっている。

(ウ) 不 用 額

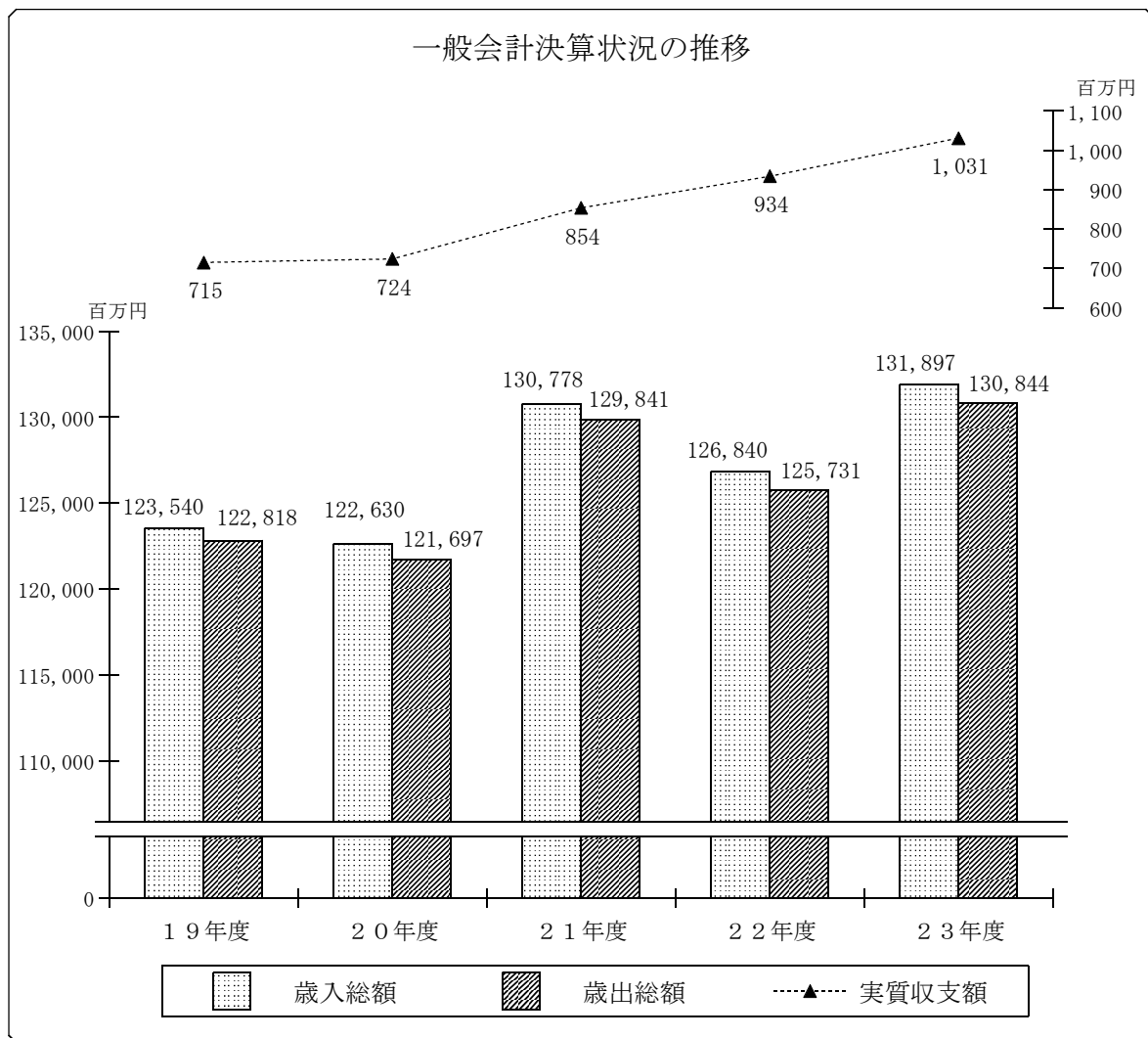
| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------|---------------|-------|---------------|-------|--------------|-------|
| | 不 用 額 | 構成比率 | 不 用 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 議 会 費 | 22,925,157 | 1.2 | 23,367,759 | 0.8 | △442,602 | △1.9 |
| 総 務 費 | 169,512,066 | 8.7 | 208,983,665 | 7.6 | △39,471,599 | △18.9 |
| 民 生 費 | 875,719,931 | 45.0 | 738,169,676 | 26.7 | 137,550,255 | 18.6 |
| 衛 生 費 | 342,508,027 | 17.6 | 476,100,097 | 17.2 | △133,592,070 | △28.1 |
| 労 働 費 | 36,145,014 | 1.9 | 25,620,709 | 0.9 | 10,524,305 | 41.1 |
| 農 林 水 産 費 | 55,223,860 | 2.8 | 35,910,652 | 1.3 | 19,313,208 | 53.8 |
| 商 工 費 | 84,652,783 | 4.3 | 62,887,736 | 2.3 | 21,765,047 | 34.6 |
| 土 木 費 | 122,018,844 | 6.3 | 214,944,383 | 7.8 | △92,925,539 | △43.2 |
| 消 防 費 | 2,172,407 | 0.1 | 961,953 | 0.0 | 1,210,454 | 125.8 |
| 教 育 費 | 121,197,754 | 6.2 | 155,762,906 | 5.6 | △34,565,152 | △22.2 |
| 災 害 復 旧 費 | 642,000 | 0.0 | — | — | 642,000 | 皆増 |
| 公 債 費 | 50,773,395 | 2.6 | 49,333,813 | 1.8 | 1,439,582 | 2.9 |
| 諸 支 出 金 | 28,073,409 | 1.4 | 100,928,138 | 3.7 | △72,854,729 | △72.2 |
| 職 員 費 | 1,792,149 | 0.1 | 204,987,075 | 7.4 | △203,194,926 | △99.1 |
| 予 備 費 | 33,511,395 | 1.7 | 463,526,234 | 16.8 | △430,014,839 | △92.8 |
| 合 計 | 1,946,868,191 | 100.0 | 2,761,484,796 | 100.0 | △814,616,605 | △29.5 |

当年度の**不用額**は1,946,868千円であり、これは、総務費169,512千円、民生費875,719千円、衛生費342,508千円、土木費122,018千円、教育費121,197千円などによるものであるが、前年度に比較すると814,616千円（29.5%）の減少となっている。

ウ 決算収支

| 区 分 | 歳入総額 A | 歳出総額 B | 形式収支額 C = A - B | 翌年度へ繰り越すべき財源 D | 実質収支額 C - D |
|-------------|-----------------|-----------------|--------------------|-------------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 23年度 | 131,897,366,869 | 130,844,120,949 | 1,053,245,920 | 21,704,000 | 1,031,541,920 |
| 22年度 | 126,840,873,388 | 125,731,465,064 | 1,109,408,324 | 174,944,140 | 934,464,184 |
| 対前年度 増減額 | 5,056,493,481 | 5,112,655,885 | △56,162,404 | △153,240,140 | 97,077,736 |
| 対前年度 増減率 | 4.0% | 4.1% | △5.1% | △87.6% | 10.4% |

当年度の**形式収支**は1,053,245千円の黒字となったが、**実質収支**では、翌年度へ繰り越すべき財源21,704千円（繰越明許費繰越額5,133千円、事故繰越し繰越額16,571千円）があることから、これを差し引き1,031,541千円の黒字となっている。

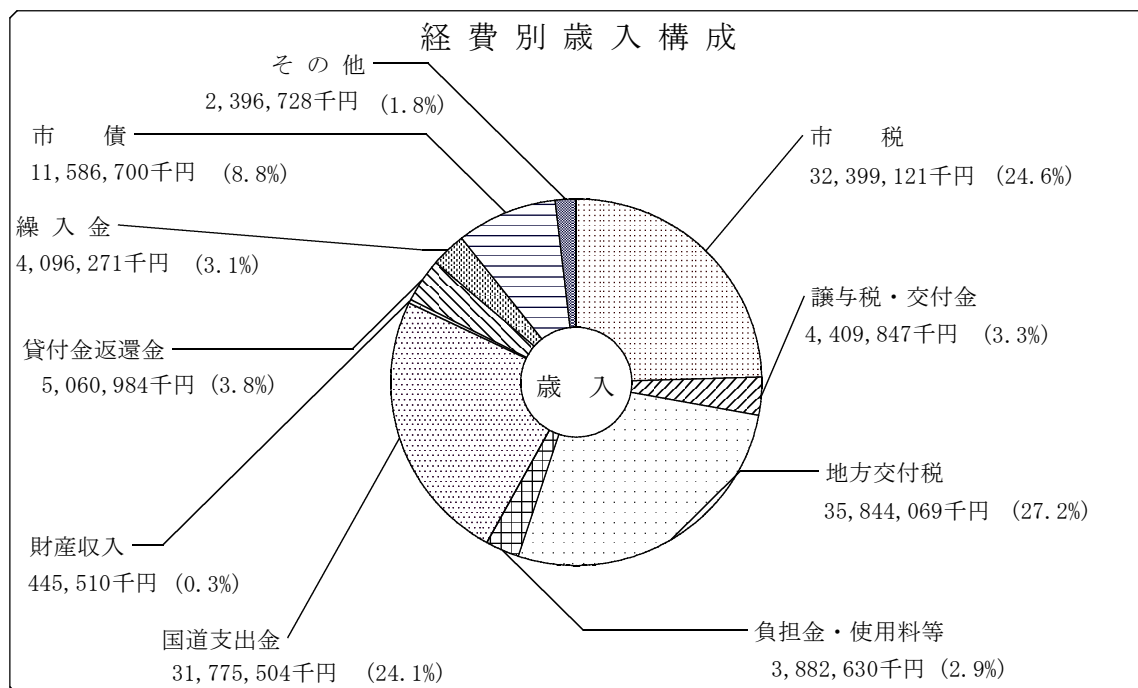


エ 経費別決算状況

(ア) 歳 入

当年度の歳入の決算状況を**経費別**に前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|------------|-----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| 市 税 | 32,399,121,120 | 24.6 | 32,343,487,046 | 25.5 | 55,634,074 | 0.2 |
| 譲与税・交付金 | 4,409,847,657 | 3.3 | 4,700,978,334 | 3.7 | △291,130,677 | △6.2 |
| 地方譲与税 | 811,528,665 | 0.6 | 889,320,854 | 0.7 | △77,792,189 | △8.7 |
| 利子割交付金 | 91,749,000 | 0.1 | 115,466,000 | 0.1 | △23,717,000 | △20.5 |
| 地方消費税交付金 | 2,935,938,000 | 2.2 | 3,037,022,000 | 2.4 | △101,084,000 | △3.3 |
| 自動車取得税交付金 | 131,070,000 | 0.1 | 170,393,000 | 0.1 | △39,323,000 | △23.1 |
| 地方特例交付金 | 304,898,000 | 0.2 | 349,192,000 | 0.3 | △44,294,000 | △12.7 |
| その他の交付金 | 134,663,992 | 0.1 | 139,584,480 | 0.1 | △4,920,488 | △3.5 |
| 地方交付税 | 35,844,069,000 | 27.2 | 36,460,847,000 | 28.7 | △616,778,000 | △1.7 |
| 普通交付税 | 34,078,445,000 | 25.8 | 34,798,454,000 | 27.4 | △720,009,000 | △2.1 |
| 特別交付税 | 1,733,694,000 | 1.3 | 1,662,393,000 | 1.3 | 71,301,000 | 4.3 |
| 震災復興特別交付税 | 31,930,000 | 0.0 | - | - | 31,930,000 | 皆増 |
| 負担金・使用料等 | 3,882,630,072 | 2.9 | 4,014,288,966 | 3.2 | △131,658,894 | △3.3 |
| 分担金及び負担金 | 834,064,192 | 0.6 | 815,222,807 | 0.6 | 18,841,385 | 2.3 |
| 使用料及び手数料 | 3,048,565,880 | 2.3 | 3,199,066,159 | 2.5 | △150,500,279 | △4.7 |
| 国道支出金 | 31,775,504,070 | 24.1 | 30,812,808,291 | 24.3 | 962,695,779 | 3.1 |
| 扶助費等充当 | 24,869,615,572 | 18.9 | 23,878,394,630 | 18.8 | 991,220,942 | 4.2 |
| 繰出金充当 | 1,696,168,756 | 1.3 | 1,641,992,157 | 1.3 | 54,176,599 | 3.3 |
| 補助費等充当 | 184,144,969 | 0.1 | 156,119,601 | 0.1 | 28,025,368 | 18.0 |
| 普通建設事業費充当 | 2,124,677,856 | 1.6 | 2,394,118,733 | 1.9 | △269,440,877 | △11.3 |
| 臨時事務・行事費充当 | 1,049,880,051 | 0.8 | 1,050,219,608 | 0.8 | △339,557 | △0.0 |
| その他 | 1,851,016,866 | 1.4 | 1,691,963,562 | 1.3 | 159,053,304 | 9.4 |
| 財産収入 | 445,510,382 | 0.3 | 292,258,292 | 0.2 | 153,252,090 | 52.4 |
| 土地売払収入 | 286,829,140 | 0.2 | 122,552,561 | 0.1 | 164,276,579 | 134.0 |
| その他 | 158,681,242 | 0.1 | 169,705,731 | 0.1 | △11,024,489 | △6.5 |
| 貸付金返還金 | 5,060,984,256 | 3.8 | 5,240,779,989 | 4.1 | △179,795,733 | △3.4 |
| 繰入金 | 4,096,271,715 | 3.1 | 314,261,766 | 0.3 | 3,782,009,949 | 激増 |
| 財政調整基金 | 50,000,000 | 0.0 | - | - | 50,000,000 | 皆増 |
| 公共施設整備等基金 | 500,000,000 | 0.4 | - | - | 500,000,000 | 皆増 |
| 減債基金 | 454,606,750 | 0.3 | 56,113,766 | 0.0 | 398,492,984 | 710.2 |
| 地域振興基金 | 2,941,107,000 | 2.2 | 181,000,000 | 0.1 | 2,760,107,000 | 激増 |
| 風力発電事業 | 3,600,000 | 0.0 | 3,600,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| その他 | 146,957,965 | 0.1 | 73,548,000 | 0.1 | 73,409,965 | 99.8 |
| 市 債 | 11,586,700,000 | 8.8 | 10,490,500,000 | 8.3 | 1,096,200,000 | 10.4 |
| 通常債 | 5,718,300,000 | 4.3 | 4,669,800,000 | 3.7 | 1,048,500,000 | 22.5 |
| 退職手当債 | 1,000,000,000 | 0.8 | - | - | 1,000,000,000 | 皆増 |
| 臨時財政対策債 | 4,708,900,000 | 3.6 | 5,820,700,000 | 4.6 | △1,111,800,000 | △19.1 |
| 借換債 | 159,500,000 | 0.1 | - | - | 159,500,000 | 皆増 |
| その他 | 2,396,728,597 | 1.8 | 2,170,663,704 | 1.7 | 226,064,893 | 10.4 |
| 寄付金 | 216,960,087 | 0.2 | 188,290,513 | 0.1 | 28,669,574 | 15.2 |
| 前年度繰越金 | 1,109,408,324 | 0.8 | 937,230,216 | 0.7 | 172,178,108 | 18.4 |
| 扶助費等充当 | 528,833,806 | 0.4 | 547,600,880 | 0.4 | △18,767,074 | △3.4 |
| 普通建設事業費充当 | 15,735,000 | 0.0 | 9,260,000 | 0.0 | 6,475,000 | 69.9 |
| 職員費振替収入 | 24,700,000 | 0.0 | 31,142,019 | 0.0 | △6,442,019 | △20.7 |
| 臨時事務・行事費充当 | 20,784,653 | 0.0 | 12,840,561 | 0.0 | 7,944,092 | 61.9 |
| その他 | 480,306,727 | 0.4 | 444,299,515 | 0.4 | 36,007,212 | 8.1 |
| 合 計 | 131,897,366,869 | 100.0 | 126,840,873,388 | 100.0 | 5,056,493,481 | 4.0 |



a 決算状況

市税については55,634千円増の32,399,121千円となっており、その主な内容は、次のとおりである。

市民税は364,222千円減の13,260,662千円となっているが、これは、個人市民税において課税人員の減少や所得水準の低下などにより218,958千円減の10,750,022千円、法人市民税において廃業等による法人数の減に加えて製造業における一部法人の大幅減益により145,264千円減の2,510,640千円となったことによるものである。

固定資産税および都市計画税は、土地の価格修正による減があったものの、家屋において新增築分による増により142,027千円増の16,063,545千円となっている。

軽自動車税は、軽四輪自動車の登録台数の増加により11,576千円増の418,313千円となっている。

たばこ税は、売上本数の減はあったものの、税率の引き上げにより296,725千円増の2,480,807千円となっている。

譲与税・交付金については291,130千円減の4,409,847千円となっているが、これは、地方譲与税が77,792千円減の811,528千円、地方消費税交付金が101,084千円減の2,935,938千円、地方特例交付金が44,294千円減の304,898千円となったことなどによるものである。

地方交付税については616,778千円減の35,844,069千円となっているが、これは、普通交付税において市税および地方消費税交付金における国の算定額の増加などに伴い、基準財政収入額が増額となったことや、平成22年度国勢調査の人口減少の影響などにより720,009千円減の34,078,445千円、特別交付税において71,301千円増の1,733,694千円、震災復興特別交付税において31,930千円の皆増となったことによるものである。

負担金・使用料等については131,658千円減の3,882,630千円となっているが、これは、分担金及び負担金が18,841千円増の834,064千円となったものの、使用料及び手数料が150,500千円減の3,048,565千円となったことによるものである。

国道支出金については962,695千円増の31,775,504千円となっているが、これは、普通建設事業費充当分において文化財整備費補助金の減などにより269,440千円減の2,124,677千円となったものの、扶助費等充当分において子ども手当負担金や生活保護費負担金の増などにより991,220千円増の24,869,615千円、繰出金充当分において国民健康保険基盤安定等負担金および後期高齢者医療保険基盤安定負担金の増により54,176千円増の1,696,168千円、補助費等充当分において母子家庭自立支援給付金などの増により28,025千円増の184,144千円、その他充当分において地域活性化交付金などの増、臨時市町村道除雪費補助金の皆増などにより159,053千円増の1,851,016千円となったことなどによるものである。

財産収入については153,252千円増の445,510千円となっているが、これは、土地売払収入が164,276千円増の286,829千円となったことなどによるものである。

貸付金返還金については179,795千円減の5,060,984千円となっているが、これは、東日本大震災緊急小口運転資金貸付金返還金3,080千円の皆増などがあつたものの、中小企業金融対策貸付金返還金199,150千円などの減があつたためである。

繰入金については3,782,009千円増の4,096,271千円となっているが、これは、財政調整基金において50,000千円の皆増、公共施設整備等基金において500,000千円の皆増、減債基金において398,492千円の増、地域振興基金において2,760,107千円の増となったことなどによるものである。

市債については1,096,200千円増の11,586,700千円となっているが、これは、臨時財政対策債が1,111,800千円減の4,708,900千円となったものの、通常債において1,048,500千円増の5,718,300千円、退職手当債において1,000,000千円の皆増および借換債において159,500千円の皆増によるものである。

その他の歳入については226,064千円増の2,396,728千円となっているが、これは、扶助費等充当分において18,767千円減の528,833千円、職員費振替収入分において6,442千円減の24,700千円となったものの、前年度繰越金において172,178千円増の1,109,408千円、普通建設事業費充当分において6,475千円増の15,735千円、臨時事務・行事費充当分において7,944千円増の20,784千円、その他において36,007千円増の480,306千円となったことなどによるものである。

b 決算構成

当年度の経費別歳入構成を、本市が自主的に収入できる市税等の**自主財源**と国・道の決定により収入される地方交付税等の**依存財源**に分類し、前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------------|-----------------|-------|-----------------|-------|---------------|------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 自 主 財 源 | 48,281,246,142 | 36.6 | 44,375,739,763 | 35.0 | 3,905,506,379 | 8.8 |
| 市 税 | 32,399,121,120 | 24.6 | 32,343,487,046 | 25.5 | 55,634,074 | 0.2 |
| 負 担 金 ・ 使 用 料 等 | 3,882,630,072 | 2.9 | 4,014,288,966 | 3.2 | △131,658,894 | △3.3 |
| 財 産 収 入 | 445,510,382 | 0.3 | 292,258,292 | 0.2 | 153,252,090 | 52.4 |
| 貸 付 金 返 還 金 | 5,060,984,256 | 3.8 | 5,240,779,989 | 4.1 | △179,795,733 | △3.4 |
| 繰 入 金 | 4,096,271,715 | 3.1 | 314,261,766 | 0.2 | 3,782,009,949 | 激増 |
| そ の 他 | 2,396,728,597 | 1.8 | 2,170,663,704 | 1.7 | 226,064,893 | 10.4 |
| 依 存 財 源 | 83,616,120,727 | 63.4 | 82,465,133,625 | 65.0 | 1,150,987,102 | 1.4 |
| 譲 与 税 ・ 交 付 金 | 4,409,847,657 | 3.3 | 4,700,978,334 | 3.7 | △291,130,677 | △6.2 |
| 地 方 交 付 税 | 35,844,069,000 | 27.2 | 36,460,847,000 | 28.7 | △616,778,000 | △1.7 |
| 国 道 支 出 金 | 31,775,504,070 | 24.1 | 30,812,808,291 | 24.3 | 962,695,779 | 3.1 |
| 市 債 | 11,586,700,000 | 8.8 | 10,490,500,000 | 8.3 | 1,096,200,000 | 10.4 |
| 合 計 | 131,897,366,869 | 100.0 | 126,840,873,388 | 100.0 | 5,056,493,481 | 4.0 |

自主財源は3,905,506千円（8.8%）増の48,281,246千円となっているが、これは、繰入金において地域振興基金からの繰入金の増などにより3,782,009千円増の4,096,271千円となったことなどによるものである。

依存財源は1,150,987千円（1.4%）増の83,616,120千円となっているが、これは、市債において退職手当債の皆増などにより1,096,200千円増の11,586,700千円となったことなどによるものである。

また、構成比率では、自主財源36.6%、依存財源63.4%となり、これを前年度に比較すると自主財源は1.6ポイントの増加、依存財源は1.6ポイントの減少となっている。

次に、経費別歳入構成を、使途が特定されない収入である市税および地方交付税等の**一般財源**と使途が特定される**特定財源**に分類し、前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------------|-----------------|-------|-----------------|-------|----------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 一 般 財 源 | 81,256,116,723 | 61.6 | 81,990,375,398 | 64.6 | △734,258,675 | △0.9 |
| 市 税 | 32,399,121,120 | 24.6 | 32,343,487,046 | 25.5 | 55,634,074 | 0.2 |
| 譲与税・交付金 | 4,409,847,657 | 3.3 | 4,700,978,334 | 3.7 | △291,130,677 | △6.2 |
| 地方交付税 | 35,844,069,000 | 27.2 | 36,460,847,000 | 28.7 | △616,778,000 | △1.7 |
| 負担金・使用料等 | 75,924,180 | 0.1 | 100,565,518 | 0.1 | △24,641,338 | △24.5 |
| 国道支出金 | 953,121,348 | 0.7 | 843,390,108 | 0.7 | 109,731,240 | 13.0 |
| 財産収入 | 406,238,784 | 0.3 | 239,167,129 | 0.2 | 167,071,655 | 69.9 |
| 貸付金返還金 | 147,799,850 | 0.1 | 133,797,639 | 0.1 | 14,002,211 | 10.5 |
| 繰入金 | 1,013,027,295 | 0.8 | 65,778,886 | 0.1 | 947,248,409 | 激増 |
| 繰越金(前年度剰余金) | 945,172,210 | 0.7 | 884,592,381 | 0.7 | 60,579,829 | 6.8 |
| 市債(臨時財政対策債) | 4,708,900,000 | 3.6 | 5,820,700,000 | 4.6 | △1,111,800,000 | △19.1 |
| その他 | 352,895,279 | 0.3 | 397,071,357 | 0.3 | △44,176,078 | △11.1 |
| 特 定 財 源 | 50,641,250,146 | 38.4 | 44,850,497,990 | 35.4 | 5,790,752,156 | 12.9 |
| 負担金・使用料等 | 3,806,705,892 | 2.9 | 3,913,723,448 | 3.1 | △107,017,556 | △2.7 |
| 国道支出金 | 30,822,382,722 | 23.4 | 29,969,418,183 | 23.6 | 852,964,539 | 2.8 |
| 財産収入 | 39,271,598 | 0.0 | 53,091,163 | 0.0 | △13,819,565 | △26.0 |
| 貸付金返還金 | 4,913,184,406 | 3.7 | 5,106,982,350 | 4.0 | △193,797,944 | △3.8 |
| 繰入金 | 3,083,244,420 | 2.3 | 248,482,880 | 0.2 | 2,834,761,540 | 激増 |
| 繰越金(繰越事業費財源充当額) | 164,236,114 | 0.1 | 52,637,835 | 0.0 | 111,598,279 | 212.0 |
| 市 債 | 6,877,800,000 | 5.2 | 4,669,800,000 | 3.7 | 2,208,000,000 | 47.3 |
| その他 | 934,424,994 | 0.7 | 836,362,131 | 0.7 | 98,062,863 | 11.7 |
| 合 計 | 131,897,366,869 | 100.0 | 126,840,873,388 | 100.0 | 5,056,493,481 | 4.0 |

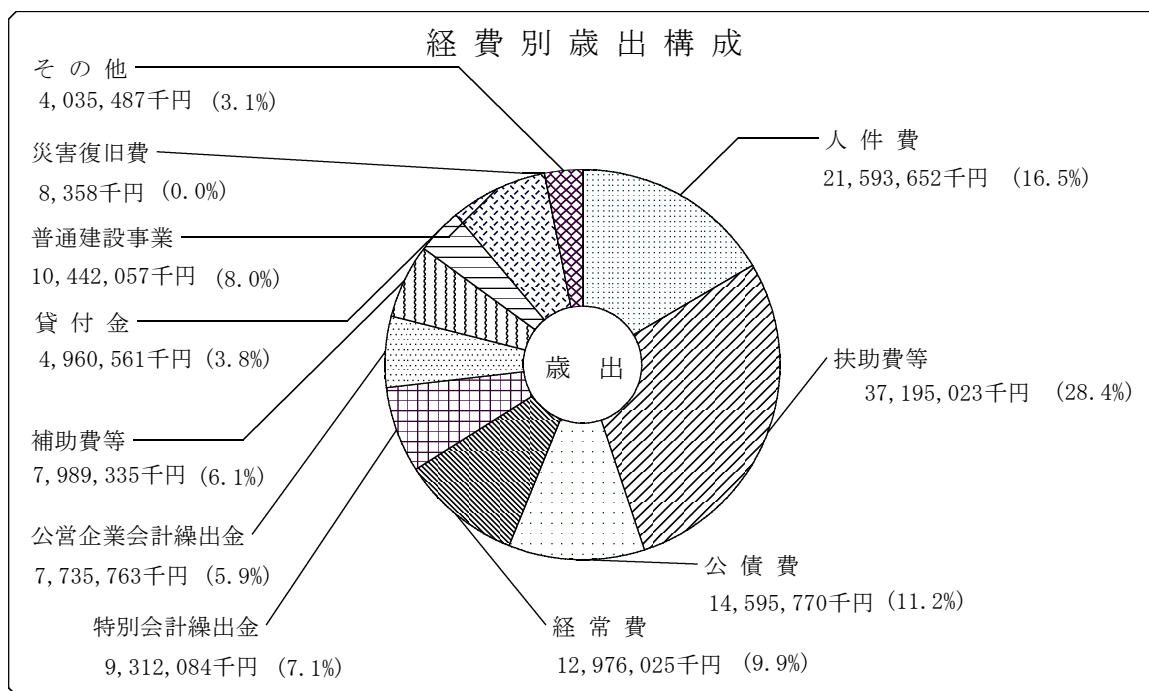
一般財源は734,258千円（0.9%）減の81,256,116千円であり、特定財源は5,790,752千円（12.9%）増の50,641,250千円となっている。

また、構成比率では、一般財源61.6%、特定財源38.4%となり、これを前年度に比較すると一般財源は3.0ポイントの減少、特定財源は3.0ポイントの増加となっている。

(イ) 歳 出

当年度の歳出の決算状況を**経費別**に前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年 度 | | 平成 2 2 年 度 | | 対 前 年 度 比 較 | |
|-------------------------|-----------------|---------|-----------------|---------|---------------|-------|
| | 決 算 額 | 構 成 比 率 | 決 算 額 | 構 成 比 率 | 増 減 額 | 増 減 率 |
| 人 件 費 | 21,593,652,947 | 16.5 | 21,613,540,526 | 17.2 | △19,887,579 | △0.1 |
| 報 酬 等 | 1,588,020,298 | 1.2 | 1,500,381,167 | 1.2 | 87,639,131 | 5.8 |
| 職 員 給 与 費 | 16,327,198,373 | 12.5 | 17,192,405,818 | 13.7 | △865,207,445 | △5.0 |
| 恩 給 ・ 退 職 手 当 | 2,519,166,689 | 1.9 | 2,297,175,872 | 1.8 | 221,990,817 | 9.7 |
| 退 職 手 当 (勸 奨) | 1,159,267,587 | 0.9 | 623,577,669 | 0.5 | 535,689,918 | 85.9 |
| 扶 助 費 等 | 37,195,023,495 | 28.4 | 36,187,350,086 | 28.8 | 1,007,673,409 | 2.8 |
| 障 害 者 福 祉 | 4,228,807,015 | 3.2 | 4,019,970,717 | 3.2 | 208,836,298 | 5.2 |
| 老 人 保 護 | 540,256,478 | 0.4 | 532,075,839 | 0.4 | 8,180,639 | 1.5 |
| 児 童 福 祉 | 9,324,774,840 | 7.1 | 8,939,899,900 | 7.1 | 384,874,940 | 4.3 |
| 生 活 保 護 | 20,973,653,069 | 16.0 | 20,522,499,040 | 16.3 | 451,154,029 | 2.2 |
| 医 療 助 成 | 1,426,487,118 | 1.1 | 1,413,707,263 | 1.1 | 12,779,855 | 0.9 |
| 結 核 医 療 | 8,312,110 | 0.0 | 13,792,015 | 0.0 | △5,479,905 | △39.7 |
| 義 務 教 育 扶 助 | 422,434,831 | 0.3 | 424,692,665 | 0.3 | △2,257,834 | △0.5 |
| そ の 他 | 270,298,034 | 0.2 | 320,712,647 | 0.3 | △50,414,613 | △15.7 |
| 公 債 費 | 14,595,770,605 | 11.2 | 14,068,529,187 | 11.2 | 527,241,418 | 3.7 |
| 通 常 分 | 14,436,209,655 | 11.0 | 14,068,529,187 | 11.2 | 367,680,468 | 2.6 |
| 繰 上 償 還 分 | 159,560,950 | 0.1 | - | - | 159,560,950 | 皆増 |
| 経 常 費 | 12,976,025,816 | 9.9 | 12,568,606,227 | 10.0 | 407,419,589 | 3.2 |
| 一 般 経 常 費 | 3,553,186,214 | 2.7 | 3,692,271,150 | 2.9 | △139,084,936 | △3.8 |
| 維 持 補 修 費 | 3,053,351,641 | 2.3 | 2,690,448,297 | 2.1 | 362,903,344 | 13.5 |
| 委 託 料 | 6,369,487,961 | 4.9 | 6,185,886,780 | 4.9 | 183,601,181 | 3.0 |
| 特 別 会 計 繰 出 金 | 9,312,084,644 | 7.1 | 9,513,404,237 | 7.6 | △201,319,593 | △2.1 |
| 港 湾 事 業 | 2,361,420,000 | 1.8 | 2,802,052,000 | 2.2 | △440,632,000 | △15.7 |
| 国 民 健 康 保 険 事 業 | 2,773,138,644 | 2.1 | 2,682,357,237 | 2.1 | 90,781,407 | 3.4 |
| 地 方 卸 売 市 場 事 業 | 190,785,000 | 0.1 | 211,185,000 | 0.2 | △20,400,000 | △9.7 |
| 介 護 保 険 事 業 | 3,156,365,000 | 2.4 | 3,020,622,000 | 2.4 | 135,743,000 | 4.5 |
| 風 力 発 電 事 業 | 6,500,000 | 0.0 | - | - | 6,500,000 | 皆増 |
| 母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付 事 業 | 42,000,000 | 0.0 | 25,823,000 | 0.0 | 16,177,000 | 62.6 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 事 業 | 781,876,000 | 0.6 | 771,365,000 | 0.6 | 10,511,000 | 1.4 |
| 公 営 企 業 会 計 繰 出 金 | 7,735,763,591 | 5.9 | 5,104,211,381 | 4.1 | 2,631,552,210 | 51.6 |
| 水 道 事 業 | 158,089,524 | 0.1 | 181,724,114 | 0.1 | △23,634,590 | △13.0 |
| 温 泉 事 業 | 1,470,421 | 0.0 | 1,888,271 | 0.0 | △417,850 | △22.1 |
| 公 共 下 水 道 事 業 | 1,628,410,001 | 1.2 | 1,516,716,938 | 1.2 | 111,693,063 | 7.4 |
| 交 通 事 業 | 460,308,009 | 0.4 | 455,571,540 | 0.4 | 4,736,469 | 1.0 |
| 病 院 事 業 | 5,487,485,636 | 4.2 | 2,948,310,518 | 2.3 | 2,539,175,118 | 86.1 |
| 補 助 費 等 | 7,989,335,110 | 6.1 | 7,425,206,027 | 5.9 | 564,129,083 | 7.6 |
| 広 域 連 合 負 担 金 (大 学 分) | 1,973,862,000 | 1.5 | 1,940,341,000 | 1.5 | 33,521,000 | 1.7 |
| そ の 他 | 6,015,473,110 | 4.6 | 5,484,865,027 | 4.4 | 530,608,083 | 9.7 |
| 貸 付 金 | 4,960,561,406 | 3.8 | 5,363,001,350 | 4.3 | △402,439,944 | △7.5 |
| 普 通 建 設 事 業 費 | 10,442,057,727 | 8.0 | 10,253,050,970 | 8.2 | 189,006,757 | 1.8 |
| 災 害 復 旧 費 | 8,358,000 | 0.0 | - | - | 8,358,000 | 皆増 |
| そ の 他 | 4,035,487,608 | 3.1 | 3,634,565,073 | 2.9 | 400,922,535 | 11.0 |
| 職 員 給 与 費 負 担 金 | 24,700,000 | 0.0 | 31,142,019 | 0.0 | △6,442,019 | △20.7 |
| 積 立 金 ・ 出 資 金 | 750,026,004 | 0.6 | 603,427,546 | 0.5 | 146,598,458 | 24.3 |
| 臨 時 事 務 ・ 行 事 費 | 3,260,761,604 | 2.5 | 2,999,995,508 | 2.4 | 260,766,096 | 8.7 |
| 合 計 | 130,844,120,949 | 100.0 | 125,731,465,064 | 100.0 | 5,112,655,885 | 4.1 |



a 決算状況

人件費については19,887千円減の21,593,652千円となっているが、これは、恩給・退職手当および退職手当（勸奨）において退職者数の増などにより757,680千円増の3,678,434千円などがあつたものの、職員給与費において職員数の減および給与の減額などにより865,207千円減の16,327,198千円となったことなどによるものである。

扶助費等については1,007,673千円増の37,195,023千円となっているが、これは、障害者福祉において障害者自立支援給付費の増などにより208,836千円増の4,228,807千円、児童福祉において子ども手当の増などにより384,874千円増の9,324,774千円、生活保護において医療扶助費の増などにより451,154千円増の20,973,653千円となったことなどによるものである。

公債費については527,241千円増の14,595,770千円となっているが、これは、通常分が367,680千円増の14,436,209千円、繰上償還分が159,560千円の皆増となったことによるものである。

経常費については407,419千円増の12,976,025千円となっているが、これは、一般経常費において創意ある学校づくり推進事業費の減などにより139,084千円減の3,553,186千円となったものの、維持補修費において除雪費の増などにより362,903千円増の3,053,351千円、委託料において箱館奉行所管理委託料の増などにより183,601千円増の6,369,487千円となったことによるものである。

特別会計繰出金については201,319千円減の9,312,084千円となっているが、これは、国民健康保険事業において保険基盤安定軽減分の増などにより90,781千円増の2,773,138千円、介護保険事業において介護給付費分の増などにより135,743千円増の3,156,365千円となったものの、港湾事業において土地売

払収入の増などにより440,632千円減の2,361,420千円、地方卸売市場事業において水産物地方卸売市場分の減などにより20,400千円減の190,785千円となったことなどによるものである。

公営企業会計繰出金については2,631,552千円増の7,735,763千円となっているが、これは、水道事業において地域活性化交付金事業分の減などにより23,634千円減の158,089千円となったものの、公共下水道事業において企業債元金償還分の増などにより111,693千円増の1,628,410千円、病院事業において公立病院特例債の繰上償還分の増などにより2,539,175千円増の5,487,485千円となったことなどによるものである。

補助費等については564,129千円増の7,989,335千円となっているが、これは、その他において後期高齢者医療給付費負担金の増などにより530,608千円増の6,015,473千円となったことなどによるものである。

貸付金については402,439千円減の4,960,561千円となっている。

普通建設事業費については189,006千円増の10,442,057千円となっているが、これは、公営住宅建設費342,935千円、特別史跡五稜郭跡復元整備事業596,996千円、縄文文化交流センター整備事業470,359千円などの減があったものの、国際水産・海洋総合研究センター整備事業199,039千円、障害児（者）統合施設整備1,323,806千円、消防署庁舎整備事業442,146千円、義務教育施設耐震改修等整備330,183千円、弥生小学校校舎等新築事業532,115千円、地域活性化経済危機対策事業113,207千円などの増があったことによるものである。

災害復旧費については8,358千円の皆増となっているが、これは、平成23年3月の東日本大震災に伴うふれあい「イカ広場」復旧費、栈橋駐車場復旧費、函館駅前広場駐車場復旧費によるものである。

その他の歳出については400,922千円増の4,035,487千円となっているが、これは、積立金・出資金において積立金の増などにより146,598千円増の750,026千円、臨時事務・行事費において緊急雇用創出事業費の増などにより260,766千円増の3,260,761千円となったことなどによるものである。

b 決算構成

当年度の経費別歳出構成を、人件費等の**消費的経費**、普通建設事業費等の**投資的経費**および公債費等の**その他経費**に分類し、前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-----------|-----------------|-------|-----------------|-------|---------------|-------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 消費的経費 | 83,039,498,972 | 63.5 | 80,825,840,393 | 64.3 | 2,213,658,579 | 2.7 |
| 人件費 | 21,593,652,947 | 16.5 | 21,613,540,526 | 17.2 | △19,887,579 | △0.1 |
| 扶助費等 | 37,195,023,495 | 28.4 | 36,187,350,086 | 28.8 | 1,007,673,409 | 2.8 |
| 経常費 | 12,976,025,816 | 9.9 | 12,568,606,227 | 10.0 | 407,419,589 | 3.2 |
| 補助費等 | 7,989,335,110 | 6.1 | 7,425,206,027 | 5.9 | 564,129,083 | 7.6 |
| 職員給与費負担金 | 24,700,000 | 0.0 | 31,142,019 | 0.0 | △6,442,019 | △20.7 |
| 臨時事務・行事費 | 3,260,761,604 | 2.5 | 2,999,995,508 | 2.4 | 260,766,096 | 8.7 |
| 投資的経費 | 10,450,415,727 | 8.0 | 10,253,050,970 | 8.2 | 197,364,757 | 1.9 |
| 普通建設事業費 | 10,442,057,727 | 8.0 | 10,253,050,970 | 8.2 | 189,006,757 | 1.8 |
| 災害復旧費 | 8,358,000 | 0.0 | — | — | 8,358,000 | 皆増 |
| その他経費 | 37,354,206,250 | 28.5 | 34,652,573,701 | 27.6 | 2,701,632,549 | 7.8 |
| 公債費 | 14,595,770,605 | 11.2 | 14,068,529,187 | 11.2 | 527,241,418 | 3.7 |
| 特別会計繰出金 | 9,312,084,644 | 7.1 | 9,513,404,237 | 7.6 | △201,319,593 | △2.1 |
| 公営企業会計繰出金 | 7,735,763,591 | 5.9 | 5,104,211,381 | 4.1 | 2,631,552,210 | 51.6 |
| 積立金・出資金 | 750,026,004 | 0.6 | 603,427,546 | 0.5 | 146,598,458 | 24.3 |
| 貸付金 | 4,960,561,406 | 3.8 | 5,363,001,350 | 4.3 | △402,439,944 | △7.5 |
| 合 計 | 130,844,120,949 | 100.0 | 125,731,465,064 | 100.0 | 5,112,655,885 | 4.1 |

消費的経費は2,213,658千円（2.7%）増の83,039,498千円、投資的経費は197,364千円（1.9%）増の10,450,415千円、その他経費は2,701,632千円（7.8%）増の37,354,206千円となっている。

また、構成比率では、消費的経費63.5%、投資的経費8.0%、その他経費28.5%となり、これを前年度と比較すると消費的経費は0.8ポイントの減少、投資的経費は0.2ポイントの減少、その他経費は0.9ポイントの増加となっている。

次に、経費別歳出構成を、毎年度支出が義務づけられる経費である人件費等の**義務的経費**と毎年度支出が義務づけられない**その他経費**に分類し、前年度と比較すると次の表のとおりである。

| 区 分 | 平成 2 3 年度 | | 平成 2 2 年度 | | 対前年度比較 | |
|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|---------------|------|
| | 決 算 額 | 構成比率 | 決 算 額 | 構成比率 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | % | 円 | % | 円 | % |
| 義務的経費 | 73,384,447,047 | 56.1 | 71,869,419,799 | 57.2 | 1,515,027,248 | 2.1 |
| 人件費 | 21,593,652,947 | 16.5 | 21,613,540,526 | 17.2 | △19,887,579 | △0.1 |
| 扶助費等 | 37,195,023,495 | 28.4 | 36,187,350,086 | 28.8 | 1,007,673,409 | 2.8 |
| 公債費 | 14,595,770,605 | 11.2 | 14,068,529,187 | 11.2 | 527,241,418 | 3.7 |
| その他経費 | 57,459,673,902 | 43.9 | 53,862,045,265 | 42.8 | 3,597,628,637 | 6.7 |
| 合 計 | 130,844,120,949 | 100.0 | 125,731,465,064 | 100.0 | 5,112,655,885 | 4.1 |

(注)その他経費：経常費、特別会計繰出金、公営企業会計繰出金、補助費等、貸付金、普通建設事業費、災害復旧費、その他

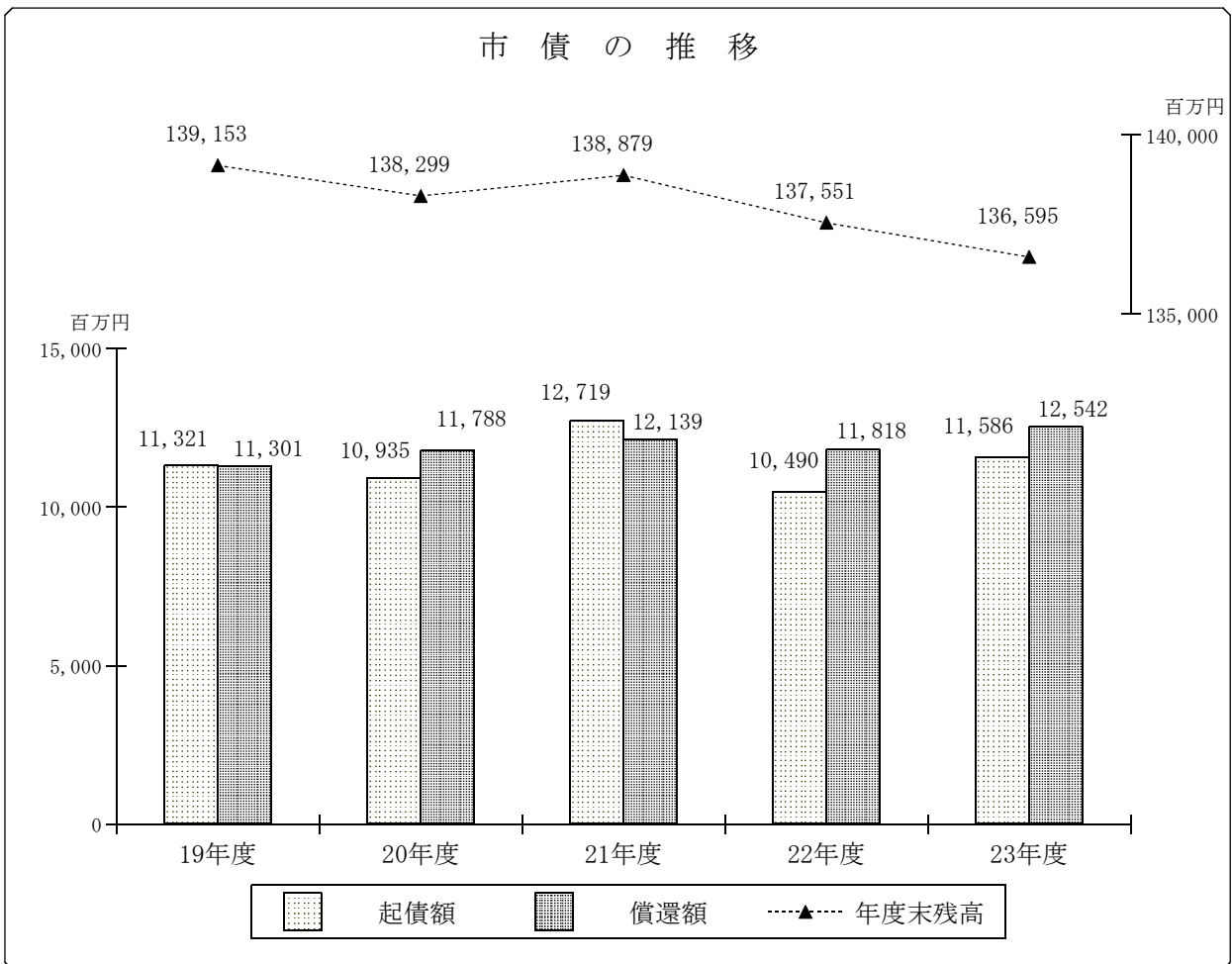
義務的経費は1,515,027千円（2.1%）増の73,384,447千円、その他経費は3,597,628千円（6.7%）増の57,459,673千円となっている。

また、構成比率では、義務的経費56.1%、その他経費43.9%となり、これを前年度に比較すると義務的経費は1.1ポイントの減少、その他経費は1.1ポイントの増加となっている。

オ 市債残高の状況

| 平成23年度 | | | 平成22年度 | | | 対前年度比較 | | |
|------------|------------|-------------|------------|------------|-------------|-----------|---------|----------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 11,586,700 | 12,542,490 | 136,595,461 | 10,490,500 | 11,818,848 | 137,551,251 | 1,096,200 | 723,642 | △955,790 |

市債残高の状況は、当年度の起債額11,586,700千円、償還額12,542,490千円であったことから、前年度末残高137,551,251千円と比較すると955,790千円減少し、当年度末残高は136,595,461千円となっている。



カ 審 査 意 見

当年度の決算収支については、歳入131,897,367千円、歳出130,844,121千円で形式収支は1,053,246千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源21,704千円を差し引いた実質収支では1,031,542千円の黒字となっているが、財源調整分として、退職手当債10億円の発行と減債基金4億円の取り崩しを行っていることから、実質的には368,458千円の財源不足を生じたところである。

また、決算の状況をみると、歳入では、前年度に比べ市税が微増となったほか、財産収入および扶助費等充当分の国道支出金が増となったものの、地方交付税や使用料及び手数料などが大幅な減となっている。

なお、不納欠損額については、前年度に比べ大幅な増となっているが、これは、諸収入において不正受給による診療報酬返還分などが生じたためであり、一方、収入未済額については、大幅な減となっているが、これは、市税において収入率が向上したことや諸収入における産業廃棄物処理にかかる行政代執行費用の不納欠損処分をしたことなどによるものである。

一方、歳出では、前年度に比べ、人件費においては、職員数削減や職員給与の減額により職員給与費が大きく減となったものの、退職手当の増により相殺され結果として微減となったほか、扶助費については、対象者が増加したことなどにより大幅な増、また、公債費については、臨時財政対策債や退職手当債の償還額の増加などにより、増となっている。

また、公営企業会計繰出金においては、病院事業にかかる公立病院特例債の繰上償還分を繰出したことなどにより、大幅な増となったところである。

以上が、当年度における一般会計の決算状況であるが、今後においても、本市の財政は、少子高齢・人口減少社会の進行などから、医療、介護、子育て支援、生活保護などの社会福祉関係費の増大が見込まれるなか、歳入の根幹である市税収入や負担金・使用料などの自主財源の着実な伸びを期待することは難しく、厳しい状況が続くものと思料される。

このような状況を踏まえ、未利用地の売却促進・有効活用などにより積極的な歳入の拡大を図るほか、市税や税外収入における多額の収入未済額については、債権の発生から回収までの確な債権管理を行うとともに、税負担の公平性の観点からも債権回収および不納欠損の発生抑制に力を注ぎ、収納率の向上に努められたい。

また、各種施策および事業の実施にあたっては、選択と集中による事業の重点化や事務の簡素化に取り組み、徹底した経費節減により効率的な行財政運営に努められるよう要望する。

(2) 歳 入

以下、歳入の款別決算状況は次のとおりである。

第1款 市 税

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|------|----------------|----------------|----------------|-------|------|-------------|---------------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 32,297,000,000 | 35,633,164,198 | 32,399,121,120 | 100.3 | 90.9 | 394,510,617 | 2,839,532,461 |
| 22年度 | 32,045,000,000 | 35,673,331,040 | 32,343,487,046 | 100.9 | 90.7 | 382,171,562 | 2,947,672,432 |
| 対前年度 | 増減額 | △40,166,842 | 55,634,074 | | | 12,339,055 | △108,139,971 |
| | 増減率 | 0.8% | △0.1% | 0.2% | | 3.2% | △3.7% |

当年度の決算は、予算現額32,297,000千円、調定額35,633,164千円に対し、収入済額は32,399,121千円であり、予算現額に対する執行率は100.3%（前年度100.9%）、調定額に対する収入率は90.9%（前年度90.7%）となっているが、その内訳については、次の表のとおりである。

| 科 目 | 平 成 2 3 年 度 | | | | | |
|-----------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|
| | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 |
| 市 民 税 | 13,197,286,000 | 14,833,595,103 | 13,260,662,541 | 100.5 | 89.4 | 139,337,554 |
| 個 人 | 10,740,107,000 | 12,251,082,579 | 10,750,022,341 | 100.1 | 87.7 | 130,594,270 |
| 現年課税分 | 10,499,460,000 | 10,839,017,197 | 10,481,217,365 | 99.8 | 96.7 | 2,964,069 |
| 滞納繰越分 | 240,647,000 | 1,412,065,382 | 268,804,976 | 111.7 | 19.0 | 127,630,201 |
| 法 人 | 2,457,179,000 | 2,582,512,524 | 2,510,640,200 | 102.2 | 97.2 | 8,743,284 |
| 現年課税分 | 2,442,997,000 | 2,522,192,700 | 2,497,420,400 | 102.2 | 99.0 | 305,000 |
| 滞納繰越分 | 14,182,000 | 60,319,824 | 13,219,800 | 93.2 | 21.9 | 8,438,284 |
| 固 定 資 産 税 | 13,453,933,000 | 14,792,720,923 | 13,471,259,529 | 100.1 | 91.1 | 204,348,080 |
| 現年課税分 | 13,249,753,000 | 13,626,053,200 | 13,239,073,299 | 99.9 | 97.2 | 45,202,046 |
| 滞納繰越分 | 204,180,000 | 1,166,667,723 | 232,186,230 | 113.7 | 19.9 | 159,146,034 |
| 軽 自 動 車 税 | 420,696,000 | 460,757,757 | 418,313,715 | 99.4 | 90.8 | 4,627,060 |
| 現年課税分 | 410,634,000 | 421,566,500 | 408,438,123 | 99.5 | 96.9 | 148,300 |
| 滞納繰越分 | 10,062,000 | 39,191,257 | 9,875,592 | 98.1 | 25.2 | 4,478,760 |
| た ば こ 税 | 2,464,165,000 | 2,480,807,155 | 2,480,807,155 | 100.7 | 100.0 | — |
| 現年課税分 | 2,464,165,000 | 2,480,807,155 | 2,480,807,155 | 100.7 | 100.0 | — |
| 鉦 産 税 | 1,000 | 0 | 0 | — | — | — |
| 現年課税分 | 1,000 | 0 | 0 | — | — | — |
| 特別土地保有税 | 764,000 | 764,600 | 764,600 | 100.1 | 100.0 | — |
| 現年課税分 | 764,000 | 764,600 | 764,600 | 100.1 | 100.0 | — |
| 入 湯 税 | 169,293,000 | 175,027,170 | 175,027,170 | 103.4 | 100.0 | — |
| 現年課税分 | 169,293,000 | 175,027,170 | 175,027,170 | 103.4 | 100.0 | — |
| 滞納繰越分 | — | — | — | — | — | — |
| 都 市 計 画 税 | 2,590,862,000 | 2,889,491,490 | 2,592,286,410 | 100.1 | 89.7 | 46,197,923 |
| 現年課税分 | 2,544,809,000 | 2,626,345,600 | 2,540,128,005 | 99.8 | 96.7 | 10,123,517 |
| 滞納繰越分 | 46,053,000 | 263,145,890 | 52,158,405 | 113.3 | 19.8 | 36,074,406 |
| 合 計 | 32,297,000,000 | 35,633,164,198 | 32,399,121,120 | 100.3 | 90.9 | 394,510,617 |

不納欠損額は394,510千円であり、これは、市民税139,337千円、固定資産税204,348千円、軽自動車税4,627千円、都市計画税46,197千円によるものであるが、前年度に比較すると12,339千円（3.2%）の増加となっている。

収入未済額は2,839,532千円であり、これは、市民税1,433,595千円、固定資産税1,117,113千円、軽自動車税37,816千円、都市計画税251,007千円によるものであるが、前年度に比較すると108,139千円（3.7%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると55,634千円（0.2%）の増加となっている。

これは、市民税364,222千円、入湯税31,236千円の減があったものの、固定資産税130,939千円、軽自動車税11,576千円、たばこ税296,725千円、都市計画税11,087千円などの増があったためである。

これら増減の主な要因については、市民税は、個人市民税において課税人員の減少および所得水準の低下による減、法人市民税において廃業等による法人数の減により均等割に影響が出たことに加え、製造業における一部法人の大幅減益により法人税割に影響が出たことによる減があったことによるもので

| | 平成22年度 | 収入済額対前年度比較 | |
|----------------|----------------|--------------|------------|
| 収入未済額 B-C-D | 収入済額 E | 増減額 F=C-E | 増減率 F/E |
| 円 | 円 | 円 | % |
| 1,433,595,008 | 13,624,885,051 | △364,222,510 | △2.7 |
| 1,370,465,968 | 10,968,980,364 | △218,958,023 | △2.0 |
| 354,835,763 | 10,734,928,456 | △253,711,091 | △2.4 |
| 1,015,630,205 | 234,051,908 | 34,753,068 | 14.8 |
| 63,129,040 | 2,655,904,687 | △145,264,487 | △5.5 |
| 24,467,300 | 2,643,269,000 | △145,848,600 | △5.5 |
| 38,661,740 | 12,635,687 | 584,113 | 4.6 |
| 1,117,113,314 | 13,340,319,945 | 130,939,584 | 1.0 |
| 341,777,855 | 13,132,630,525 | 106,442,774 | 0.8 |
| 775,335,459 | 207,689,420 | 24,496,810 | 11.8 |
| 37,816,982 | 406,737,568 | 11,576,147 | 2.8 |
| 12,980,077 | 397,909,002 | 10,529,121 | 2.6 |
| 24,836,905 | 8,828,566 | 1,047,026 | 11.9 |
| 0 | 2,184,081,908 | 296,725,247 | 13.6 |
| 0 | 2,184,081,908 | 296,725,247 | 13.6 |
| 0 | 0 | 0 | — |
| 0 | 0 | 0 | — |
| 0 | 0 | 764,600 | 皆増 |
| 0 | 0 | 764,600 | 皆増 |
| 0 | 206,264,120 | △31,236,950 | △15.1 |
| 0 | 205,180,630 | △30,153,460 | △14.7 |
| — | 1,083,490 | △1,083,490 | 皆減 |
| 251,007,157 | 2,581,198,454 | 11,087,956 | 0.4 |
| 76,094,078 | 2,534,271,007 | 5,856,998 | 0.2 |
| 174,913,079 | 46,927,447 | 5,230,958 | 11.1 |
| 2,839,532,461 | 32,343,487,046 | 55,634,074 | 0.2 |

ある。

固定資産税および都市計画税は、土地において地価の下落による価格修正による減があったものの、家屋において新增築分による増があったことによるものである。

軽自動車税は、軽四輪自動車の登録台数の増加による増である。

たばこ税は、売渡本数の減はあったものの、税率の引き上げによる増である。

第2款 地方譲与税

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|--------------|--------------|-------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 830,900,000 | 811,528,665 | 811,528,665 | 97.7 | 100.0 | — | 0 | |
| 22年度 | 969,400,000 | 889,320,854 | 889,320,854 | 91.7 | 100.0 | — | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △138,500,000 | △77,792,189 | △77,792,189 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △14.3% | △8.7% | △8.7% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額830,900千円、調定額811,528千円に対し、収入済額は811,528千円であり、予算現額に対する執行率は97.7%（前年度91.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると77,792千円（8.7%）の減少となっているが、これは、自動車重量譲与税43,964千円、地方揮発油譲与税36,148千円の減などがあったためである。

第3款 利子割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 120,000,000 | 91,749,000 | 91,749,000 | 76.5 | 100.0 | — | 0 | |
| 22年度 | 120,000,000 | 115,466,000 | 115,466,000 | 96.2 | 100.0 | — | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | 0 | △23,717,000 | △23,717,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 0.0% | △20.5% | △20.5% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額120,000千円、調定額91,749千円に対し、収入済額は91,749千円であり、予算現額に対する執行率は76.5%（前年度96.2%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると23,717千円（20.5%）の減少となっている。

第4款 配当割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 18,000,000 | 30,895,000 | 30,895,000 | 171.6 | 100.0 | — | 0 |
| 2 2 年 度 | 11,000,000 | 29,157,000 | 29,157,000 | 265.1 | 100.0 | — | 0 |
| 対 前 年 度 | 増減額 | 7,000,000 | 1,738,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 63.6% | 6.0% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額18,000千円、調定額30,895千円に対し、収入済額は30,895千円であり、予算現額に対する執行率は171.6%（前年度265.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると1,738千円（6.0%）の増加となっている。

第5款 株式等譲渡所得割交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 19,000,000 | 8,070,000 | 8,070,000 | 42.5 | 100.0 | — | 0 |
| 2 2 年 度 | 19,000,000 | 9,381,000 | 9,381,000 | 49.4 | 100.0 | — | 0 |
| 対 前 年 度 | 増減額 | 0 | △1,311,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 0.0% | △14.0% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額19,000千円、調定額8,070千円に対し、収入済額は8,070千円であり、予算現額に対する執行率は42.5%（前年度49.4%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると1,311千円（14.0%）の減少となっている。

第6款 地方消費税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 2,809,400,000 | 2,935,938,000 | 2,935,938,000 | 104.5 | 100.0 | - | 0 | |
| 22年度 | 2,923,500,000 | 3,037,022,000 | 3,037,022,000 | 103.9 | 100.0 | - | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △114,100,000 | △101,084,000 | △101,084,000 | | | - | 0 |
| | 増減率 | △3.9% | △3.3% | △3.3% | | | - | - |

当年度の決算は、予算現額2,809,400千円、調定額2,935,938千円に対し、収入済額は2,935,938千円であり、予算現額に対する執行率は104.5%（前年度103.9%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると101,084千円（3.3%）の減少となっている。

第7款 ゴルフ場利用税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 25,000,000 | 24,260,992 | 24,260,992 | 97.0 | 100.0 | - | 0 | |
| 22年度 | 26,000,000 | 25,141,480 | 25,141,480 | 96.7 | 100.0 | - | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △1,000,000 | △880,488 | △880,488 | | | - | 0 |
| | 増減率 | △3.8% | △3.5% | △3.5% | | | - | - |

当年度の決算は、予算現額25,000千円、調定額24,260千円に対し、収入済額は24,260千円であり、予算現額に対する執行率は97.0%（前年度96.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると880千円（3.5%）の減少となっている。

第8款 自動車取得税交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|-------------|--------------|-------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 114,600,000 | 131,070,000 | 131,070,000 | 114.4 | 100.0 | — | 0 | |
| 22年度 | 141,500,000 | 170,393,000 | 170,393,000 | 120.4 | 100.0 | — | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △26,900,000 | △39,323,000 | △39,323,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △19.0% | △23.1% | △23.1% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額114,600千円、調定額131,070千円に対し、収入済額は131,070千円であり、予算現額に対する執行率は114.4%（前年度120.4%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると39,323千円（23.1%）の減少となっている。

第9款 国有提供施設等所在市町村助成交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|---|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 10,000,000 | 7,660,000 | 7,660,000 | 76.6 | 100.0 | — | 0 | |
| 22年度 | 10,340,000 | 10,340,000 | 10,340,000 | 100.0 | 100.0 | — | 0 | |
| 対前年度 | 増減額 | △340,000 | △2,680,000 | △2,680,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △3.3% | △25.9% | △25.9% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額10,000千円、調定額7,660千円に対し、収入済額は7,660千円であり、予算現額に対する執行率は76.6%（前年度100.0%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると2,680千円（25.9%）の減少となっている。

第10款 地方特例交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 304,898,000 | 304,898,000 | 304,898,000 | 100.0 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 349,192,000 | 349,192,000 | 349,192,000 | 100.0 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △44,294,000 | △44,294,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △12.7% | △12.7% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額、調定額、収入済額ともに同額の304,898千円であり、予算現額に対する執行率、調定額に対する収入率ともに同率の100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると44,294千円（12.7%）の減少となっている。

第11款 地方交付税

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 35,478,445,000 | 35,844,069,000 | 35,844,069,000 | 101.0 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 36,198,454,000 | 36,460,847,000 | 36,460,847,000 | 100.7 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △720,009,000 | △616,778,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | △2.0% | △1.7% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額35,478,445千円、調定額35,844,069千円に対し、収入済額は35,844,069千円であり、予算現額に対する執行率は101.0%（前年度100.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると616,778千円（1.7%）の減少となっている。

これは、特別交付税71,301千円、震災復興特別交付税31,930千円の増があったものの、普通交付税720,009千円の減があったためである。

第12款 交通安全対策特別交付金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 61,600,000 | 63,778,000 | 63,778,000 | 103.5 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 65,300,000 | 65,565,000 | 65,565,000 | 100.4 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △3,700,000 | △1,787,000 | / | / | — | 0 |
| | 増減率 | △5.7% | △2.7% | / | / | — | — |

当年度の決算は、予算現額61,600千円、調定額63,778千円に対し、収入済額は63,778千円であり、予算現額に対する執行率は103.5%（前年度100.4%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると1,787千円（2.7%）の減少となっている。

第13款 分担金及び負担金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|--------------|---------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 844,203,000 | 1,161,112,062 | 834,064,192 | 98.8 | 71.8 | 43,449,090 | 283,598,780 |
| 22年度 | 828,781,000 | 1,176,733,714 | 815,222,807 | 98.4 | 69.3 | 47,611,972 | 313,898,935 |
| 対前年度 | 増減額 | 15,422,000 | △15,621,652 | / | / | △4,162,882 | △30,300,155 |
| | 増減率 | 1.9% | △1.3% | / | / | △8.7% | △9.7% |

当年度の決算は、予算現額844,203千円、調定額1,161,112千円に対し、収入済額は834,064千円であり、予算現額に対する執行率は98.8%（前年度98.4%）、調定額に対する収入率は71.8%（前年度69.3%）となっている。

不納欠損額は43,449千円であり、これは、保育所入所負担金などの民生費負担金によるものであるが、前年度に比較すると4,162千円（8.7%）の減少となっている。

収入未済額は283,598千円であり、これは、保育所入所負担金などの民生費負担金によるものであるが、前年度に比較すると30,300千円（9.7%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると18,841千円（2.3%）の増加となっているが、これは、民生費負担金18,977千円の増などがあったためである。

第14款 使用料及び手数料

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|------|---------------|---------------|---------------|-------|------|-----------|-------------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 3,069,872,000 | 3,253,573,250 | 3,048,565,880 | 99.3 | 93.7 | 8,044,380 | 196,962,990 |
| 22年度 | 3,041,248,000 | 3,412,356,952 | 3,199,066,159 | 105.2 | 93.7 | 7,807,060 | 205,483,733 |
| 対前年度 | 増減額 | △158,783,702 | △150,500,279 | | | 237,320 | △8,520,743 |
| | 増減率 | 0.9% | △4.7% | △4.7% | | 3.0% | △4.1% |

当年度の決算は、予算現額3,069,872千円、調定額3,253,573千円に対し、収入済額は3,048,565千円であり、予算現額に対する執行率は99.3%（前年度105.2%）、調定額に対する収入率は93.7%（前年度93.7%）となっている。

不納欠損額は8,044千円であり、これは、土木使用料1,866千円、衛生手数料5,999千円などによるものであるが、前年度に比較すると237千円（3.0%）の増加となっている。

収入未済額は196,962千円であり、これは、衛生使用料95,434千円、土木使用料66,958千円、衛生手数料30,745千円などによるものであるが、前年度に比較すると8,520千円（4.1%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると150,500千円（4.7%）の減少となっている。

これは、埋立処分場使用料などの衛生使用料63,181千円、市営住宅使用料などの土木使用料18,199千円、清掃手数料などの衛生手数料57,039千円の減などがあったためである。

第15款 国庫支出金

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|------|----------------|----------------|----------------|------|-------|-----------|-----------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 26,299,421,000 | 26,147,733,958 | 26,147,733,958 | 99.4 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 26,224,829,000 | 25,354,064,702 | 25,354,064,702 | 96.7 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 74,592,000 | 793,669,256 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 0.3% | 3.1% | 3.1% | | — | — |

当年度の決算は、予算現額26,299,421千円、調定額26,147,733千円に対し、収入済額は26,147,733千円であり、予算現額に対する執行率は99.4%（前年度96.7%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると793,669千円（3.1%）の増加となっている。

これは、総務費補助金414,227千円、土木費補助金119,331千円、教育費補助金99,385千円、総務費委託金205,570千円などの減があったものの、民生費負担金1,426,368千円、教育費負担金202,283千円、民生費補助金13,239千円などの増があったためである。

第16款 道 支 出 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|---------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 5,766,966,000 | 5,627,770,112 | 5,627,770,112 | 97.6 | 100.0 | — | 0 |
| 2 2 年 度 | 5,737,638,000 | 5,458,743,589 | 5,458,743,589 | 95.1 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 29,328,000 | 169,026,523 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 0.5% | 3.1% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額5,766,966千円、調定額5,627,770千円に対し、収入済額は5,627,770千円であり、予算現額に対する執行率は97.6%（前年度95.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると169,026千円（3.1%）の増加となっている。

これは、民生費補助金109,127千円、教育費補助金70,241千円などの減があったものの、衛生費補助金144,948千円、労働費補助金111,520千円、民生費負担金66,801千円などの増があったためである。

第17款 財 産 収 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|---------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 437,780,000 | 456,247,701 | 445,510,382 | 101.8 | 97.6 | — | 10,737,319 |
| 2 2 年 度 | 286,068,000 | 304,208,955 | 292,258,292 | 102.2 | 96.1 | — | 11,950,663 |
| 対前年度 | 増減額 | 151,712,000 | 153,252,090 | | | — | △1,213,344 |
| | 増減率 | 53.0% | 50.0% | | | — | △10.2% |

当年度の決算は、予算現額437,780千円、調定額456,247千円に対し、収入済額は445,510千円であり、予算現額に対する執行率は101.8%（前年度102.2%）、調定額に対する収入率は97.6%（前年度96.1%）となっている。

収入未済額は10,737千円であり、これは、土地貸付収入などの財産運用収入によるものであるが、前年度に比較すると1,213千円（10.2%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると153,252千円（52.4%）の増加となっているが、これは、財産売払収入152,731千円などの増があったためである。

第18款 寄 付 金

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|------|-------------|-------------|-------------|-------|-------|-----------|-----------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 226,210,000 | 216,960,087 | 216,960,087 | 95.9 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 173,566,000 | 188,290,513 | 188,290,513 | 108.5 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 28,669,574 | 28,669,574 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 30.3% | 15.2% | 15.2% | | — | — |

当年度の決算は、予算現額226,210千円、調定額216,960千円に対し、収入済額は216,960千円であり、予算現額に対する執行率は95.9%（前年度108.5%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると28,669千円（15.2%）の増加となっているが、これは、一般寄付金1,973千円、指定寄付金26,696千円の増があったためである。

第19款 繰 入 金

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|------|---------------|---------------|---------------|------|-------|-----------|-----------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 4,709,294,000 | 4,096,271,715 | 4,096,271,715 | 87.0 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 583,262,000 | 314,261,766 | 314,261,766 | 53.9 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 3,782,009,949 | 3,782,009,949 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 707.4% | 激増 | 激増 | | — | — |

当年度の決算は、予算現額4,709,294千円、調定額4,096,271千円に対し、収入済額は4,096,271千円であり、予算現額に対する執行率は87.0%（前年度53.9%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると3,782,009千円（激増）の増加となっている。

これは、財政調整基金繰入金50,000千円の皆増、公共施設整備等基金繰入金500,000千円、減債基金繰入金398,492千円、地球温暖化対策基金繰入金54,675千円、地域振興基金繰入金2,760,107千円の増などがあったためである。

第20款 繰越金

| 区分 | 予算現額 A | 調定額 B | 収入済額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収入未済額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 1,109,408,140 | 1,109,408,324 | 1,109,408,324 | 100.0 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 937,230,000 | 937,230,216 | 937,230,216 | 100.0 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 172,178,140 | 172,178,108 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 18.4% | 18.4% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額1,109,408千円、調定額1,109,408千円に対し、収入済額は1,109,408千円であり、予算現額に対する執行率、調定額に対する収入率ともに同率の100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると172,178千円（18.4%）の増加となっている。

第21款 諸収入

| 区分 | 予算現額 A | 調定額 B | 収入済額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収入未済額 B-C-D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|---------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 6,013,627,000 | 8,175,593,267 | 6,131,344,442 | 102.0 | 75.0 | 1,254,087,031 | 790,161,794 |
| 22年度 | 6,304,333,000 | 7,173,819,366 | 6,285,922,964 | 99.7 | 87.6 | 36,070,195 | 851,826,207 |
| 対前年度 | 増減額 | △290,706,000 | 1,001,773,901 | | | 1,218,016,836 | △61,664,413 |
| | 増減率 | △4.6% | 14.0% | | | 激増 | △7.2% |

当年度の決算は、予算現額6,013,627千円、調定額8,175,593千円に対し、収入済額は6,131,344千円であり、予算現額に対する執行率は102.0%（前年度99.7%）、調定額に対する収入率は75.0%（前年度87.6%）となっている。

不納欠損額は1,254,087千円であり、これは、雑入において、医療法人の医療費不正受給事案による医療助成費返還金および老人保健医療給付費返還金ならびに建設業者の行政代執行費用収入を含む1,248,083千円などによるものであるが、前年度に比較すると1,218,016千円（激増）の増加となっている。

収入未済額は790,161千円であり、これは、貸付収入103,550千円、雑入686,610千円によるものであり、前年度に比較すると61,664千円（7.2%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると154,578千円（2.5%）の減少となっているが、これは、雑入21,005千円、延滞金、加算金及び過料4,690千円などの増があったものの、貸付収入181,217千円などの減があったためである。

第22款 市 債

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 12,741,100,000 | 11,586,700,000 | 11,586,700,000 | 90.9 | 100.0 | — | 0 |
| 2 2 年 度 | 12,002,300,000 | 10,490,500,000 | 10,490,500,000 | 87.4 | 100.0 | — | 0 |
| 対 前 年 度 | 増減額 | 738,800,000 | 1,096,200,000 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 6.2% | 10.4% | | | — | — |

当年度の決算は、予算現額12,741,100千円、調定額11,586,700千円に対し、収入済額は11,586,700千円であり、予算現額に対する執行率は90.9%（前年度87.4%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

収入済額を前年度に比較すると1,096,200千円（10.4%）の増加となっている。

これは、農林水産債104,300千円、土木債267,100千円、教育債205,400千円、臨時財政対策債1,111,800千円の減があったものの、総務債226,000千円、民生債1,074,700千円、消防債462,800千円、退職手当債1,000,000千円などの増があったためである。

(3) 歳 出

以下、歳出の款別決算状況は次のとおりである。

第1款 議 会 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|--------------|--------------|------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 523,735,000 | 500,809,843 | 95.6 | — | 22,925,157 |
| 22年度 | 423,327,000 | 399,959,241 | 94.5 | — | 23,367,759 |
| 対前年度 増減額 | 100,408,000 | 100,850,602 | | — | △442,602 |
| 増減率 | 23.7% | 25.2% | | — | △1.9% |

当年度の決算は、予算現額523,735千円に対し、支出済額は500,809千円であり、予算現額に対する執行率は95.6%（前年度94.5%）、不用額は22,925千円となっている。

支出済額を前年度に比較すると100,850千円（25.2%）の増加となっているが、これは地方議会議員年金制度が廃止され、議員年金支給にかかる議員共済費負担金が地方公共団体の全額負担となったことによる増などがあったためである。

第2款 総 務 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|---------------|---------------|------------|------------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 5,013,127,000 | 4,843,614,934 | 96.6 | — | 169,512,066 |
| 22年度 | 5,174,252,265 | 4,882,171,600 | 94.4 | 83,097,000 | 208,983,665 |
| 対前年度 増減額 | △161,125,265 | △38,556,666 | | △83,097,000 | △39,471,599 |
| 増減率 | △3.1% | △0.8% | | 皆減 | △18.9% |

当年度の決算は、予算現額5,013,127千円に対し、支出済額は4,843,614千円であり、予算現額に対する執行率は96.6%（前年度94.4%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、国際水産・海洋都市構想の推進では、（仮称）函館マリンサイエンスパーク整備に係る用地購入と実施設計を実施し、国際化推進では、8月に韓国・高陽市と姉妹都市提携の調印を行っている。

防災対策では、災害時に備えて非常食や応急救護用資材を購入したほか、さきの東日本大震災による被災自治体3県に義援金を拠出した。

また、引き続き、函館圏公立大学広域連合負担金を支出している。

不用額は169,512千円であり、これは、総務管理費109,382千円、徴税費20,549千円、選挙費27,234千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると38,556千円（0.8％）の減少となっている。

第3款 民 生 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|---------------|------------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 48,227,218,500 | 47,351,498,569 | 98.2 | — | 875,719,931 | |
| 22年度 | 45,797,487,000 | 44,980,751,824 | 98.2 | 78,565,500 | 738,169,676 | |
| 対前年度 | 増減額 | 2,429,731,500 | 2,370,746,745 | | △78,565,500 | 137,550,255 |
| | 増減率 | 5.3% | 5.3% | | 皆減 | 18.6% |

当年度の決算は、予算現額48,227,218千円に対し、支出済額は47,351,498千円であり、予算現額に対する執行率は98.2％（前年度98.2％）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、地域福祉では、第2次函館市地域福祉計画に基づき、各種施策の推進に努めたほか、障がい者福祉では、第2期函館市障がい福祉計画に基づき地域生活支援事業など各種サービスの提供および障害者自立支援給付費の充実を図り、自立した生活の支援に努めるとともに、第3期函館市障がい福祉計画を策定した。

また、前年度に引き続き、青柳学園、あおば学園およびともえ学園の統合施設であるはこだて療育・自立支援センターを建設した。

高齢者福祉では、第5次函館市高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画に基づき、高齢者等在宅生活支援事業をはじめとする高齢者福祉サービス等を実施するとともに、第6次函館市高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画を策定した。

児童福祉では、函館市次世代育成支援後期行動計画に基づき、民間保育園における延長保育の実施に対して支援の要件を拡大して事業の充実を図るなど、各種施策の推進に努めるとともに、函館市公立保育園後期民営化計画に基づき、公立保育園の民営化を推進した。

さらに、函館市児童館整備計画に基づき、函館市神山児童館を建設したほか、児童館各種行事を充実させることによって、各児童館における地域との連携強化を図った。

また、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計および母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計への繰出しをした。

不用額は875,719千円であり、これは、社会福祉費251,617千円、児童福祉費177,324千円、生活保護費423,992千円、国民健康保険費18,012千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると2,370,746千円（5.3%）の増加となっている。

第4款 衛 生 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|---------------|---------------|-------------|------------------|----------------|--------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 8,615,618,000 | 8,273,109,973 | 96.0 | — | 342,508,027 | |
| 22年度 | 8,093,890,000 | 7,559,289,903 | 93.4 | 58,500,000 | 476,100,097 | |
| 対前年度 | 増減額 | 521,728,000 | 713,820,070 | | △58,500,000 | △133,592,070 |
| | 増減率 | 6.4% | 9.4% | | 皆減 | △28.1% |

当年度の決算は、予算現額8,615,618千円に対し、支出済額8,273,109千円であり、予算現額に対する執行率は96.0%（前年度93.4%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、保健衛生では、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの予防接種費用を全額助成した。

健康増進事業では、新たに、働く世代への大腸がん検診推進事業として無料検診を実施した。

環境保全・廃棄物対策では、ごみ資源化・減量化を推進するため、リサイクルセンターにおいて資源ごみ処理設備機器代替および整備工事、資源ごみ貯留ヤード増設工事を実施したほか、公共用水域の水質保全等を図るため、合併処理浄化槽の設置費用を助成した。

また、地域における地球温暖化対策の取組みとして、地球温暖化対策基金を活用し、街路灯など省エネルギー化改修事業および南北海道教育センター省エネルギー化改修事業を実施した。

後期高齢者医療では、北海道後期高齢者医療広域連合に負担金を支出するとともに、後期高齢者医療事業特別会計への繰出しをした。

不用額は342,508千円であり、これは、保健衛生費220,842千円、清掃費114,266千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると713,820千円の増加となっているが、これは、清掃総務費25,627千円、母子保健対策費24,070千円などの減があったものの、保健衛生総務費78,100千円、予防接種費92,494千円、リサイクルセンター管理運営費などの増に伴う塵芥処理費134,272千円、後期高齢者医療事業費399,455千円などの増があったためである。

第5款 労 働 費

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 | |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C | |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 950,258,000 | 914,112,986 | 96.2 | — | 36,145,014 | |
| 22年度 | 826,672,000 | 798,751,291 | 96.6 | 2,300,000 | 25,620,709 | |
| 対前年度 | 増減額 | 123,586,000 | 115,361,695 | | △2,300,000 | 10,524,305 |
| | 増減率 | 14.9% | 14.4% | | 皆減 | 41.1% |

当年度の決算は、予算現額950,258千円に対し、支出済額は914,112千円であり、予算現額に対する執行率は96.2%（前年度96.6%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、引き続き、地域の雇用情勢や労働環境の把握を目的に労働関係調査を実施したほか、新規高卒者等を正規雇用した中小企業者に対し、新規高卒者等雇用奨励補助金を交付し、地元への就職促進に努めるとともに、国の試行雇用奨励金を活用した事業者に対し、トライアル雇用奨励補助金を交付し、地域の雇用機会の拡大を図った。

また、ふるさと雇用再生特別交付金事業として4事業、緊急雇用創出事業として61事業を実施した。不用額は36,145千円であり、これは、労働諸費において労働総務費、緊急雇用対策費の減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると115,361千円（14.4%）の増加となっている。

第6款 農 林 水 産 費

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 | |
|------|-------------|--------------|--------------|-------------|------------|------------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C | |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 886,316,000 | 827,528,140 | 93.4 | 3,564,000 | 55,223,860 | |
| 22年度 | 996,489,000 | 960,578,348 | 96.4 | — | 35,910,652 | |
| 対前年度 | 増減額 | △110,173,000 | △133,050,208 | | 3,564,000 | 19,313,208 |
| | 増減率 | △11.1% | △13.9% | | 皆増 | 53.8% |

当年度の決算は、予算現額886,316千円に対し、支出済額は827,528千円であり、予算現額に対する執行率は93.4%（前年度96.4%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、農業では、安全・安心な農産物生産および収益性の向上を目指し、経営安定対策として、新たに、農作物の高付加価値化に資する農作物集出荷貯蔵施設（人参洗浄選別設備）および高収益農業促進施設（アスパラガス用灌水設備付ビニールハウス）の整備

などに対して支援するとともに、酪農において経営改善対策として酪農家のコスト縮減等に資する共同利用L型バンカーサイロの整備に対して支援した。

林業では、市有林の計画的な除間伐、枝打ちなどの保育事業等を引き続き実施したほか、森林保全に対する意識向上を目的とし、豊かな海づくりにも寄与する恵みの森づくり事業を漁業協同組合関係者や地元小学生などの参加のもと実施した。

水産業では、本市の水産業発展の指針である「函館市水産振興計画」に基づき、ナマコ資源の維持・増大に関する研究に取り組んだほか、栽培漁業施設整備としてコンブ種苗生産設備（戸井地区）およびコンブ養殖施設（恵山地区）の整備に対して支援した。

さらに、漁港においては、大舟（望路）漁港の新設整備を促進するとともに、石崎、戸井、日浦、大舟（大船）各漁港の改良整備を促進している。

また、地方卸売市場事業特別会計への繰出しをした。

なお、農水産物生産品開発支援事業費補助金3,564千円が翌年度繰越額（繰越明許費）となっている。

不用額は55,223千円であり、これは、農林費19,405千円、水産費35,818千円の減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると133,050千円の減少となっているが、これは、農業振興費53,953千円などの増があったものの、林業振興費46,952千円、水産振興費61,874千円、漁港整備費42,418千円などの減があったためである。

第7款 商 工 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------------------|---------------|---------------|--------------|------------------|--------------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 3 年 度 | 5,796,616,000 | 5,711,963,217 | 98.5 | — | 84,652,783 | |
| 2 2 年 度 | 6,002,938,000 | 5,933,050,264 | 98.8 | 7,000,000 | 62,887,736 | |
| 対 前 年 度 | 増減額 | △206,322,000 | △221,087,047 | | △7,000,000 | 21,765,047 |
| | 増減率 | △3.4% | △3.7% | | 皆減 | 34.6% |

当年度の決算は、予算現額5,796,616千円に対し、支出済額は5,711,963千円であり、予算現額に対する執行率は98.5%（前年度98.8%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、本市の最重要課題である経済再生にあたり有識者と意見交換を行う函館市経済再生会議を設置した。

商業では、商店街等の活性化の支援、推進を図るため、元気いっぱい商店街等支援交付金制度を創設し、事業者に交付金を交付したほか、はこだてスイーツフェスタ等を開催した。

また、本市特産品の認知度を首都圏で高めることにより販路拡大のきっかけとするため、新たに、東京都内の大手コンビニエンスストア内にミニアンテナショップを開設した。

工業では、地域企業の技術力と首都圏等の企業のニーズを結びつけ、地域産業の活性化や企業立地の実現を図るため地域資源ビジネスマッチング事業に取り組むとともに、水産加工品等地場製品のブランド化を推進した。

新産業の創出と企業立地の促進については、地元IT企業の人材の確保・育成のための取り組みを行ったほか、研究開発型企業の立地を促進するために企業誘致活動を行った。

また、国際競争力を持った地域クラスターの育成を促進することを目的とした函館マリンバイオクラスターの形成事業に取り組んでいる。

中小企業金融対策では、一般事業貸付金や、起業者向けのチャレンジ資金、産業活性化資金などの特定事業貸付金の融資制度の活用を促進したほか、特別緊急事業貸付金として東日本大震災緊急小口運転資金貸付金制度を期間限定で新設し、活用を促進した。

貿易振興では、海外販路の拡大のため、これまでも台湾、シンガポール、香港において市場調査を実施してきており、引き続き、台湾では函館フェアを開催したほか、新たに香港市場においても同フェアを開催するとともに、各種セミナーや商談会を実施した。

観光では、テレビの旅行番組を活用した集客促進事業や、東アジア地区などにおいて観光プロモーションを実施するなど、国内外からの観光客誘致に努めるとともに、観光資源の充実や滞在型観光の実現に向けた広域観光の推進のほか、コンベンション誘致の促進、歴史・景観・食を生かした函館ブランドの確立などに取り組んでいる。

不用額は84,652千円であり、これは、商工業振興費69,306千円、観光費7,889千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると221,087千円（3.7%）の減少となっている。

第8款 土 木 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 9,794,862,891 | 9,530,173,047 | 97.3 | 142,671,000 | 122,018,844 | |
| 22年度 | 10,757,557,501 | 10,537,713,118 | 98.0 | 4,900,000 | 214,944,383 | |
| 対前年度 | 増減額 | △962,694,610 | △1,007,540,071 | | 137,771,000 | △92,925,539 |
| | 増減率 | △8.9% | △9.6% | | 激増 | △43.2% |

当年度の決算は、予算現額9,794,862千円に対し、支出済額は9,530,173千円であり、予算現額に対する執行率は97.3%（前年度98.0%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、道路整備事業では、生活関連道路を中心とした道路舗装のほか、街路整備などを実施した。

緑化推進事業では、緑地の保全および緑化を推進するため、函館山緑地整備や街路樹の植栽を実施した。

公園整備事業では、都市公園バリアフリー化整備事業として市民の森、大森公園、千歳公園、的場公園の園路整備などを実施したほか、公園施設長寿命化対策事業として長寿命化を図るための計画に基づき、18公園における遊具などの施設の改築・更新を実施した。

公営住宅事業では、建替事業として日吉3丁目団地内に集会所および公園を整備したほか、耐震等改修事業として駒場改良団地の耐震改修工事および外壁改修工事などを実施した。

空港整備事業では、国直轄事業としてエプロン改修、誘導路改修等の整備が行われたほか、空港周辺整備事業として、住宅騒音防止対策事業および共同利用施設騒音防止対策事業を実施した。

また、西部地区歴史的町並み基金への積立てをするとともに、港湾事業特別会計への繰出しをした。

なお、市道新興通道路整備事業費20,442千円、市道弥生坂通ほか1線道路整備事業費24,450千円、市道赤川陣川線ほか1線道路整備事業費45,240千円、市営住宅東海団地ほか3団地駐車場整備事業費4,263千円、市営住宅小安西団地ほか2団地駐車場整備事業費3,276千円が、2月中旬の豪雪により工事が遅れ年度内完成が困難となったことから、翌年度繰越額（事故繰越し）となっているほか、都市計画道路3・4・66日吉中央通街路整備事業費45,000千円が翌年度繰越額（繰越明許費）となっている。

不用額は122,018千円であり、これは河川費47,063千円、都市計画費39,331千円、住宅費24,970千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると1,007,540千円の減少となっている。

第9款 消 防 費

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|------|---------------|---------------|------|-------------|-----------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 1,709,875,000 | 1,367,202,593 | 80.0 | 340,500,000 | 2,172,407 |
| 22年度 | 911,666,000 | 910,704,047 | 99.9 | — | 961,953 |
| 対前年度 | 増減額 | 456,498,546 | | 340,500,000 | 1,210,454 |
| | 増減率 | 50.1% | | 皆増 | 125.8% |

当年度の決算は、予算現額1,709,875千円に対し、支出済額は1,367,202千円であり、予算現額に対する執行率は80.0%（前年度99.9%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、水槽付消防ポンプ自動車2台、高規格救急自動車1台、小型動力ポンプ付積載車1台をそれぞれ更新したほか、北消防署庁舎整備を行うとともに、新たに北消防署末広出張所庁舎整備のための用地買収、地質調査、実施設計などを実施した。

なお、消防救急無線デジタル化整備事業費340,500千円が翌年度繰越額（繰越明許費）となっている。

不用額は2,172千円であり、これは、常備消防費596千円、非常備消防費522千円、消防施設費1,053千円の減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると456,498千円（50.1%）の増加となっているが、これは、消防施設費422,390千円などの増があったためである。

第10款 教 育 費

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌 年 度 繰 越 額 | 不 用 額 |
|------|---------------|---------------|------|--------------|-------------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 7,408,360,640 | 7,258,162,886 | 98.0 | 29,000,000 | 121,197,754 |
| 22年度 | 7,980,209,000 | 7,553,817,454 | 94.7 | 270,628,640 | 155,762,906 |
| 対前年度 | 増減額 | △295,654,568 | | △241,628,640 | △34,565,152 |
| | 増減率 | △3.9% | | △89.3% | △22.2% |

当年度の決算は、予算現額7,408,360千円に対し、支出済額は7,258,162千円であり、予算現額に対する執行率は98.0%（前年度94.7%）となっている。

執行されたもののうち特徴的なものについては、学校教育において、小・中学校の新学習指導要領に対応した教材の整備を行ったほか、地域人材を活用した講座の開催や体験学習を実施した。

義務教育施設整備では、弥生小学校校舎を完成させたほか、尾札部中学校ほか7校の校舎等耐震診断・

改修事業を実施した。

社会教育では、弥生小学校併設学童保育施設整備の建設工事を実施したほか、小・中学生が文化・芸術に触れる機会を拡充するため文化・芸術アウトリーチ事業を実施した。

文化財保護では、縄文文化交流センターを開館したほか、史跡垣ノ島遺跡の保存のため、境界確定測量を行うとともに、旧函館区公会堂の保存修理を行うため、修理計画を策定した。

スポーツ振興では、函館ハーフマラソンなどの各種スポーツ大会開催の支援やスポーツ合宿の誘致を行ったほか、函館アリーナのプロポーザルコンペを実施した。

また、亀田公民館建設基金への積み立てをした。

なお、亀田中学校校舎等耐震改修事業費29,000千円が翌年度繰越額（繰越明許費）となっている。

不用額は121,197千円であり、これは、教育総務費29,474千円、小学校費28,767千円、中学校費10,923千円、社会教育費28,167千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると295,654千円（3.9%）の減少となっているが、これは、小学校費31,479千円、義務教育施設整備費722,678千円などの増があったものの、教育総務費19,342千円、社会教育費1,011,314千円などの減があったことによるものである。

第11款 災害復旧費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|------------------|----------------|---------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 9,000,000 | 8,358,000 | 92.9 | — | 642,000 | |
| 22年度 | — | — | — | — | — | |
| 対前年度 | 増減額 | 9,000,000 | 8,358,000 | | — | 642,000 |
| | 増減率 | 皆増 | 皆増 | | — | 皆増 |

当年度の決算は、予算現額9,000千円に対し、支出済額は8,358千円であり、予算現額に対する執行率は92.9%となっている。

執行内容は、平成23年3月発生の東日本大震災に伴うその他公共施設災害復旧費であり、その内訳は、ふれあい「イカ広場」の照明設備、棧橋駐車場の駐車場自動管理システムおよび函館駅前広場駐車場の駐車場自動管理システムに対する復旧費8,358千円である。

不用額は642千円となっている。

第12款 公 債 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|---------|----------------|----------------|-------------|------------------|--------------------|-----------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 3 年 度 | 14,646,544,000 | 14,595,770,605 | 99.7 | — | 50,773,395 | |
| 2 2 年 度 | 14,117,863,000 | 14,068,529,187 | 99.7 | — | 49,333,813 | |
| 対前年度 | 増減額 | 528,681,000 | 527,241,418 | | — | 1,439,582 |
| | 増減率 | 3.7% | 3.7% | | — | 2.9% |

当年度の決算は、予算現額14,646,544千円に対し、支出済額は14,595,770千円であり、予算現額に対する執行率は99.7%（前年度99.7%）となっている。

不用額は50,773千円であり、これは一時借入金利子50,729千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると527,241千円（3.7%）の増加となっている。

第13款 諸 支 出 金

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|---------|---------------|---------------|---------------|------------------|--------------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 2 3 年 度 | 8,510,638,714 | 8,482,565,305 | 99.7 | — | 28,073,409 | |
| 2 2 年 度 | 5,930,879,000 | 5,829,950,862 | 98.3 | — | 100,928,138 | |
| 対前年度 | 増減額 | 2,579,759,714 | 2,652,614,443 | | — | △72,854,729 |
| | 増減率 | 43.5% | 45.5% | | — | △72.2% |

当年度の決算は、予算現額8,510,638千円に対し、支出済額は8,482,565千円であり、予算現額に対する執行率は99.7%（前年度98.3%）となっている。

当年度は、企業会計への繰出金として、水道事業会計158,089千円、温泉事業会計6,470千円、公共下水道事業会計1,628,410千円、交通事業会計460,308千円および病院事業会計5,487,485千円の合計7,740,763千円を支出した。

また、財政調整基金445千円、土地開発基金4,755千円および減債基金736,600千円の合計741,801千円の積立てをした。

不用額は28,073千円であり、これは、温泉事業費13,000千円および下水道事業費11,633千円などの減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると2,652,614千円（45.5%）の増加となっている。

第14款 職 員 費

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌 年 度 繰 越 額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------|----------------|----------------|--------------|------------------|--------------------|--------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 21,181,043,000 | 21,179,250,851 | 100.0 | — | 1,792,149 | |
| 22年度 | 21,521,185,000 | 21,316,197,925 | 99.0 | — | 204,987,075 | |
| 対前年度 | 増減額 | △340,142,000 | △136,947,074 | | — | △203,194,926 |
| | 増減率 | △1.6% | △0.6% | | — | △99.1% |

当年度の決算は、予算現額21,181,043千円に対し、支出済額は21,179,250千円であり、予算現額に対する執行率は100.0%（前年度99.0%）となっている。

不用額は1,792千円であり、これは、一般部局職員費1,792千円の減によるものである。

支出済額を前年度に比較すると136,947千円（0.6%）の減少となっている。

なお、職員給与費の決算比較では、平成22年度が17,220,805千円、平成23年度は16,351,898千円となっており868,907千円の減となった。

また、退職手当については、平成22年度決算では2,919,235千円であったが、平成23年度決算では3,676,916千円となっており757,681千円の増となった。

第15款 予 備 費

| 区 分 | 議 決 予 算 額 A | 充 用 額 B | 執行率 B/A | 不 用 額 A - B |
|------|----------------|-------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 |
| 23年度 | 413,373,000 | 379,861,605 | 91.9 | 33,511,395 |
| 22年度 | 475,664,000 | 12,137,766 | 2.6 | 463,526,234 |
| 対前年度 | 増減額 | △62,291,000 | 367,723,839 | △430,014,839 |
| | 増減率 | △13.1% | 激増 | △92.8% |

予備費については、東日本大震災における津波被害者に対する見舞金として民生費に2,380千円、除雪費および都市公園等における事故の損害賠償金として土木費に376,871千円、諸支出金に609千円を充用している。

充用額を前年度に比較すると367,723千円（激増）の増加となっている。

3 特別会計

当年度の各特別会計の決算状況は次のとおりである。

(1) 港湾事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収 入 未 済 額 B - C - D |
|------|---------------|---------------|---------------|--------------|------------|------------|------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 3,594,892,000 | 3,601,919,383 | 3,600,814,847 | 100.2 | 100.0 | 58,680 | 1,045,856 |
| 22年度 | 3,815,766,000 | 3,781,568,887 | 3,780,309,334 | 99.1 | 100.0 | 197,559 | 1,061,994 |
| 対前年度 | 増減額 | △220,874,000 | △179,649,504 | △179,494,487 | | △138,879 | △16,138 |
| | 増減率 | △5.8% | △4.8% | △4.7% | | △70.3% | △1.5% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A - B - C |
|------|---------------|---------------|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 3,594,892,000 | 3,576,971,211 | 99.5 | - | 17,920,789 |
| 22年度 | 3,815,766,000 | 3,755,168,542 | 98.4 | 46,200,000 | 14,397,458 |
| 対前年度 | 増減額 | △220,874,000 | △178,197,331 | △46,200,000 | 3,523,331 |
| | 増減率 | △5.8% | △4.7% | 皆減 | 24.5% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 23,843,636円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額3,600,814千円、支出済額3,576,971千円であり、歳入歳出差引残額23,843千円となった。

歳入についてみると、予算現額3,594,892千円、調定額3,601,919千円に対し、収入済額は3,600,814千円であり、予算現額に対する執行率は100.2%（前年度99.1%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

不納欠損額は58千円であり、これは、使用料及び手数料22千円、諸収入36千円によるものであるが、前年度に比較すると138千円（70.3%）の減少となっている。

収入未済額は1,045千円であり、これは、使用料及び手数料452千円、諸収入593千円によるものであるが、前年度に比較すると16千円（1.5%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると179,494千円（4.7%）の減少となっているが、その内訳は1表

のとおりであり、財産収入284,806千円などの増があったものの、使用料及び手数料15,763千円、繰入金440,632千円、繰越金35,300千円などの減があったためである。

なお、使用料及び手数料の収入状況は2表のとおりであり15,763千円(6.1%)の減少となっているが、これは、荷さばき地使用料4,854千円、港湾施設用地使用料1,288千円の増があったものの、移動式荷役機械使用料および冷凍コンテナ用電気供給施設使用料の皆減があったほか、けい船料2,708千円、上屋使用料4,423千円などの減があったためである。

一方、歳出についてみると、予算現額3,594,892千円に対し、支出済額は3,576,971千円であり、予算現額に対する執行率は99.5%(前年度98.4%)となっている。

不用額は17,920千円であり、これは、港湾管理費11,971千円、職員費2,947千円、予備費3,000千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると178,197千円(4.7%)の減少となっているが、その内訳は3表のとおりであり、港湾整備費16,000千円の増があったものの、港湾管理費42,146千円、公債費136,681千円、職員費15,370千円の減があったためである。

上屋等の施設の収支状況は4表のとおりである。

当年度は、弁天地区の道路・護岸整備、中央ふ頭地区のこ線橋整備を実施し、国直轄港湾改修事業では、弁天地区および中央ふ頭地区の岸壁改良事業、北ふ頭地区の岸壁整備、本港地区の幹線臨港道路(湾岸線)整備、榎法華港の防波護岸改良事業を実施するとともに、平成23年3月の東日本大震災に伴う津波被害を受け、若松地区の防潮堤の嵩上げなどを市の単独事業として実施した。

なお、市債残高の状況は5表のとおりであり、当年度の起債額599,600千円、償還額2,110,431千円であったことから、前年度末残高18,461,994千円と比較すると1,510,831千円減少し、当年度末残高は16,951,163千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、引き続き、港湾の利用促進のため、港湾関係団体と緊密に連携し、コンテナ定期航路の安定運航に向けたポートセールスに取り組むとともに、函館港港湾計画に基づき港湾施設整備を進めるなど、総合交流拠点港湾としての一層の機能強化に努められたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 242,834,660 | 258,598,059 | △15,763,399 | △6.1 |
| 国 庫 支 出 金 | 28,675,500 | 10,360,000 | 18,315,500 | 176.8 |
| 道 支 出 金 | 382,000 | 344,000 | 38,000 | 11.0 |
| 財 産 収 入 | 311,538,155 | 26,731,371 | 284,806,784 | 激増 |
| 繰 入 金 | 2,361,420,000 | 2,802,052,000 | △440,632,000 | △15.7 |
| 繰 越 金 | 25,140,792 | 60,440,879 | △35,300,087 | △58.4 |
| 諸 収 入 | 31,223,740 | 32,283,025 | △1,059,285 | △3.3 |
| 市 債 | 599,600,000 | 589,500,000 | 10,100,000 | 1.7 |
| 計 | 3,600,814,847 | 3,780,309,334 | △179,494,487 | △4.7 |

2表 使用料及び手数料の収入状況

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使 用 料 | 242,833,160 | 258,595,359 | △15,762,199 | △6.1 |
| 入 港 料 | 9,878,318 | 10,149,996 | △271,678 | △2.7 |
| け い 船 料 | 94,945,190 | 97,653,495 | △2,708,305 | △2.8 |
| け い 船 浮 標 使 用 料 | 1,141,140 | 2,476,320 | △1,335,180 | △53.9 |
| 船 舶 給 水 施 設 使 用 料 | 20,351,737 | 21,417,773 | △1,066,036 | △5.0 |
| 移 動 式 荷 役 機 械 使 用 料 | — | 7,992,500 | △7,992,500 | 皆減 |
| 上 屋 使 用 料 | 11,271,811 | 15,695,237 | △4,423,426 | △28.2 |
| 船 揚 場 使 用 料 | 648,906 | 654,619 | △5,713 | △0.9 |
| 荷 さ ば き 地 使 用 料 | 68,899,227 | 64,044,746 | 4,854,481 | 7.6 |
| 冷 凍 コ ン テ ナ 用 電 気 供 給 施 設 使 用 料 | — | 3,284,970 | △3,284,970 | 皆減 |
| 港 湾 施 設 用 地 使 用 料 | 29,508,510 | 28,220,261 | 1,288,249 | 4.6 |
| 諸 使 用 料 | 6,188,321 | 7,005,442 | △817,121 | △11.7 |
| 手 数 料 | 1,500 | 2,700 | △1,200 | △44.4 |
| 督 促 手 数 料 | — | 300 | △300 | 皆減 |
| 諸 手 数 料 | 1,500 | 2,400 | △900 | △37.5 |
| 計 | 242,834,660 | 258,598,059 | △15,763,399 | △6.1 |

3表 歳出款別比較

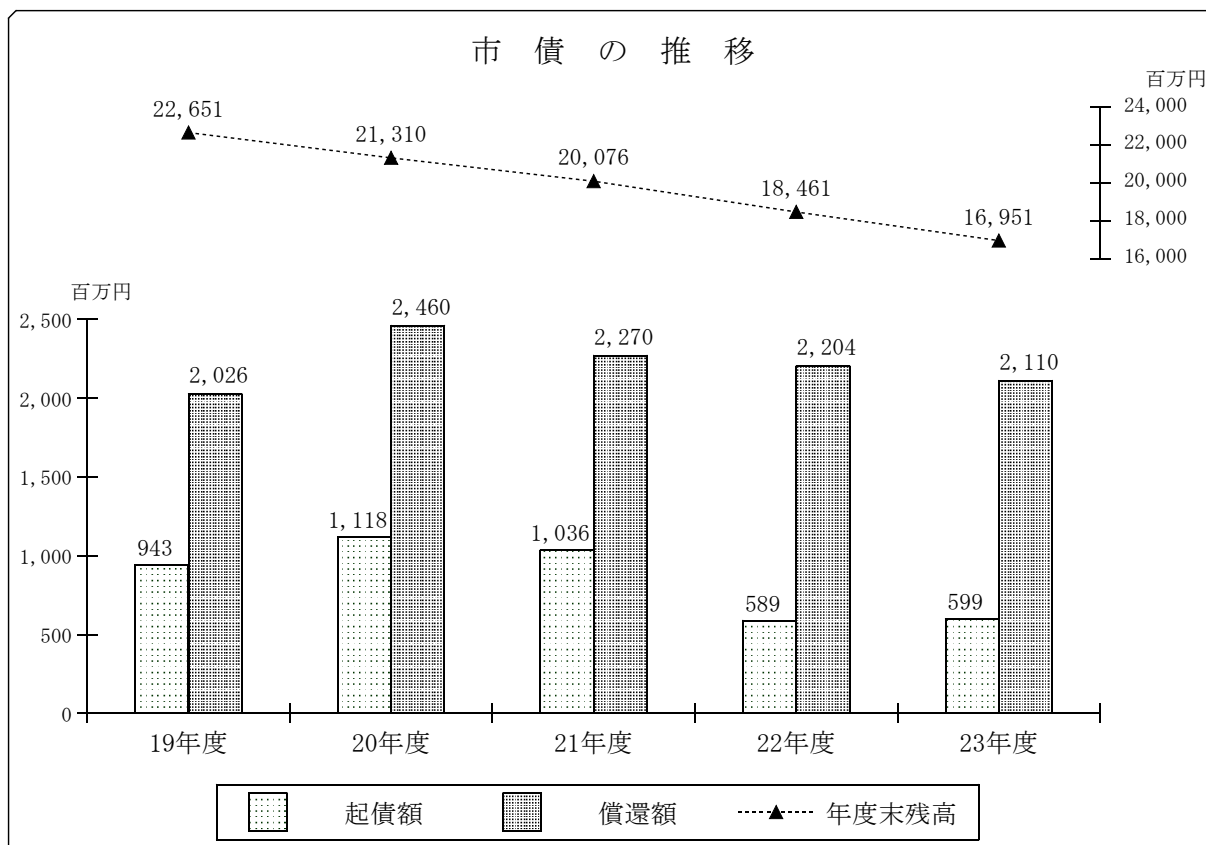
| 科 目 | 2 3 年度 | 2 2 年度 | 対前年度比較 | |
|-----------|---------------|---------------|--------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 港 湾 管 理 費 | 289,864,815 | 332,010,875 | △42,146,060 | △12.7 |
| 港 湾 整 備 費 | 638,913,617 | 622,912,745 | 16,000,872 | 2.6 |
| 公 債 費 | 2,431,993,514 | 2,568,674,932 | △136,681,418 | △5.3 |
| 職 員 費 | 216,199,265 | 231,569,990 | △15,370,725 | △6.6 |
| 計 | 3,576,971,211 | 3,755,168,542 | △178,197,331 | △4.7 |

4表 各施設の収支状況

| 区 分 | | 2 3 年度 | 2 2 年度 | 対前年度比較 | |
|--------|------|-------------|------------|------------|-------|
| | | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | | 円 | 円 | 円 | % |
| 上 屋 | 収 入 | 11,271,811 | 15,695,237 | △4,423,426 | △28.2 |
| | 支 出 | 24,242,952 | 25,617,594 | △1,374,642 | △5.4 |
| | 収支差引 | △12,971,141 | △9,922,357 | △3,048,784 | 30.7 |
| 船舶給水施設 | 収 入 | 20,351,737 | 21,417,773 | △1,066,036 | △5.0 |
| | 支 出 | 27,032,908 | 27,584,728 | △551,820 | △2.0 |
| | 収支差引 | △6,681,171 | △6,166,955 | △514,216 | 8.3 |

5表 市債残高の状況

| 23年度 | | | 22年度 | | | 対前年度比較 | | |
|---------|-----------|------------|---------|-----------|------------|--------|---------|------------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 599,600 | 2,110,431 | 16,951,163 | 589,500 | 2,204,092 | 18,461,994 | 10,100 | △93,661 | △1,510,831 |



(2) 国民健康保険事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 35,297,974,000 | 39,807,505,373 | 34,293,243,690 | 97.2 | 86.1 | 1,327,989,776 | 4,186,271,907 |
| 22年度 | 34,401,960,000 | 39,125,976,632 | 33,663,237,905 | 97.9 | 86.0 | 1,161,456,533 | 4,301,282,194 |
| 対前年度 | 増減額 | 896,014,000 | 681,528,741 | | | 166,533,243 | △115,010,287 |
| | 増減率 | 2.6% | 1.7% | | | 14.3% | △2.7% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|----------------|----------------|-------------|-------------|----------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 35,297,974,000 | 34,758,713,721 | 98.5 | — | 539,260,279 | |
| 22年度 | 34,401,960,000 | 33,784,390,788 | 98.2 | — | 617,569,212 | |
| 対前年度 | 増減額 | 896,014,000 | 974,322,933 | | — | △78,308,933 |
| | 増減率 | 2.6% | 2.9% | | — | △12.7% |

| | |
|-------------|---------------|
| 歳入歳出差引歳入不足額 | 465,470,031 円 |
|-------------|---------------|

当年度の決算は、収入済額34,293,243千円、支出済額34,758,713千円であり、歳入歳出差引歳入不足額465,470千円を生じたため、平成24年度歳入から繰上充用している。

なお、当年度の単年度収支は、前年度末累積赤字額が121,152千円であったことから344,317千円の赤字となるものである。

歳入についてみると、予算現額35,297,974千円、調定額39,807,505千円に対し、収入済額は34,293,243千円であり、予算現額に対する執行率は97.2%（前年度97.9%）、調定額に対する収入率は86.1%（前年度86.0%）となっている。

不納欠損額は1,327,989千円であり、これは、国民健康保険料1,257,446千円、国民健康保険税773千円、諸収入69,769千円によるものであるが、前年度に比較すると166,533千円（14.3%）の増加となっている。

収入未済額は4,186,271千円であり、これは、国民健康保険料4,155,241千円、国民健康保険税551千円、諸収入30,479千円によるものであるが、前年度に比較すると115,010千円（2.7%）の減少となっ

ている。

また、収入済額を前年度に比較すると630,005千円（1.9%）の増加となっているが、その内訳は1表のとおりであり、療養給付費等交付金38,162千円、前期高齢者交付金60,213千円などの減があったものの、国民健康保険料105,060千円、国庫支出金263,473千円、共同事業交付金265,315千円、繰入金90,781千円などの増があったためである。

国民健康保険料・国民健康保険税の収入状況は2表、また、収入率の推移は3表のとおりである。

当年度の保険料収入率は、一般被保険者保険料では、現年賦課分で80.1%（前年度79.2%）、滞納繰越分で4.6%（前年度4.0%）となり、前年度に比べ現年賦課分は0.9ポイント、滞納繰越分で0.6ポイント上昇している。また、退職被保険者等保険料では、現年賦課分で91.0%（前年度91.1%）、滞納繰越分で7.1%（前年度4.9%）となり、前年度に比べ現年賦課分で0.1ポイント低下、滞納繰越分で2.2ポイント上昇している。

一方、歳出についてみると、予算現額35,297,974千円に対し、支出済額は34,758,713千円であり、予算現額に対する執行率は98.5%（前年度98.2%）となっている。

不用額は539,260千円であり、これは、総務費18,945千円、保険給付費27,136千円、共同事業拠出金309,991千円、保健事業費15,875千円、予備費160,909千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると974,322千円（2.9%）の増加となっているが、その内訳は4表のとおりであり、繰上充入金528,858千円などの減があったものの、保険給付費702,116千円、後期高齢者支援金等89,304千円、介護納付金228,658千円、諸支出金437,836千円などの増があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、当年度は、歳入において、長引く景気の低迷や雇用環境の悪化により、予算で見込んでいた収入率を確保できなかったことなどから、保険料収入が予算を大きく下回ったため、単年度収支は344,317千円の赤字となり、累積赤字額は465,470千円となった。

今後においても、高齢化の進行などに伴い、医療費水準は上昇傾向にあると考えられ、制度の安定的な運営を図るためには、保険料収入の確保に努めることが重要である。

しかしながら、保険料には多額の不納欠損額および収入未済額があり、国保財政は厳しい運営を強いられていることから、今後においては、保険料納付に対する意識の啓発に努め、口座振替による納付の勧奨や自主納付機会の拡大など納付環境の整備を図るほか、督促の強化などにより新たな滞納の発生防止に取り組むとともに、適時適切な納付指導や滞納の実態に応じて滞納処分を強化するなど債権回収対策の充実を図り、保険料収入率の向上に向けた各種対策をより一層推進され、累積赤字の解消を図られるよう要望する。

さらに、特定健康診査の受診率と特定保健指導の実施率の向上により、生活習慣病予防に積極的に取

り組むとともに、医療費適正化対策の推進などにより、医療費支出の抑制にも努められたい。

加えて、国民健康保険制度の安定的な運営のため、国に対して財政安定化に対する支援の強化をあらゆる機会を捉え強く要望されたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|---------------|----------------|----------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 国民健康保険料 | 6,358,809,094 | 6,253,748,404 | 105,060,690 | 1.7 |
| 国民健康保険税 | 812,300 | 2,268,344 | △1,456,044 | △64.2 |
| 使用料及び手数料 | 34,700 | 320,500 | △285,800 | △89.2 |
| 国庫支出金 | 9,270,356,765 | 9,006,882,896 | 263,473,869 | 2.9 |
| 療養給付費等交付金 | 1,711,600,873 | 1,749,763,535 | △38,162,662 | △2.2 |
| 前期高齢者交付金 | 8,678,963,028 | 8,739,176,558 | △60,213,530 | △0.7 |
| 道 支 出 金 | 1,399,900,899 | 1,380,254,974 | 19,645,925 | 1.4 |
| 共 同 事 業 交 付 金 | 4,086,961,644 | 3,821,646,354 | 265,315,290 | 6.9 |
| 繰 入 金 | 2,773,138,644 | 2,682,357,237 | 90,781,407 | 3.4 |
| 諸 収 入 | 12,665,743 | 26,819,103 | △14,153,360 | △52.8 |
| 計 | 34,293,243,690 | 33,663,237,905 | 630,005,785 | 1.9 |

2表 国民健康保険料・国民健康保険税の収入状況

(1) 国民健康保険料

| 区 | 分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|------------|----------------|---------------|------|---------------|---------------|
| | | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 一般被保険者 | | 11,096,815,095 | 5,867,213,382 | 52.9 | 1,214,266,741 | 4,015,334,972 |
| | 現年賦課分 | 7,100,425,165 | 5,684,886,078 | 80.1 | — | 1,415,539,087 |
| | 医療給付費分 | 5,051,601,212 | 4,068,604,630 | 80.5 | — | 982,996,582 |
| | 後期高齢者支援金等分 | 1,411,664,822 | 1,136,946,528 | 80.5 | — | 274,718,294 |
| | 介護納付金分 | 637,159,131 | 479,334,920 | 75.2 | — | 157,824,211 |
| | 滞納繰越分 | 3,996,389,930 | 182,327,304 | 4.6 | 1,214,266,741 | 2,599,795,885 |
| 退職被保険者等 | | 674,681,506 | 491,595,712 | 72.9 | 43,179,664 | 139,906,130 |
| | 現年賦課分 | 528,783,485 | 481,299,822 | 91.0 | — | 47,483,663 |
| | 医療給付費分 | 334,946,288 | 304,729,942 | 91.0 | — | 30,216,346 |
| | 後期高齢者支援金等分 | 93,590,938 | 85,174,296 | 91.0 | — | 8,416,642 |
| | 介護納付金分 | 100,246,259 | 91,395,584 | 91.2 | — | 8,850,675 |
| | 滞納繰越分 | 145,898,021 | 10,295,890 | 7.1 | 43,179,664 | 92,422,467 |
| | 計 | 11,771,496,601 | 6,358,809,094 | 54.0 | 1,257,446,405 | 4,155,241,102 |

(2) 国民健康保険税

| 区 | 分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|--------|-------|-----------|---------|------|---------|---------|
| | | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 一般被保険者 | | 2,137,360 | 812,300 | 38.0 | 773,900 | 551,160 |
| | 滞納繰越分 | 2,137,360 | 812,300 | 38.0 | 773,900 | 551,160 |
| | 計 | 2,137,360 | 812,300 | 38.0 | 773,900 | 551,160 |

(3) 国民健康保険料・国民健康保険税の合計

| 区 | 分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|---------|------------|----------------|---------------|------|---------------|---------------|
| | | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 一般被保険者 | | 11,098,952,455 | 5,868,025,682 | 52.9 | 1,215,040,641 | 4,015,886,132 |
| | 現年賦課分 | 7,100,425,165 | 5,684,886,078 | 80.1 | — | 1,415,539,087 |
| | 医療給付費分 | 5,051,601,212 | 4,068,604,630 | 80.5 | — | 982,996,582 |
| | 後期高齢者支援金等分 | 1,411,664,822 | 1,136,946,528 | 80.5 | — | 274,718,294 |
| | 介護納付金分 | 637,159,131 | 479,334,920 | 75.2 | — | 157,824,211 |
| | 滞納繰越分 | 3,998,527,290 | 183,139,604 | 4.6 | 1,215,040,641 | 2,600,347,045 |
| 退職被保険者等 | | 674,681,506 | 491,595,712 | 72.9 | 43,179,664 | 139,906,130 |
| | 現年賦課分 | 528,783,485 | 481,299,822 | 91.0 | — | 47,483,663 |
| | 医療給付費分 | 334,946,288 | 304,729,942 | 91.0 | — | 30,216,346 |
| | 後期高齢者支援金等分 | 93,590,938 | 85,174,296 | 91.0 | — | 8,416,642 |
| | 介護納付金分 | 100,246,259 | 91,395,584 | 91.2 | — | 8,850,675 |
| | 滞納繰越分 | 145,898,021 | 10,295,890 | 7.1 | 43,179,664 | 92,422,467 |
| | 計 | 11,773,633,961 | 6,359,621,394 | 54.0 | 1,258,220,305 | 4,155,792,262 |

3表 国民健康保険料の収入率の推移

| 区 分 | 現年賦課分 | | | 滞納繰越分 | | | 合 計 | | |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| | 一 般 | 退 職 | 計 | 一 般 | 退 職 | 計 | 一 般 | 退 職 | 計 |
| 19年度 | 83.9% | 96.8% | 86.7% | 4.5% | 8.7% | 4.7% | 60.5% | 90.6% | 65.7% |
| 20年度 | 80.3% | 92.6% | 81.0% | 4.4% | 7.6% | 4.6% | 56.7% | 68.5% | 57.4% |
| 21年度 | 79.2% | 91.8% | 79.8% | 4.3% | 5.0% | 4.3% | 54.5% | 66.3% | 55.1% |
| 22年度 | 79.2% | 91.1% | 80.0% | 4.0% | 4.9% | 4.0% | 52.9% | 69.4% | 53.8% |
| 23年度 | 80.1% | 91.0% | 80.8% | 4.6% | 7.1% | 4.7% | 52.9% | 72.9% | 54.0% |

※ 国民健康保険税を含んだ収入率である。

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|---------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総 務 費 | 130,867,803 | 167,360,585 | △36,492,782 | △21.8 |
| 保 険 給 付 費 | 24,245,109,630 | 23,542,993,057 | 702,116,573 | 3.0 |
| 後期高齢者支援金等 | 3,451,043,414 | 3,361,739,015 | 89,304,399 | 2.7 |
| 前期高齢者納付金等 | 10,237,789 | 5,771,178 | 4,466,611 | 77.4 |
| 老人保健拠出金 | 4,122,547 | 40,175,539 | △36,052,992 | △89.7 |
| 介 護 納 付 金 | 1,621,719,073 | 1,393,060,320 | 228,658,753 | 16.4 |
| 共 同 事 業 拠 出 金 | 4,171,854,730 | 4,087,700,975 | 84,153,755 | 2.1 |
| 保 健 事 業 費 | 126,519,838 | 101,898,017 | 24,621,821 | 24.2 |
| 諸 支 出 金 | 553,618,546 | 115,782,316 | 437,836,230 | 378.2 |
| 職 員 費 | 322,467,468 | 317,897,969 | 4,569,499 | 1.4 |
| 繰 上 充 用 金 | 121,152,883 | 650,011,817 | △528,858,934 | △81.4 |
| 計 | 34,758,713,721 | 33,784,390,788 | 974,322,933 | 2.9 |

(3) 自転車競走事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 執行率 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------|-------|-------|
| | A | B | C | C/A | C/B | D | B-C-D |
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 15,728,230,000 | 15,092,537,180 | 15,092,537,180 | 96.0 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 22,013,707,000 | 21,352,473,789 | 21,352,473,789 | 97.0 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | △6,285,477,000 | △6,259,936,609 | △6,259,936,609 | | — | 0 |
| | 増減率 | △28.6% | △29.3% | △29.3% | | — | — |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 | 支 出 済 額 | 執行率 | 翌年度繰越額 | 不 用 額 | |
|------|----------------|----------------|----------------|--------|------------|-------------|
| | A | B | B/A | C | A-B-C | |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 15,728,230,000 | 15,699,391,535 | 99.8 | — | 28,838,465 | |
| 22年度 | 22,013,707,000 | 21,932,417,641 | 99.6 | — | 81,289,359 | |
| 対前年度 | 増減額 | △6,285,477,000 | △6,233,026,106 | | — | △52,450,894 |
| | 増減率 | △28.6% | △28.4% | | — | △64.5% |

| | |
|-------------|---------------|
| 歳入歳出差引歳入不足額 | 606,854,355 円 |
|-------------|---------------|

当年度の決算は、収入済額15,092,537千円、支出済額15,699,391千円であり、歳入歳出差引歳入不足額606,854千円を生じたため、平成24年度歳入から繰上充用している。

なお、当年度の単年度収支は、前年度末累積赤字額が579,943千円であったことから26,910千円の赤字となるものである。

歳入についてみると、予算現額15,728,230千円、調定額15,092,537千円に対し、収入済額は15,092,537千円であり、予算現額に対する執行率は96.0%（前年度97.0%）、調定額に対する収入率は100.0%（前年度100.0%）となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると6,259,936千円（29.3%）の減少となっているが、その内訳は1表のとおりであり、事業収入6,251,338千円、諸収入8,597千円の減があったためである。

なお、事業収入の状況は2表のとおりであり、車券発売代金は6,250,326千円（29.7%）の減少となっているが、これは、函館地区177,749千円、札幌地区34,578千円、電話・インターネット投票795,792

千円、重勝式投票102,841千円、臨時場外5,139,364千円の減と、すべての項目において減少したためである。

また、入場料は1,012千円(38.9%)の減少となっているが、これは、特別席314千円、ロイヤル席698千円の入場料の減があったためである。

一方、歳出についてみると、予算現額15,728,230千円に対し、支出済額は15,699,391千円であり、予算現額に対する執行率は99.8%(前年度99.6%)となっている。

不用額は28,838千円であり、これは、管理費10,025千円、事業費8,633千円、予備費9,533千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると6,233,026千円(28.4%)の減少となっているが、その内訳は3表のとおりであり、繰上充用金27,575千円の増があったものの、管理費36,395千円、事業費6,211,241千円、職員費9,136千円などの減があったためである。

なお、市債残高の状況は4表のとおりであり、当年度の償還額269,839千円であったことから、前年度末残高1,866,659千円と比較すると269,838千円減少し、当年度末残高は1,596,821千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、当年度は、昨年度の全日本プロ選手権競輪やサマーナイトフェスティバルといった大幅な売上増加が期待できるビッグレースの施行がなかったことに加え、東日本大震災の影響により恒例のナイター開催を昼間開催に切り替えたことや東北・北関東地方の競輪場やサテライト(場外車券売場)の一部で車券発売が困難となったことなどにより、収支が大幅に落ち込んだため、単年度収支では26,910千円の赤字となり、累積赤字額は606,854千円となったところである。

このような状況の中、今後とも、景気低迷や競輪ファンの高齢化・漸減などの影響を受け、競輪(自転車競走事業)を取り巻く環境は、厳しい局面が続くことが予想されることから、競輪施行者として、さらなる事業収支の改善を図るため、函館競輪開催業務等包括受託事業者のノウハウを積極的に活用し、新規の競輪ファンの獲得など収益向上策を講じるとともに、引き続き事業運営の効率化に取り組み、早期に累積赤字の解消に努められたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|---------|---------------------|---------------------|---------------------|------------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| 事 業 収 入 | 円 14,808,564,500 | 円 21,059,903,400 | 円 △6,251,338,900 | % △29.7 |
| 諸 収 入 | 283,972,680 | 292,570,389 | △8,597,709 | △2.9 |
| 計 | 15,092,537,180 | 21,352,473,789 | △6,259,936,609 | △29.3 |

2表 事業収入の状況

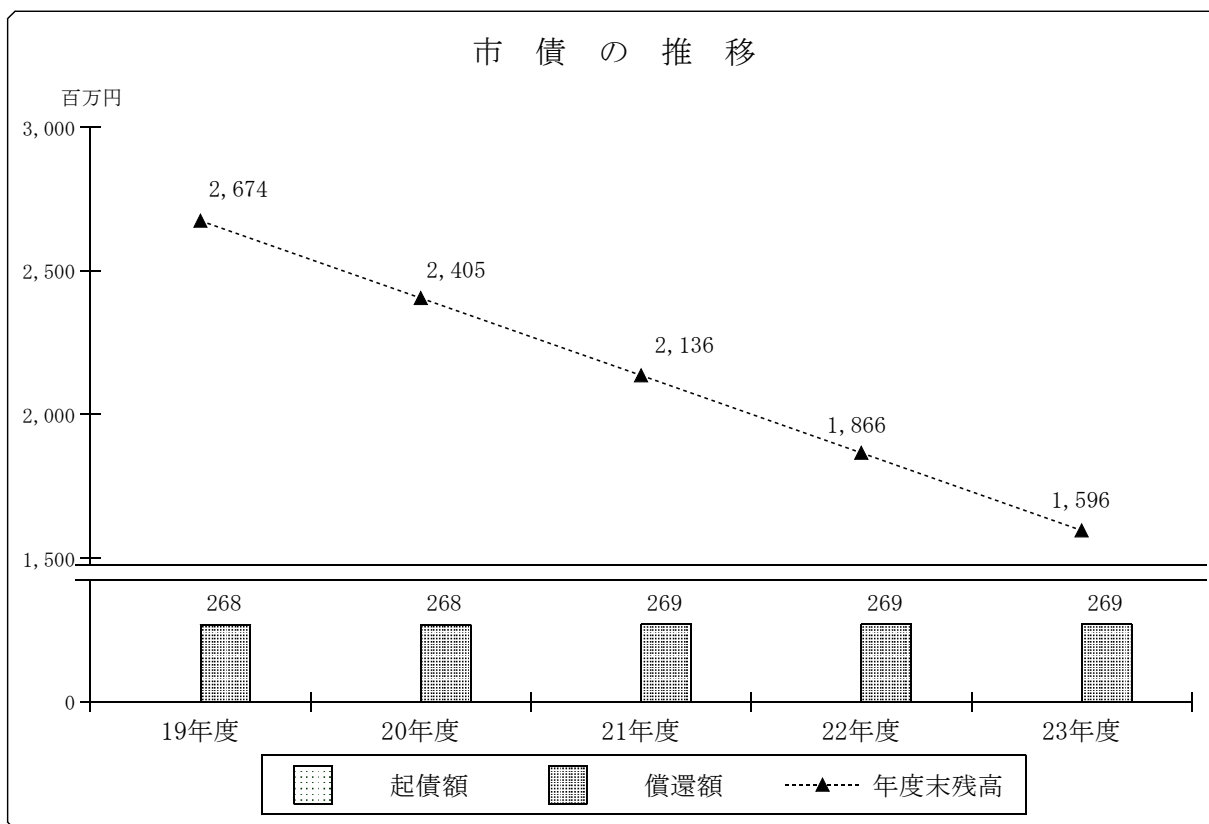
| 区 分 | | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|----------------------------|---------------|--|--|----------------|---------|
| 開 催 状 況 | | 函館地区および札幌地区は12回(58日)開催 [臨時場外は58日開催] | 函館地区および札幌地区は14回(62日)開催 [臨時場外は62日開催] | 増 減 額 | 増減率 |
| | | 円 | 円 | 円 | % |
| 車 券 発 売 代 金 | 函 館 地 区 | 484,181,700 | 661,931,500 | △177,749,800 | △26.9 |
| | 本 場 | (391,264,100) | (531,062,800) | (△139,798,700) | (△26.3) |
| | サテライト松風 | (92,917,600) | (130,868,700) | (△37,951,100) | (△29.0) |
| | 札 幌 地 区 | 150,119,000 | 184,697,100 | △34,578,100 | △18.7 |
| | 電話・インターネット投票 | 5,264,379,500 | 6,060,172,300 | △795,792,800 | △13.1 |
| | 重 勝 式 投 票 | 104,493,100 | 207,334,900 | △102,841,800 | △49.6 |
| | 臨 時 場 外 | 8,803,804,400 | 13,943,168,800 | △5,139,364,400 | △36.9 |
| | 計 | 14,806,977,700 | 21,057,304,600 | △6,250,326,900 | △29.7 |
| | 特 別 競 輪 | — | 6,560,464,400 | △6,560,464,400 | 皆減 |
| | 記 念 競 輪 | 6,562,828,000 | 6,709,225,400 | △146,397,400 | △2.2 |
| 普 通 競 輪 | 8,244,149,700 | 7,787,614,800 | 456,534,900 | 5.9 | |
| 入 場 料 | 特 別 席 | 1,290,800 | 1,604,800 | △314,000 | △19.6 |
| | ロイヤル席 | 296,000 | 994,000 | △698,000 | △70.2 |
| | 計 | 1,586,800 | 2,598,800 | △1,012,000 | △38.9 |
| 合 計 | | 14,808,564,500 | 21,059,903,400 | △6,251,338,900 | △29.7 |

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対前年度比較 | |
|-------|----------------|----------------|----------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 管 理 費 | 55,338,195 | 91,733,884 | △36,395,689 | △39.7 |
| 事 業 費 | 14,666,538,173 | 20,877,779,504 | △6,211,241,331 | △29.8 |
| 公 債 費 | 298,881,607 | 302,709,590 | △3,827,983 | △1.3 |
| 職 員 費 | 98,689,708 | 107,826,384 | △9,136,676 | △8.5 |
| 繰上充用金 | 579,943,852 | 552,368,279 | 27,575,573 | 5.0 |
| 計 | 15,699,391,535 | 21,932,417,641 | △6,233,026,106 | △28.4 |

4表 市債残高の状況

| 2 3 年 度 | | | 2 2 年 度 | | | 対前年度比較 | | |
|---------|---------|-----------|---------|---------|-----------|--------|-----|----------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| — | 269,839 | 1,596,821 | — | 269,535 | 1,866,659 | — | 304 | △269,838 |



(4) 奨学資金特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収 入 未 済 額 B - C - D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|------------|------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 41,370,000 | 83,283,379 | 46,231,499 | 111.8 | 55.5 | 775,400 | 36,276,480 |
| 22年度 | 51,212,000 | 92,909,722 | 55,865,392 | 109.1 | 60.1 | 186,800 | 36,857,530 |
| 対前年度 | 増減額 | △9,842,000 | △9,626,343 | △9,633,893 | | 588,600 | △581,050 |
| | 増減率 | △19.2% | △10.4% | △17.2% | | 315.1% | △1.6% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|--------------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 41,370,000 | 41,196,179 | 99.6 | — | 173,821 | |
| 22年度 | 51,212,000 | 48,559,165 | 94.8 | — | 2,652,835 | |
| 対前年度 | 増減額 | △9,842,000 | △7,362,986 | | — | △2,479,014 |
| | 増減率 | △19.2% | △15.2% | | — | △93.4% |

| | |
|----------|------------|
| 歳入歳出差引残額 | 5,035,320円 |
|----------|------------|

当年度の決算は、収入済額46,231千円、支出済額41,196千円であり、歳入歳出差引残額5,035千円となった。

歳入についてみると、予算現額41,370千円、調定額83,283千円に対し、収入済額は46,231千円であり、予算現額に対する執行率は111.8%（前年度109.1%）、調定額に対する収入率は55.5%（前年度60.1%）となっている。

不納欠損額は775千円であり、これは、諸収入によるものである。

収入未済額は36,276千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると581千円（1.6%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると9,633千円（17.2%）の減少となっているが、その内訳は1表のとおりであり、繰越金5,125千円、諸収入1,630千円の増があったものの、寄付金2,000千円、繰入金14,301千円などの減があったためである。

諸収入のうち貸付金収入の状況は2表のとおりであり、調定額72,482千円に対し収入済額36,206千円となっている。

収入率では、現年度分で81.3%（前年度80.6%）、滞納繰越分で18.3%（前年度13.9%）、全体では50.0%（前年度48.4%）となっている。

一方、歳出についてみると、予算現額41,370千円に対し、支出済額は41,196千円であり、予算現額に対する執行率は99.6%（前年度94.8%）となっている。

また、支出済額を前年度に比較すると7,362千円（15.2%）の減少となっているが、その内訳は3表のとおりであり、奨学費10,488千円の減などがあったためである。

奨学資金の貸与状況は4表のとおりであり、新規分40人および継続分147人の合計187人となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、本事業は、向学心に燃え、その能力が十分であるにもかかわらず、経済的理由のため修学困難な学生または生徒を対象に奨学金を貸与している。

その主な財源となっているのが貸付金収入であるが、当年度の収入率は、現年度分、滞納繰越分ともに上昇しているものの、依然として収入率は低迷していることから、今後も収入未済額のさらなる縮減に向け、滞納の実態に応じたより効果的な催告などを実施して、収入の確保に努め、制度の健全な運営を図られたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|---------|------------|------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 財 産 収 入 | 202,142 | 290,593 | △88,451 | △30.4 |
| 寄 付 金 | 500,000 | 2,500,000 | △2,000,000 | △80.0 |
| 繰 入 金 | 2,017,000 | 16,318,000 | △14,301,000 | △87.6 |
| 繰 越 金 | 7,306,227 | 2,181,019 | 5,125,208 | 235.0 |
| 諸 収 入 | 36,206,130 | 34,575,780 | 1,630,350 | 4.7 |
| 計 | 46,231,499 | 55,865,392 | △9,633,893 | △17.2 |

2表 貸付金収入の状況

| 区 分 | 2 3 年 度 | | | | 2 2 年 度 | | | |
|-----------|------------|------------|------|------------|------------|------------|------|------------|
| | 調 定 額 | 収入済額 | 収入率 | 収入未済額 | 調 定 額 | 収入済額 | 収入率 | 収入未済額 |
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | 円 | % | 円 |
| 現 年 度 分 | 36,400,480 | 29,610,730 | 81.3 | 6,789,750 | 36,965,780 | 29,800,080 | 80.6 | 7,165,700 |
| 滞 納 繰 越 分 | 36,082,130 | 6,595,400 | 18.3 | 29,486,730 | 34,467,530 | 4,775,700 | 13.9 | 29,691,830 |
| 計 | 72,482,610 | 36,206,130 | 50.0 | 36,276,480 | 71,433,310 | 34,575,780 | 48.4 | 36,857,530 |

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------|------------|------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 奨 学 費 | 33,389,952 | 43,878,146 | △10,488,194 | △23.9 |
| 基 金 積 立 金 | 7,806,227 | 4,681,019 | 3,125,208 | 66.8 |
| 計 | 41,196,179 | 48,559,165 | △7,362,986 | △15.2 |

4表 奨学資金の貸与状況

| 区 分 | 大学及び大学院 | | 高等専門学校 | | 高 等 学 校 | | 専 修 学 校 | | 計 | |
|---------|------------|------------|-----------|-----------|-------------|------------|------------|-----------|-------------|------------|
| | 人 員 | 金 額 | 人 員 | 金 額 | 人 員 | 金 額 | 人 員 | 金 額 | 人 員 | 金 額 |
| | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 | 人 | 円 |
| 1 9 年 度 | (20) 62 | 13,980,000 | (5) 12 | 1,932,000 | (48) 142 | 20,808,000 | (7) 16 | 3,112,000 | (80) 232 | 39,832,000 |
| 2 0 年 度 | (15) 53 | 11,580,000 | (4) 14 | 2,352,000 | (61) 152 | 22,064,000 | (13) 22 | 4,320,000 | (93) 241 | 40,316,000 |
| 2 1 年 度 | (17) 59 | 12,876,000 | (4) 15 | 2,520,000 | (57) 154 | 22,728,000 | (10) 20 | 3,828,000 | (88) 248 | 41,952,000 |
| 2 2 年 度 | (21) 67 | 14,676,000 | (4) 18 | 3,024,000 | (38) 140 | 20,662,000 | (13) 22 | 4,404,000 | (76) 247 | 42,766,000 |
| 2 3 年 度 | (9) 54 | 11,690,000 | (2) 17 | 2,856,000 | (24) 98 | 14,244,000 | (5) 18 | 3,504,000 | (40) 187 | 32,294,000 |

※ () 内は新規貸与者を内書きした。

(5) 地方卸売市場事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収 入 未 済 額 B - C - D | |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|------------|------------------------|----------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 490,238,000 | 498,700,461 | 484,766,834 | 98.9 | 97.2 | 22,054 | 13,911,573 | |
| 22年度 | 503,907,000 | 497,755,941 | 483,573,872 | 96.0 | 97.2 | - | 14,182,069 | |
| 対前年度 | 増減額 | △13,669,000 | 944,520 | 1,192,962 | | | 22,054 | △270,496 |
| | 増減率 | △2.7% | 0.2% | 0.2% | | | 皆増 | △1.9% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|--------------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 490,238,000 | 477,528,609 | 97.4 | - | 12,709,391 | |
| 22年度 | 503,907,000 | 451,416,199 | 89.6 | 32,130,000 | 20,360,801 | |
| 対前年度 | 増減額 | △13,669,000 | 26,112,410 | | △32,130,000 | △7,651,410 |
| | 増減率 | △2.7% | 5.8% | | 皆減 | △37.6% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 7,238,225 円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額484,766千円、支出済額477,528千円であり、歳入歳出差引残額7,238千円となった。

歳入についてみると、予算現額490,238千円、調定額498,700千円に対し、収入済額は484,766千円であり、予算現額に対する執行率は98.9%（前年度96.0%）、調定額に対する収入率は97.2%（前年度97.2%）となっている。

不納欠損額は22千円であり、これは諸収入によるものである。

収入未済額は13,911千円であり、これは、使用料及び手数料5,871千円、諸収入8,040千円によるものである。

一方、歳出についてみると、予算現額490,238千円に対し、支出済額は477,528千円であり、予算現額に対する執行率は97.4%（89.6%）となっている。

不用額は12,709千円であり、これは、市場管理費9,805千円などの減によるものである。

ア 水産物地方卸売市場事業

地方卸売市場事業のうち水産物地方卸売市場事業における収入済額については1表のとおりであり、前年度に比較すると12,246千円(4.2%)の減少となっているが、これは、国庫支出金9,097千円および市債17,200千円の皆増があったほか、諸収入1,948千円などの増があったものの、使用料及び手数料26,294千円、繰入金43,608千円の減があったためである。

なお、使用料の収入状況は2表のとおりであり26,294千円(27.5%)の減少となっているが、これは、東日本大震災の被害対策として水産物地方卸売市場の使用料を減免したほか、経済対策として当該使用料の一部を引下げたことなども影響し、売上高割使用料20,614千円の減および面積割使用料5,614千円の減などがあったことによるものである。

当年度における市場の取扱数量は、主要取扱品目の一つである生鮮イカの取扱高は減少したものの、震災で三陸地方が被災した影響により冷凍イカの取扱量が増加したことなどから、前年度比較で5.2%増となっており、取扱金額は、生鮮魚および塩干品の単価高を反映し1.1%増となっている。

また、支出済額については3表のとおりであり、前年度に比較すると12,716千円(4.9%)の増加となっているが、これは、市場管理費8,188千円、公債費6,020千円などの減があったものの、地方卸売市場災害復旧費27,050千円の皆増があったためである。

市債残高の状況は4表のとおりであり、当年度の起債額17,200千円、償還額28,120千円であったことから、前年度末残高436,841千円と比較すると10,921千円減少し、当年度末残高は425,920千円となっている。

イ 青果物地方卸売市場事業

地方卸売市場事業のうち青果物地方卸売市場事業における収入済額については5表のとおりであり、前年度に比較すると13,439千円(7.0%)の増加となっているが、これは、繰越金の皆減があったほか、使用料及び手数料6,874千円の減があったものの、繰入金23,208千円、諸収入776千円などの増があったためである。

なお、使用料の収入状況は6表のとおりであり6,874千円(6.1%)の減少となっているが、これは、経済対策として青果物地方卸売市場の使用料の一部を引下げたことなども影響し、売上高割使用料6,512千円の減および面積割使用料316千円の減などがあったことによるものである。

当年度における市場の取扱数量は、果実、野菜加工品および果実加工品等の取扱高は減少したものの、野菜の取扱高が増加したことにより、前年度比較で2.1%増となっているが、取扱金額は、野菜、果実および果実加工品の単価安などにより3.5%減となっている。

また、支出済額については7表のとおりであり、前年度に比較すると13,396千円(6.9%)の増加となっているが、これは、市場管理費13,442千円の増などによるものである。

市債残高の状況は8表のとおりであり、当年度の償還額47,118千円であったことから、前年度末残高507,377千円と比較すると47,118千円減少し、当年度末残高は460,259千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、水産物地方卸売市場においては、取扱金額は増加しているものの、当年度に実施した使用料の引下げや減免等により、使用料収入は減少している。

また、青果物地方卸売市場においても、取扱金額の減少および当年度に実施した使用料の引下げ等により、使用料収入は減少していることから、今後も両市場事業の経営は、厳しさを増すものと予測される。

このことから、両市場においては、引き続き安全・安心な食料の安定供給に努められることはもとより、経費の節減に努めるとともに、使用料等の歳入の増収のため、水産物地方卸売市場においては、市場関係者と連携し漁船誘致対策の推進などを図り、また、青果物地方卸売市場においては、地方卸売市場に転換したメリットを市場運営に十分に生かし、取扱数量の増加を図られるよう要望する。

1表 歳入款別比較（水産物地方卸売市場事業分）

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料及び手数料 | 69,330,148 | 95,624,448 | △26,294,300 | △27.5 |
| 国庫支出金 | 9,097,000 | — | 9,097,000 | 皆増 |
| 繰入金 | 123,358,000 | 166,966,611 | △43,608,611 | △26.1 |
| 繰越金 | 32,157,673 | 2,747,175 | 29,410,498 | 激増 |
| 諸収入 | 26,818,280 | 24,869,570 | 1,948,710 | 7.8 |
| 市債 | 17,200,000 | — | 17,200,000 | 皆増 |
| 計 | 277,961,101 | 290,207,804 | △12,246,703 | △4.2 |

2表 使用料の収入状況（水産物地方卸売市場事業分）

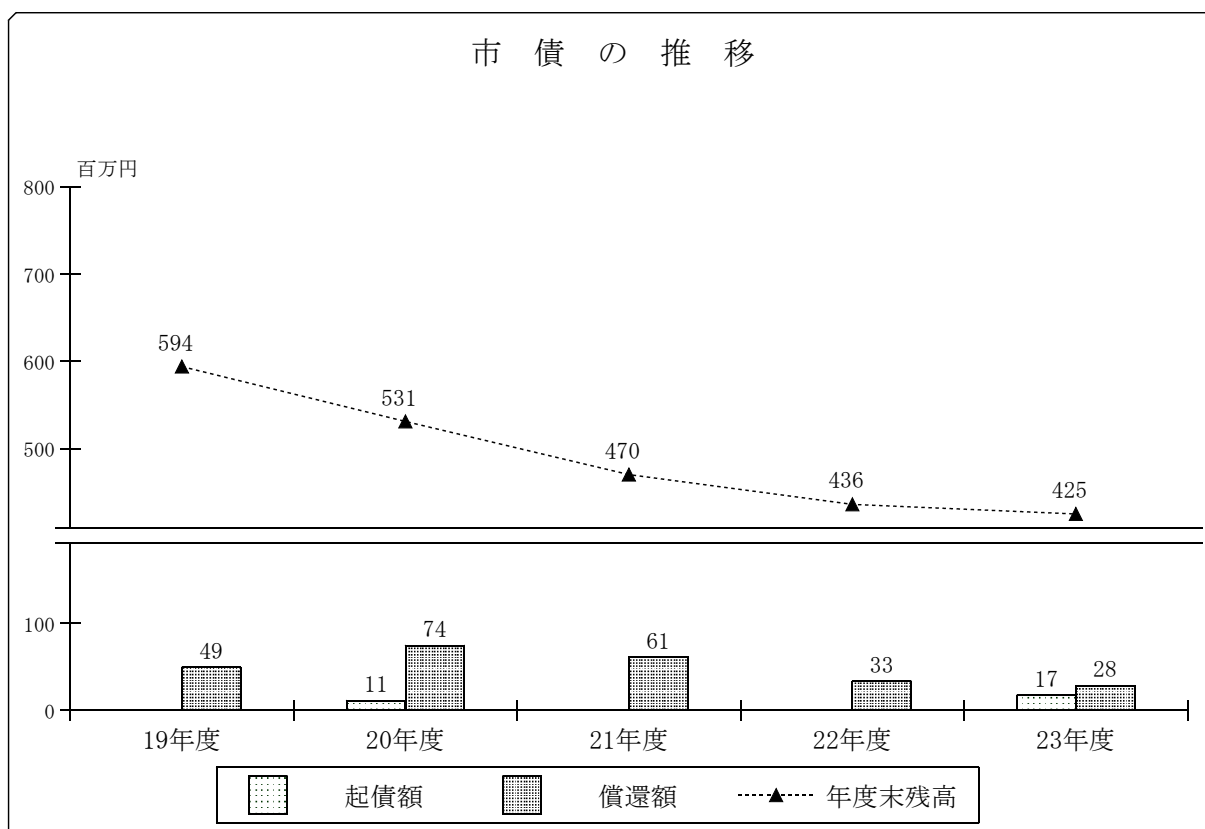
| 区 分 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|--------------|----------------|----------------|-------------|-------|
| | 金額・数量 | 金額・数量 | 増減額・量 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 水産物地方卸売市場使用料 | | | | |
| 売上高割使用料 | 47,027,225 | 67,641,730 | △20,614,505 | △30.5 |
| 面積割使用料 | 21,866,022 | 27,480,614 | △5,614,592 | △20.4 |
| 会議室使用料 | 421,470 | 486,675 | △65,205 | △13.4 |
| 行政財産使用料 | 15,431 | 15,429 | 2 | 0.0 |
| 計 | 69,330,148 | 95,624,448 | △26,294,300 | △27.5 |
| 対予算比率 | 97.3% | 85.7% | | |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 取扱金額 | 18,250,252,496 | 18,049,144,952 | 201,107,544 | 1.1 |
| | トン | トン | トン | % |
| 取扱数量 | 42,974 | 40,867 | 2,107 | 5.2 |

3表 歳出款別比較 (水産物地方卸売市場事業分)

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増 減 率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 市 場 管 理 費 | 175,931,057 | 184,119,512 | △8,188,455 | △4.4 |
| 地方卸売市場災害復旧費 | 27,050,730 | — | 27,050,730 | 皆増 |
| 公 債 費 | 31,669,144 | 37,689,566 | △6,020,422 | △16.0 |
| 職 員 費 | 36,115,212 | 36,241,053 | △125,841 | △0.3 |
| 計 | 270,766,143 | 258,050,131 | 12,716,012 | 4.9 |

4表 市債残高の状況 (水産物地方卸売市場事業分)

| 2 3 年 度 | | | 2 2 年 度 | | | 対 前 年 度 比 較 | | |
|---------|--------|---------|---------|--------|---------|-------------|--------|---------|
| 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 | 起 債 額 | 償 還 額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 17,200 | 28,120 | 425,920 | — | 33,650 | 436,841 | 17,200 | △5,530 | △10,921 |



5表 歳入款別比較 (青果物地方卸売市場事業分)

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|----------|-------------|-------------|------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 使用料及び手数料 | 105,702,052 | 112,576,838 | △6,874,786 | △6.1 |
| 財産収入 | 4,546,716 | 4,241,771 | 304,945 | 7.2 |
| 繰入金 | 67,427,000 | 44,218,389 | 23,208,611 | 52.5 |
| 繰越金 | — | 3,975,994 | △3,975,994 | 皆減 |
| 諸収入 | 29,129,965 | 28,353,076 | 776,889 | 2.7 |
| 計 | 206,805,733 | 193,366,068 | 13,439,665 | 7.0 |

6表 使用料の収入状況 (青果物地方卸売市場事業分)

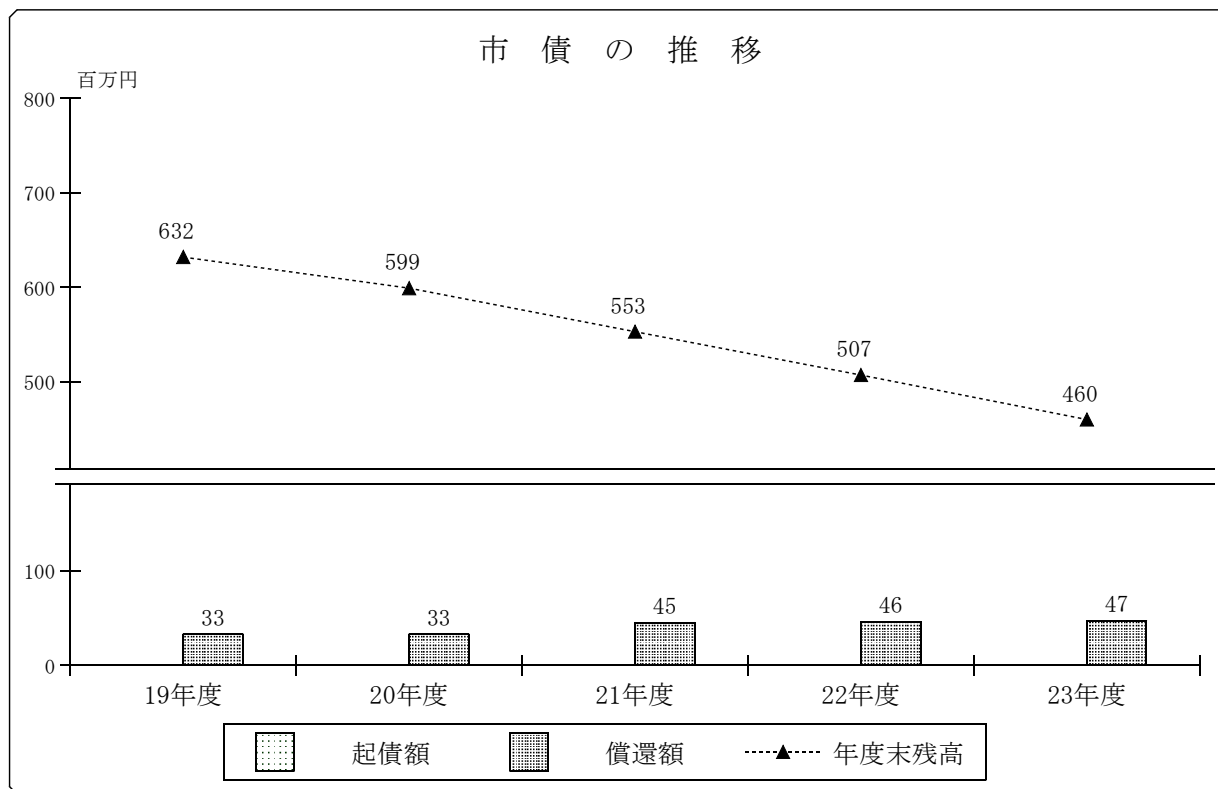
| 区 分 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|--------------|----------------|----------------|--------------|-------|
| | 金額・数量 | 金額・数量 | 増減額・量 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 青果物地方卸売市場使用料 | | | | |
| 売上高割使用料 | 34,704,727 | 41,217,244 | △6,512,517 | △15.8 |
| 面積割使用料 | 70,080,534 | 70,396,813 | △316,279 | △0.4 |
| 会議室使用料 | 190,575 | 189,000 | 1,575 | 0.8 |
| 空地使用料 | 720,396 | 767,961 | △47,565 | △6.2 |
| 行政財産使用料 | 5,820 | 5,820 | 0 | 0.0 |
| 計 | 105,702,052 | 112,576,838 | △6,874,786 | △6.1 |
| 対予算比率 | 97.8% | 99.4% | | |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 取扱金額 | 13,256,308,754 | 13,739,085,727 | △482,776,973 | △3.5 |
| | ト | ト | ト | % |
| 取扱数量 | 58,745 | 57,513 | 1,232 | 2.1 |

7表 歳出款別比較 (青果物地方卸売市場事業分)

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|-------|-------------|-------------|------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 市場管理費 | 135,668,744 | 122,226,153 | 13,442,591 | 11.0 |
| 公債費 | 56,090,738 | 56,090,738 | 0 | 0.0 |
| 職員費 | 15,002,984 | 15,049,177 | △46,193 | △0.3 |
| 計 | 206,762,466 | 193,366,068 | 13,396,398 | 6.9 |

8表 市債残高の状況（青果物地方卸売市場事業分）

| 23年度 | | | 22年度 | | | 対前年度比較 | | |
|------|--------|---------|------|--------|---------|--------|-----|---------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| - | 47,118 | 460,259 | - | 46,261 | 507,377 | - | 857 | △47,118 |



(6) 介護保険事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D |
|-------------|----------------|----------------|----------------|------------|------------|----------------|--------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 21,902,865,000 | 22,013,536,992 | 21,862,761,306 | 99.8 | 99.3 | 67,378,082 | 83,397,604 |
| 22年度 | 20,643,828,000 | 20,741,697,709 | 20,596,951,938 | 99.8 | 99.3 | 21,752,270 | 122,993,501 |
| 対前年度 増減額 | 1,259,037,000 | 1,271,839,283 | 1,265,809,368 | / | / | 45,625,812 | △39,595,897 |
| 対前年度 増減率 | 6.1% | 6.1% | 6.1% | / | / | 209.8% | △32.2% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C |
|-------------|----------------|----------------|------------|-------------|----------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 21,902,865,000 | 21,643,007,953 | 98.8 | — | 259,857,047 |
| 22年度 | 20,643,828,000 | 20,172,172,470 | 97.7 | — | 471,655,530 |
| 対前年度 増減額 | 1,259,037,000 | 1,470,835,483 | / | — | △211,798,483 |
| 対前年度 増減率 | 6.1% | 7.3% | / | — | △44.9% |

| | |
|----------|--------------|
| 歳入歳出差引残額 | 219,753,353円 |
|----------|--------------|

当年度の決算は、収入済額21,862,761千円、支出済額21,643,007千円であり、歳入歳出差引残額219,753千円となった。

歳入についてみると、予算現額21,902,865千円、調定額22,013,536千円に対し収入済額は21,862,761千円であり、予算現額に対する執行率は99.8%（前年度99.8%）、調定額に対する収入率は99.3%（前年度99.3%）となっている。

不納欠損額は67,378千円であり、これは、介護保険料23,320千円、諸収入44,057千円によるものであるが、前年度に比較すると45,625千円（209.8%）の増加となっている。

収入未済額は83,397千円であり、これは、介護保険料73,346千円、諸収入10,051千円によるものであるが、前年度に比較すると39,595千円（32.2%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると1,265,809千円（6.1%）の増加となっているが、その内訳は1表のとおりであり、介護保険料2,643千円などの減があったものの、国庫支出金161,071千円、支払基金交付金386,223千円、道支出金98,163千円、繰入金265,854千円、繰越金335,033千円などの増があったためである。

介護保険料の収入状況は2表、また、収入率の推移は3表のとおりである。

当年度の収入率は、現年賦課分で98.8%（前年度99.0%）、滞納繰越分で25.3%（前年度28.7%）となり、前年度に比べ現年賦課分は0.2ポイント、滞納繰越分は3.4ポイント低下したことから、保険料合計では97.2%（前年度97.3%）となっている。

一方、歳出についてみると、予算現額21,902,865千円に対し、支出済額は21,643,007千円であり、予算現額に対する執行率は98.8%（前年度97.7%）となっている。

不用額は259,857千円であり、これは、総務費24,527千円、保険給付費182,982千円、諸支出金19,681千円、予備費20,655千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると1,470,835千円（7.3%）の増加となっているが、その内訳は4表のとおりであり、諸支出金18,746千円の減があったものの、総務費30,776千円、保険給付費1,262,795千円、基金積立金188,713千円などの増があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、本事業は介護保険法に基づき、介護を地域社会全体で支えていくことを目的とし、第5次函館市高齢者保健福祉計画・第4期函館市介護保険事業計画に従って、在宅サービス、施設サービス、および地域密着型サービスを提供するとともに、高齢者への総合的な生活支援の窓口となる地域包括支援センターの充実を図るなど、引き続き介護予防事業の推進に向けて取り組んでいるところである。

今後においても、高齢化の進行に伴い、要介護認定者および介護サービス利用者は、増加していくものと推測されることから、安定的な事業運営に向けて、さらなる保険料収入率の向上を図るため、より効果的な催告などを行い、保険料の滞納解消に向けた取り組みを強化されるとともに、保険給付費支出の抑制を図るため、介護予防の推進に向けて、各種介護予防事業の一層の普及に努められるよう要望する。

なお、平成21年度における、介護保険給付にかかる普通調整交付金の被保険者数の国への報告誤りによる交付過少分については、前年度において、その7割が国から特別調整交付金として措置され、残りの不足額は、当年度において、委託業者からの損害賠償金および本市職員厚生会などからの寄付金によって補てんされている。

今後はさらに、部内および関係部局間における相互チェック体制の徹底を図られることにより、このような事務手続きミスの再発防止に努められたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|---------------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増 減 率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 介 護 保 険 料 | 3,337,620,339 | 3,340,263,713 | △2,643,374 | △0.1 |
| 使用料及び手数料 | 8,000 | 78,300 | △70,300 | △89.8 |
| 国 庫 支 出 金 | 5,140,607,650 | 4,979,535,850 | 161,071,800 | 3.2 |
| 支 払 基 金 交 付 金 | 6,130,022,000 | 5,743,799,000 | 386,223,000 | 6.7 |
| 道 支 出 金 | 2,981,019,846 | 2,882,856,266 | 98,163,580 | 3.4 |
| 財 産 収 入 | 392,886 | 833,225 | △440,339 | △52.8 |
| 繰 入 金 | 3,820,684,756 | 3,554,830,584 | 265,854,172 | 7.5 |
| 繰 越 金 | 424,779,468 | 89,746,299 | 335,033,169 | 373.3 |
| 諸 収 入 | 27,626,361 | 5,008,701 | 22,617,660 | 451.6 |
| 計 | 21,862,761,306 | 20,596,951,938 | 1,265,809,368 | 6.1 |

2表 介護保険料の収入状況

| 区 分 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収 入 率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|---------|---------------|---------------|-------|------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 2 3 年 度 | 3,434,287,667 | 3,337,620,339 | 97.2 | 23,320,760 | 73,346,568 |
| 現年賦課分 | 3,356,945,960 | 3,318,063,941 | 98.8 | — | 38,882,019 |
| 滞納繰越分 | 77,341,707 | 19,556,398 | 25.3 | 23,320,760 | 34,464,549 |
| 2 2 年 度 | 3,431,925,720 | 3,340,263,713 | 97.3 | 21,752,270 | 69,909,737 |
| 現年賦課分 | 3,352,401,210 | 3,317,422,630 | 99.0 | — | 34,978,580 |
| 滞納繰越分 | 79,524,510 | 22,841,083 | 28.7 | 21,752,270 | 34,931,157 |

3表 介護保険料の収入率の推移

| 区 分 | 現年賦課分 | 滞納繰越分 | 合 計 |
|---------|-------|-------|-------|
| 1 9 年 度 | 98.9% | 29.5% | 97.5% |
| 2 0 年 度 | 98.8% | 29.8% | 97.2% |
| 2 1 年 度 | 98.9% | 30.1% | 97.3% |
| 2 2 年 度 | 99.0% | 28.7% | 97.3% |
| 2 3 年 度 | 98.8% | 25.3% | 97.2% |

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|---------------|----------------|----------------|---------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増 減 率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総 務 費 | 247,870,520 | 217,094,362 | 30,776,158 | 14.2 |
| 保 険 給 付 費 | 20,342,097,900 | 19,079,302,835 | 1,262,795,065 | 6.6 |
| 地 域 支 援 事 業 費 | 314,500,397 | 308,228,788 | 6,271,609 | 2.0 |
| 基 金 積 立 金 | 303,470,533 | 114,757,225 | 188,713,308 | 164.4 |
| 諸 支 出 金 | 104,637,296 | 123,383,852 | △18,746,556 | △15.2 |
| 職 員 費 | 330,431,307 | 329,405,408 | 1,025,899 | 0.3 |
| 計 | 21,643,007,953 | 20,172,172,470 | 1,470,835,483 | 7.3 |

(7) 風力発電事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不納欠損額 D | 収入未済額 B-C-D |
|------|--------------|------------|--------------|------------|------------|------------|----------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 18,978,000 | 18,630,312 | 18,630,312 | 98.2 | 100.0 | — | 0 |
| 22年度 | 18,690,000 | 17,748,258 | 17,748,258 | 95.0 | 100.0 | — | 0 |
| 対前年度 | 増減額 | 288,000 | 882,054 | | | — | 0 |
| | 増減率 | 1.5% | 5.0% | | | — | — |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|------------|-------------|----------------|----------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 18,978,000 | 17,514,830 | 92.3 | — | 1,463,170 | |
| 22年度 | 18,690,000 | 17,068,809 | 91.3 | — | 1,621,191 | |
| 対前年度 | 増減額 | 288,000 | 446,021 | | — | △158,021 |
| | 増減率 | 1.5% | 2.6% | | — | △9.7% |

| | |
|----------|------------|
| 歳入歳出差引残額 | 1,115,482円 |
|----------|------------|

当年度の決算は、収入済額 18,630 千円、支出済額 17,514 千円であり、歳入歳出差引残額 1,115 千円となった。

歳入についてみると、予算現額 18,978 千円、調定額 18,630 千円に対し、収入済額は 18,630 千円であり、予算現額に対する執行率は 98.2 %（前年度 95.0 %）、調定額に対する収入率は 100.0 %（前年度 100.0 %）となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると 882 千円（5.0 %）の増加となっているが、その内訳は 1 表のとおりであり、風力発電機の不具合に起因する稼働停止日の増加による事業収入 4,805 千円などの減があったものの、繰入金 6,500 千円の皆増があったためである。

一方、歳出についてみると、予算現額 18,978 千円に対し、支出済額は 17,514 千円であり、予算現額に対する執行率は 92.3 %（前年度 91.3 %）となっている。

不用額は 1,463 千円であり、これは、風力発電事業費 1,376 千円、予備費 86 千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると 446 千円（2.6 %）の増加となっているが、その内訳は 2 表のとおりであり、風力発電事業費 438 千円などの増があったためである。

なお、平成20年度において、電気系統機器類の修繕を執行するために繰り入れた11,000千円のうち3,600千円を平成23年度に返還した。

以上が当年度における決算の概要であるが、本事業はNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の補助制度により建設した風力発電設備による発電事業である。

当該発電事業の収支状況については、平成17年度から発電設備の不具合が頻発し、売電収入の確保が難しい状況が続いたことから平成18年度以降、収支均衡を図るため、一般会計から繰入れを受けている。

また、本事業は補助制度を活用したものであることから「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（補助金適正化法）」の適用対象となり、仮に、補助制度上の設備の耐用年限である平成30年度以前に事業を廃止することになると同法の規定による補助金の返還義務が生じることとなる。

以上のことから、今後においては、一般会計繰出金の返還を遅滞なく履行することを基本としつつ、あわせて一般会計の負担を発生させることのないよう施設の適切な維持管理に努めるとともに、稼働率を高めることにより事業収入の確保を図り、一層の事業運営の効率化を進められたい。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|------|------------|------------|------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 事業収入 | 11,434,699 | 16,240,686 | △4,805,987 | △29.6 |
| 繰入金 | 6,500,000 | — | 6,500,000 | 皆増 |
| 繰越金 | 679,449 | 1,491,408 | △811,959 | △54.4 |
| 諸収入 | 16,164 | 16,164 | 0 | 0.0 |
| 計 | 18,630,312 | 17,748,258 | 882,054 | 5.0 |

2表 歳出款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|---------|------------|------------|---------|-----|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 風力発電事業費 | 10,813,687 | 10,375,256 | 438,431 | 4.2 |
| 諸支出金 | 3,600,000 | 3,600,000 | 0 | 0.0 |
| 職員費 | 3,101,143 | 3,093,553 | 7,590 | 0.2 |
| 計 | 17,514,830 | 17,068,809 | 446,021 | 2.6 |

(8) 母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B-C-D | |
|------|--------------|-------------|--------------|------------|------------|----------------|--------------------|------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 188,830,000 | 501,658,029 | 226,011,814 | 119.7 | 45.1 | 4,040,982 | 271,605,233 | |
| 22年度 | 153,467,000 | 451,552,576 | 160,340,439 | 104.5 | 35.5 | 18,359,029 | 272,853,108 | |
| 対前年度 | 増減額 | 35,363,000 | 50,105,453 | 65,671,375 | | | △14,318,047 | △1,247,875 |
| | 増減率 | 23.0% | 11.1% | 41.0% | | | △78.0% | △0.5% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A-B-C | |
|------|--------------|--------------|-------------|-------------|----------------|------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 188,830,000 | 109,785,355 | 58.1 | — | 79,044,645 | |
| 22年度 | 153,467,000 | 122,117,555 | 79.6 | — | 31,349,445 | |
| 対前年度 | 増減額 | 35,363,000 | △12,332,200 | | — | 47,695,200 |
| | 増減率 | 23.0% | △10.1% | | — | 152.1% |

| | |
|----------|--------------|
| 歳入歳出差引残額 | 116,226,459円 |
|----------|--------------|

当年度の決算は、収入済額226,011千円、支出済額109,785千円であり、歳入歳出差引残額116,226千円となった。

歳入についてみると、予算現額188,830千円、調定額501,658千円に対し、収入済額は226,011千円であり、予算現額に対する執行率は119.7%（前年度104.5%）、調定額に対する収入率は45.1%（前年度35.5%）となっている。

不納欠損額は4,040千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると14,318千円（78.0%）の減少となっている。

収入未済額は271,605千円であり、これは、諸収入によるものであるが、前年度に比較すると1,247千円（0.5%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると65,671千円（41.0%）の増加となっているが、その内訳は1表のとおりであり、繰入金16,177千円、繰越金11,622千円、諸収入5,929千円、市債31,942千円の増があったためである。

諸収入のうち貸付金収入の状況は2表のとおりであり、調定額339,847千円に対し、収入済額64,200千円となっている。

収入率では、現年度分で71.6%（前年度70.2%）、滞納繰越分で5.9%（前年度3.9%）、全体では18.9%（前年度16.7%）となっている。

一方、歳出についてみると、予算現額188,830千円に対し、支出済額は109,785千円であり、予算現額に対する執行率は58.1%（前年度79.6%）となっている。

不用額は79,044千円であり、これは、貸付事業費における修学資金貸付金の減などによるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると12,332千円（10.1%）の減少となっているが、その内訳は3表のとおりであり、貸付事業費における就学支度資金貸付金の減などがあったためである。

貸付金の貸付状況は4表のとおりであり、新規分192人および継続分92人の合計284人となっている。

なお、市債残高の状況は5表のとおりであり、当年度の起債額は81,588千円であったので、前年度末残高60,848千円と合わせ、当年度末残高は142,436千円となっている。

以上が当年度における決算の概要であるが、本事業は母子及び寡婦福祉法に基づき、母子家庭の母および寡婦に対してその経済的自立支援と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童および子等の福祉の増進を図ることを目的として資金の貸付を行うものである。

本市における貸付金収入の収入率は、低率で推移していることから、今後においては、滞納の実態に応じたより効果的な催告などを実施して収入の確保に努めるほか、貸付申請者に対し、本制度の趣旨への理解を求めるとともに、申請時における審査を徹底するなど、新たな滞納の発生防止に可能な限り取り組み、本制度の健全な運営を図られるよう要望する。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|-----|-------------|-------------|------------|------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 繰入金 | 42,000,000 | 25,823,000 | 16,177,000 | 62.6 |
| 繰越金 | 38,222,884 | 26,600,478 | 11,622,406 | 43.7 |
| 諸収入 | 64,200,930 | 58,270,961 | 5,929,969 | 10.2 |
| 市債 | 81,588,000 | 49,646,000 | 31,942,000 | 64.3 |
| 計 | 226,011,814 | 160,340,439 | 65,671,375 | 41.0 |

2表 貸付金収入の状況

| 区分 | 調定額 | 収入済額 | 収入率 | 不納欠損額 | 収入未済額 |
|-------|-------------|------------|------|------------|-------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 339,847,145 | 64,200,930 | 18.9 | 4,040,982 | 271,605,233 |
| 現年賦課分 | 66,994,037 | 47,967,494 | 71.6 | — | 19,026,543 |
| 滞納繰越分 | 272,853,108 | 16,233,436 | 5.9 | 4,040,982 | 252,578,690 |
| 22年度 | 349,483,098 | 58,270,961 | 16.7 | 18,359,029 | 272,853,108 |
| 現年賦課分 | 67,376,021 | 47,285,475 | 70.2 | — | 20,090,546 |
| 滞納繰越分 | 282,107,077 | 10,985,486 | 3.9 | 18,359,029 | 252,762,562 |

3表 歳出款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 貸付事業費 | 109,785,355 | 122,117,555 | △12,332,200 | △10.1 |
| 計 | 109,785,355 | 122,117,555 | △12,332,200 | △10.1 |

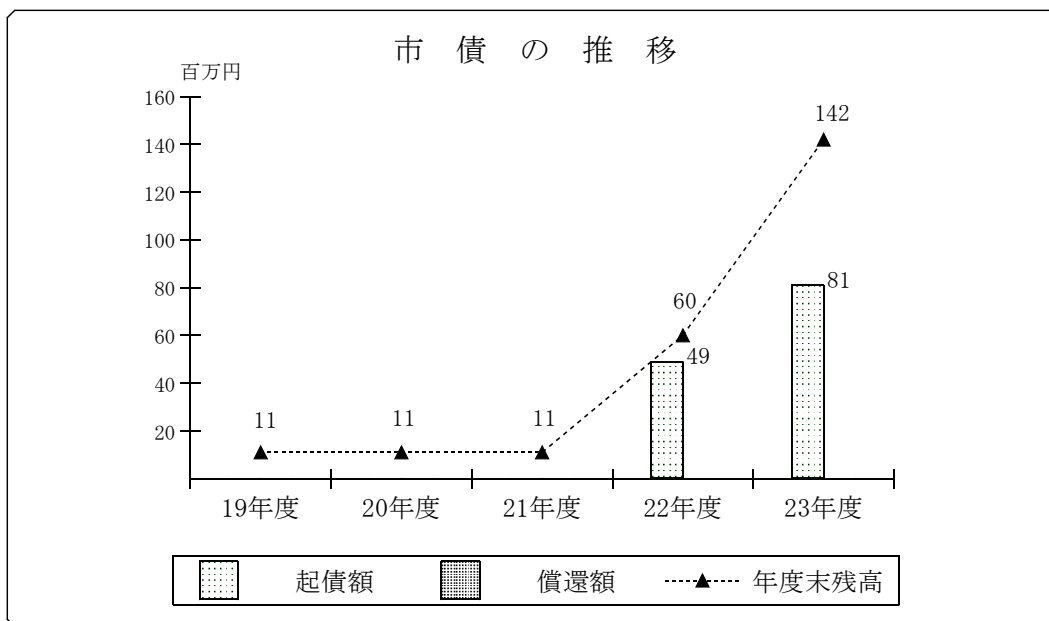
4表 貸付状況

| 区分 | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
|------|-------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 修学 | 人員(人) | (23) 56 | (42) 76 | (50) 94 | (84) 140 | (39) 123 |
| | 金額(円) | 25,637,000 | 32,005,000 | 38,552,500 | 59,031,500 | 56,212,000 |
| 技能習得 | 人員(人) | (1) 1 | (4) 4 | (7) 7 | (13) 15 | (10) 10 |
| | 金額(円) | 150,000 | 1,280,000 | 3,560,000 | 6,672,000 | 4,864,000 |
| 生活 | 人員(人) | (12) 16 | (21) 27 | (34) 39 | (39) 48 | (46) 54 |
| | 金額(円) | 7,841,000 | 12,359,000 | 13,074,000 | 23,160,000 | 22,132,000 |
| 就学支度 | 人員(人) | (49) 49 | (52) 52 | (97) 97 | (95) 95 | (76) 76 |
| | 金額(円) | 9,292,500 | 15,011,000 | 33,006,000 | 29,401,100 | 20,660,000 |
| 就職支度 | 人員(人) | (5) 5 | (0) 0 | (3) 3 | (6) 6 | (2) 2 |
| | 金額(円) | 580,000 | 0 | 660,000 | 720,000 | 320,000 |
| 事業開始 | 人員(人) | (1) 1 | (0) 0 | (0) 0 | (0) 0 | (0) 0 |
| | 金額(円) | 2,830,000 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 修業 | 人員(人) | (3) 3 | (1) 1 | (2) 2 | (3) 3 | (8) 8 |
| | 金額(円) | 690,000 | 280,000 | 540,000 | 830,000 | 2,500,000 |
| 転宅 | 人員(人) | (1) 1 | (5) 5 | (11) 11 | (3) 3 | (11) 11 |
| | 金額(円) | 260,000 | 910,000 | 2,180,000 | 640,000 | 2,060,000 |
| 住宅 | 人員(人) | (0) 0 | (0) 0 | (1) 1 | (1) 1 | (0) 0 |
| | 金額(円) | 0 | 0 | 500,000 | 700,000 | 0 |
| 計 | 人員(人) | (95) 132 | (125) 165 | (205) 254 | (244) 311 | (192) 284 |
| | 金額(円) | 47,280,500 | 61,845,000 | 92,072,500 | 121,154,600 | 108,748,000 |

※ () 内は新規貸付者を内書きした。

5表 市債残高の状況

| 23年度 | | | 22年度 | | | 対前年度比較 | | |
|--------|-----|---------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|
| 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 | 起債額 | 償還額 | 年度末残高 |
| 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 81,588 | - | 142,436 | 49,646 | - | 60,848 | 31,942 | - | 81,588 |



(9) 後期高齢者医療事業特別会計

歳 入

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 調 定 額 B | 収 入 済 額 C | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 不 納 欠 損 額 D | 収 入 未 済 額 B - C - D |
|------|---------------|---------------|---------------|------------|------------|----------------|------------------------|
| | 円 | 円 | 円 | % | % | 円 | 円 |
| 23年度 | 3,756,764,000 | 3,644,320,610 | 3,589,280,373 | 95.5 | 98.5 | 9,478,150 | 45,562,087 |
| 22年度 | 3,878,651,000 | 3,593,302,435 | 3,535,254,665 | 91.1 | 98.4 | 9,560,200 | 48,487,570 |
| 対前年度 | 増減額 | △121,887,000 | 51,018,175 | 54,025,708 | | △82,050 | △2,925,483 |
| | 増減率 | △3.1% | 1.4% | 1.5% | | △0.9% | △6.0% |

歳 出

| 区 分 | 予 算 現 額 A | 支 出 済 額 B | 執行率 B/A | 翌年度繰越額 C | 不 用 額 A - B - C | |
|------|---------------|---------------|------------|-------------|--------------------|--------------|
| | 円 | 円 | % | 円 | 円 | |
| 23年度 | 3,756,764,000 | 3,498,672,925 | 93.1 | — | 258,091,075 | |
| 22年度 | 3,878,651,000 | 3,458,306,786 | 89.2 | — | 420,344,214 | |
| 対前年度 | 増減額 | △121,887,000 | 40,366,139 | | — | △162,253,139 |
| | 増減率 | △3.1% | 1.2% | | — | △38.6% |

| | |
|----------|-------------|
| 歳入歳出差引残額 | 90,607,448円 |
|----------|-------------|

当年度の決算は、収入済額3,589,280千円、支出済額3,498,672千円であり、歳入歳出差引残額90,607千円となった。

歳入についてみると、予算現額3,756,764千円、調定額3,644,320千円に対し、収入済額は3,589,280千円であり、予算現額に対する執行率は95.5%（前年度91.1%）、調定額に対する収入率は98.5%（前年度98.4%）となっている。

不納欠損額は9,478千円であり、これは、後期高齢者医療保険料によるものであるが、前年度に比較すると82千円（0.9%）の減少となっている。

収入未済額は45,562千円であり、これは、後期高齢者医療保険料によるものであるが、前年度に比較すると2,925千円（6.0%）の減少となっている。

また、収入済額を前年度に比較すると54,025千円（1.5%）の増加となっているが、その内訳は1表のとおりであり、後期高齢者医療保険料21,977千円、繰入金10,511千円、繰越金10,496千円、諸収入11,079千円の増などがあったためである。

後期高齢者医療保険料の収入状況は2表、また、収入率の推移は3表のとおりである。

当年度の収入率は、現年分で99.3%（前年度99.1%）、滞納繰越分で33.7%（前年度25.4%）となり、前年度に比べ現年分は0.2ポイント、滞納繰越分は8.3ポイント上昇したことから、保険料合計では98.0%（前年度97.9%）となっている。

一方、歳出についてみると、予算現額3,756,764千円に対し、支出済額3,498,672千円であり、予算現額に対する執行率は93.1%（前年度89.2%）となっている。

不用額は258,091千円であり、これは、総務費6,183千円、保健事業費9,726千円、後期高齢者医療広域連合納付金236,168千円などの減によるものである。

また、支出済額を前年度に比較すると40,366千円（1.2%）の増加となっているが、その内訳は4表のとおりであり、総務費2,659千円、保健事業費6,462千円、後期高齢者医療広域連合納付金21,342千円、職員費7,938千円などの増があったためである。

以上が当年度における決算の概要であるが、本事業は高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、国民の高齢期における適切な医療の確保を目的として創設された後期高齢者医療制度において、75歳以上の者（一定の障がいのある65歳以上の者を含む。）を対象として適切な医療の給付などを実施するものであるが、今後においても実施主体である北海道後期高齢者医療広域連合と連携し、現行制度の円滑な運営に努められるよう要望する。

1表 歳入款別比較

| 科 目 | 23年度 | 22年度 | 対前年度比較 | |
|------------|---------------|---------------|------------|-------|
| | 金額 | 金額 | 増減額 | 増減率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 後期高齢者医療保険料 | 2,691,731,233 | 2,669,753,750 | 21,977,483 | 0.8 |
| 使用料及び手数料 | 4,300 | 39,900 | △35,600 | △89.2 |
| 広域連合支出金 | 237,824 | 240,814 | △2,990 | △1.2 |
| 繰入金 | 781,876,000 | 771,365,000 | 10,511,000 | 1.4 |
| 繰越金 | 76,947,879 | 66,451,152 | 10,496,727 | 15.8 |
| 諸収入 | 38,483,137 | 27,404,049 | 11,079,088 | 40.4 |
| 計 | 3,589,280,373 | 3,535,254,665 | 54,025,708 | 1.5 |

2表 後期高齢者医療保険料の収入状況

| 区 分 | 調 定 額 | 収 入 済 額 | 収入率 | 不 納 欠 損 額 | 収 入 未 済 額 |
|-----------|---------------|---------------|------|-----------|------------|
| | 円 | 円 | % | | 円 |
| 2 3 年 度 | 2,746,771,470 | 2,691,731,233 | 98.0 | 9,478,150 | 45,562,087 |
| 現 年 分 | 2,694,128,300 | 2,674,015,013 | 99.3 | — | 20,113,287 |
| 滞 納 繰 越 分 | 52,643,170 | 17,716,220 | 33.7 | 9,478,150 | 25,448,800 |
| 2 2 年 度 | 2,727,801,520 | 2,669,753,750 | 97.9 | 9,560,200 | 48,487,570 |
| 現 年 分 | 2,680,889,200 | 2,657,848,500 | 99.1 | — | 23,040,700 |
| 滞 納 繰 越 分 | 46,912,320 | 11,905,250 | 25.4 | 9,560,200 | 25,446,870 |

3表 後期高齢者医療保険料の収入率の推移

| 区 分 | 現 年 分 | 滞 納 繰 越 分 | 合 計 |
|---------|-------|-----------|-------|
| 2 0 年 度 | 98.8% | — | 98.8% |
| 2 1 年 度 | 99.0% | 42.5% | 98.3% |
| 2 2 年 度 | 99.1% | 25.4% | 97.9% |
| 2 3 年 度 | 99.3% | 33.7% | 98.0% |

4表 歳出款別比較

| 科 目 | 2 3 年 度 | 2 2 年 度 | 対 前 年 度 比 較 | |
|-----------------------------|---------------|---------------|-------------|-------|
| | 金 額 | 金 額 | 増 減 額 | 増 減 率 |
| | 円 | 円 | 円 | % |
| 総 務 費 | 30,465,107 | 27,806,043 | 2,659,064 | 9.6 |
| 保 健 事 業 費 | 19,443,858 | 12,981,688 | 6,462,170 | 49.8 |
| 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 納 付 金 | 3,362,397,771 | 3,341,055,066 | 21,342,705 | 0.6 |
| 諸 支 出 金 | 4,471,200 | 2,507,300 | 1,963,900 | 78.3 |
| 職 員 費 | 81,894,989 | 73,956,689 | 7,938,300 | 10.7 |
| 計 | 3,498,672,925 | 3,458,306,786 | 40,366,139 | 1.2 |

4 財産に関する調書

平成23年度における一般会計および各特別会計を合わせた本市財産の増減高および現在高は、次の表のとおりである。

| 区 分 | 前 年 度 末 現 在 高 | 決 算 年 度 中 増 減 高 | | | 決 算 年 度 末 現 在 高 |
|------------------|------------------|-----------------|------------|-----------|--------------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 58,185,458.48 | 207,702.08 | 177,876.18 | 29,825.90 | 58,215,284.38 |
| 建 物 (㎡) | 1,179,465.80 | 21,982.48 | 13,457.22 | 8,525.26 | 1,187,991.06 |
| 山 林 (㎡) | 692,514.50 | 30,577.00 | 15,867.00 | 14,710.00 | 707,224.50 |
| 動 産 | | | | | |
| 船 舶 (隻) | 2 | | | | 2 |
| 浮 標 (個) | 2 | | | | 2 |
| 浮 さん 橋 (個) | 1 | | | | 1 |
| 浮 さん 橋 (基) | 7 | | | | 7 |
| 物 権 | | | | | |
| 地 上 権 (㎡) | 357.26 | | | | 357.26 |
| 温 泉 権 (か所) | 9 | 1 | | 1 | 10 |
| 無 体 財 産 権 (件) | 5 | | | | 5 |
| 有 価 証 券 (千円) | 289,644 | | | | 289,644 |
| 出 資 による 権 利 (千円) | 2,354,316 | | 2,512 | △2,512 | 2,351,804 |
| 物 品 (点) | 1,864 | 55 | 56 | △1 | 1,863 |
| 債 権 (千円) | 4,069,420 | 295,887 | 419,260 | △123,373 | 3,946,047 |
| 基 金 (千円) | 14,756,850 | 4,043,988 | 4,810,594 | △766,606 | 13,990,244 |

※ 物品は、1点50万円以上のものについて記載している。

※ 基金には、土地開発基金の長期貸付金113,853千円、地域振興基金の長期貸付金3,689,100千円を含んでいる。

当年度における財産の増減内訳は、次のとおりである。

(1) 公有財産

土地は、前年度末現在高58,185,458.48㎡に対し、組替、更正、帰属などによる増207,702.08㎡、組替、更正、売払などによる減177,876.18㎡により29,825.90㎡増加している。

なお、このうち組替、更正によるものを除く実質的な増となったものは、(仮称)国際水産・海洋総合研究センター建設用地等の購入58,567.34㎡、北消防署末広出張所建設用地の購入1,307.36㎡、開発行為による公園用地の帰属2,255.29㎡であり、減となったものは、遊休地化している市有地の積極的な売払い施策を推進したことによる美原3丁目の教職員住宅跡地4,697.75㎡や花園町の東消防署花園出張所跡地1,177.67㎡などの用途未定地の売却によるもの12,186.62㎡、港湾事業特別会計分の用途未定地の売却32,062.03㎡である。

建物は、前年度末現在高1,179,465.80㎡に比較し8,525.26㎡増加している。

増となった主なものは、北消防署の新築1,737.02㎡、弥生小学校の新築5,857.94㎡、はこだて

療育・自立支援センターの新築4,588.20㎡などであり、減となった主なものは、庁舎改築に伴う北消防署の解体1,212.67㎡、日吉町4丁目団地の解体3,258.24㎡、あおば学園の解体505.85㎡、もと南茅部学校給食共同調理場の解体440.72㎡などである。

山林は、前年度末現在高692,514.50㎡に比較し14,710.00㎡増加しているが、これは、間伐等の減15,867.00㎡があったものの、自然成長等の増30,577.00㎡があったことによるものである。

出資による権利は、前年度末現在高2,354,316千円に比較し2,512千円減少しているが、これは、財団法人北海道漁船海難救済基金協会の解散による出捐金1,512千円の返還、財団法人北海道建築指導センターの出捐金1,000千円の返還があったことによるものである。

(2) 物 品

物品は、前年度末現在高1,864点に比較し1点減少している。

増となった主なものは、購入、所属替による諸車類であり、減となった主なものは、売却、所属替による諸車類である。

(3) 債 権

債権は、前年度末現在高4,069,420千円に比較し123,373千円減少している。

増となった主なものは、温泉事業貸付金5,000千円、農業漁業用機械等購入資金貸付金132,659千円であり、減となった主なものは、農業漁業用機械等購入資金貸付金131,592千円、一般会計の地域総合整備資金貸付金107,232千円、港湾事業特別会計の地域総合整備資金貸付金25,498千円である。

(4) 基 金

基金は、前年度末現在高14,756,850千円に比較し766,606千円減少している。

増となった主なものは、減債基金736,600千円であり、減となった主なものは、財政調整基金50,000千円、公共施設整備等基金500,000千円、在宅福祉ふれあい基金34,519千円、西部地区歴史的町並み基金17,442千円、地球温暖化対策基金71,328千円、介護給付費準備基金604,010千円である。

以上、財産に関する調書において、当年度における財産の状況を、財産異動明細書等の関係書類に基づき照合し審査した結果、正確に表示されているものと認められた。

今後も、財産の管理にあたっては、引き続き適正かつ効率的な運用に努めるとともに、遊休地化している市有地の積極的な売払いなど財産の有効活用についても検討を進められたい。

5 土地開発基金の運用状況

平成23年度における本市土地開発基金の運用状況は、次の表のとおりである。

(金額単位：円)

| 区 分 | | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 | |
|-----|---------------|---------------|------------|-------------|---------------|---------------|--|
| | | | 増 | 減 | 差引 | | |
| 土地 | 面積 (㎡) | 119,658.91 | | | | 119,658.91 | |
| | 価格 | 1,576,311,855 | | | | 1,576,311,855 | |
| 現金 | 土地取得費 | | | | | | |
| | 建物取得費 | | | | | | |
| | 土地売却 収入 | 取得原価 | | | | | |
| | | 売却益 | | | | | |
| | 割賦 収入 | 償還金分 | | 30,627,000 | | 30,627,000 | |
| | | 利息分 | | 3,135,751 | | 3,135,751 | |
| | 土地貸付収入 | | 288,302 | | 288,302 | | |
| | 基金運用収入 | | 1,331,539 | | 1,331,539 | | |
| | 土地開発公社貸付金 | | | | | | |
| 計 | 1,289,543,425 | 35,382,592 | | 35,382,592 | 1,324,926,017 | | |
| 債 権 | 144,480,000 | | 30,627,000 | △30,627,000 | 113,853,000 | | |
| 合 計 | 3,010,335,280 | 35,382,592 | 30,627,000 | 4,755,592 | 3,015,090,872 | | |

当基金の前年度末現在高は、土地面積119,658.91㎡・価格1,576,311千円、現金1,289,543千円および債権144,480千円となっており、基金総額では3,010,335千円であった。

当年度における基金の運用状況であるが、現金については35,382千円増加となっているが、これは、観光用駐車場用地割賦収入29,529千円、美原保育園用地割賦収入4,232千円、土地貸付収入288千円、基金運用収入1,331千円があったためである。

また、債権については、観光用駐車場用地割賦償還金および美原保育園用地割賦償還金が返済されたことにより30,627千円の減となっている。

この結果、当基金の決算年度末現在高は、土地面積119,658.91㎡・価格1,576,311千円、現金1,324,926千円および債権113,853千円となっており、合計では3,015,090千円となっている。

以上、土地開発基金について、その運用状況を関係書類に基づき審査したところ、適正に執行されているものと認められた。

決算審査資料

目 次

| | ページ |
|---------------------------|-----|
| 1表 各会計歳入款別一覧表 | 2 |
| 2表 各会計不納欠損額年度比較表 | 8 |
| 3表 各会計収入未済額年度比較表 | 10 |
| 4表 各会計歳出款別一覧表 | 12 |
| 5表 各会計別財産の増減高および現在高 | 18 |
| 6表 基金年度末現在高比較表 | 20 |

[注 記]

表示単位は、金額については円、構成比等についてはパーセント（小数点第2位四捨五入）である。

平成 2 3 年 度 各 会 計 歳 入 款 別 一 覧 表

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|--------------------------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 一 般 会 計 | 133,306,724,140 | 100.0 | 137,718,451,331 | 100.0 | 131,897,366,869 |
| 市 税 | 32,297,000,000 | 24.2 | 35,633,164,198 | 25.9 | 32,399,121,120 |
| 地 方 譲 与 税 | 830,900,000 | 0.6 | 811,528,665 | 0.6 | 811,528,665 |
| 利 子 割 交 付 金 | 120,000,000 | 0.1 | 91,749,000 | 0.1 | 91,749,000 |
| 配 当 割 交 付 金 | 18,000,000 | 0.0 | 30,895,000 | 0.0 | 30,895,000 |
| 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 19,000,000 | 0.0 | 8,070,000 | 0.0 | 8,070,000 |
| 地 方 消 費 税 交 付 金 | 2,809,400,000 | 2.1 | 2,935,938,000 | 2.1 | 2,935,938,000 |
| ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 | 25,000,000 | 0.0 | 24,260,992 | 0.0 | 24,260,992 |
| 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 114,600,000 | 0.1 | 131,070,000 | 0.1 | 131,070,000 |
| 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 | 10,000,000 | 0.0 | 7,660,000 | 0.0 | 7,660,000 |
| 地 方 特 例 交 付 金 | 304,898,000 | 0.2 | 304,898,000 | 0.2 | 304,898,000 |
| 地 方 交 付 税 | 35,478,445,000 | 26.6 | 35,844,069,000 | 26.0 | 35,844,069,000 |
| 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 61,600,000 | 0.0 | 63,778,000 | 0.0 | 63,778,000 |
| 分 担 金 及 び 負 担 金 | 844,203,000 | 0.6 | 1,161,112,062 | 0.8 | 834,064,192 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 3,069,872,000 | 2.3 | 3,253,573,250 | 2.4 | 3,048,565,880 |
| 国 庫 支 出 金 | 26,299,421,000 | 19.7 | 26,147,733,958 | 19.0 | 26,147,733,958 |
| 道 支 出 金 | 5,766,966,000 | 4.3 | 5,627,770,112 | 4.1 | 5,627,770,112 |
| 財 産 収 入 | 437,780,000 | 0.3 | 456,247,701 | 0.3 | 445,510,382 |
| 寄 付 金 | 226,210,000 | 0.2 | 216,960,087 | 0.2 | 216,960,087 |
| 繰 入 金 | 4,709,294,000 | 3.5 | 4,096,271,715 | 3.0 | 4,096,271,715 |
| 繰 越 金 | 1,109,408,140 | 0.8 | 1,109,408,324 | 0.8 | 1,109,408,324 |
| 諸 収 入 | 6,013,627,000 | 4.5 | 8,175,593,267 | 5.9 | 6,131,344,442 |
| 市 債 | 12,741,100,000 | 9.6 | 11,586,700,000 | 8.4 | 11,586,700,000 |
| 特 別 会 計 | 81,020,141,000 | 100.0 | 85,262,091,719 | 100.0 | 79,214,277,855 |
| 港 湾 事 業 | 3,594,892,000 | 100.0 | 3,601,919,383 | 100.0 | 3,600,814,847 |
| 使 用 料 及 び 手 数 料 | 237,807,000 | 6.6 | 243,309,876 | 6.8 | 242,834,660 |
| 国 庫 支 出 金 | 28,675,000 | 0.8 | 28,675,500 | 0.8 | 28,675,500 |
| 道 支 出 金 | 344,000 | 0.0 | 382,000 | 0.0 | 382,000 |
| 財 産 収 入 | 310,848,000 | 8.6 | 311,538,155 | 8.6 | 311,538,155 |
| 繰 入 金 | 2,361,420,000 | 65.7 | 2,361,420,000 | 65.6 | 2,361,420,000 |
| 繰 越 金 | 25,140,000 | 0.7 | 25,140,792 | 0.7 | 25,140,792 |
| 諸 収 入 | 31,058,000 | 0.9 | 31,853,060 | 0.9 | 31,223,740 |
| 市 債 | 599,600,000 | 16.7 | 599,600,000 | 16.6 | 599,600,000 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|---------------|------------|--------------|---------------|------------|--------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比率 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比率 E/B |
| 100.0 | 98.9 | 95.8 | 1,700,091,118 | 100.0 | 1.2 | 4,120,993,344 | 100.0 | 3.0 |
| 24.6 | 100.3 | 90.9 | 394,510,617 | 23.2 | 1.1 | 2,839,532,461 | 68.9 | 8.0 |
| 0.6 | 97.7 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 76.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 171.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 42.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 2.2 | 104.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 97.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 114.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 76.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.2 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 27.2 | 101.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 103.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.6 | 98.8 | 71.8 | 43,449,090 | 2.6 | 3.7 | 283,598,780 | 6.9 | 24.4 |
| 2.3 | 99.3 | 93.7 | 8,044,380 | 0.5 | 0.2 | 196,962,990 | 4.8 | 6.1 |
| 19.8 | 99.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 4.3 | 97.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.3 | 101.8 | 97.6 | — | — | — | 10,737,319 | 0.3 | 2.4 |
| 0.2 | 95.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 3.1 | 87.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 4.6 | 102.0 | 75.0 | 1,254,087,031 | 73.8 | 15.3 | 790,161,794 | 19.2 | 9.7 |
| 8.8 | 90.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 97.8 | 92.9 | 1,409,743,124 | 100.0 | 1.7 | 4,638,070,740 | 100.0 | 5.4 |
| 100.0 | 100.2 | 100.0 | 58,680 | 100.0 | 0.0 | 1,045,856 | 100.0 | 0.0 |
| 6.7 | 102.1 | 99.8 | 22,680 | 38.7 | 0.0 | 452,536 | 43.3 | 0.2 |
| 0.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 111.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 8.7 | 100.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 65.6 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.7 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.9 | 100.5 | 98.0 | 36,000 | 61.3 | 0.1 | 593,320 | 56.7 | 1.9 |
| 16.7 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|---------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 国民健康保険事業 | 35,297,974,000 | 100.0 | 39,807,505,373 | 100.0 | 34,293,243,690 |
| 国民健康保険料 | 7,136,071,000 | 20.2 | 11,771,496,601 | 29.6 | 6,358,809,094 |
| 国民健康保険税 | 615,000 | 0.0 | 2,137,360 | 0.0 | 812,300 |
| 使用料及び手数料 | 330,000 | 0.0 | 34,700 | 0.0 | 34,700 |
| 国庫支出金 | 8,780,980,000 | 24.9 | 9,270,356,765 | 23.3 | 9,270,356,765 |
| 療養給付費等交付金 | 1,639,520,000 | 4.6 | 1,711,600,873 | 4.3 | 1,711,600,873 |
| 前期高齢者交付金 | 8,691,400,000 | 24.6 | 8,678,963,028 | 21.8 | 8,678,963,028 |
| 道 支 出 金 | 1,391,448,000 | 3.9 | 1,399,900,899 | 3.5 | 1,399,900,899 |
| 共 同 事 業 交 付 金 | 4,494,566,000 | 12.7 | 4,086,961,644 | 10.3 | 4,086,961,644 |
| 繰 入 金 | 2,791,151,000 | 7.9 | 2,773,138,644 | 7.0 | 2,773,138,644 |
| 諸 収 入 | 371,893,000 | 1.1 | 112,914,859 | 0.3 | 12,665,743 |
| 自転車競走事業 | 15,728,230,000 | 100.0 | 15,092,537,180 | 100.0 | 15,092,537,180 |
| 事業収入 | 14,808,563,000 | 94.2 | 14,808,564,500 | 98.1 | 14,808,564,500 |
| 諸 収 入 | 919,667,000 | 5.8 | 283,972,680 | 1.9 | 283,972,680 |
| 奨 学 資 金 | 41,370,000 | 100.0 | 83,283,379 | 100.0 | 46,231,499 |
| 財 産 収 入 | 296,000 | 0.7 | 202,142 | 0.2 | 202,142 |
| 寄 付 金 | 500,000 | 1.2 | 500,000 | 0.6 | 500,000 |
| 繰 入 金 | 2,017,000 | 4.9 | 2,017,000 | 2.4 | 2,017,000 |
| 繰 越 金 | 7,307,000 | 17.7 | 7,306,227 | 8.8 | 7,306,227 |
| 諸 収 入 | 31,250,000 | 75.5 | 73,258,010 | 88.0 | 36,206,130 |
| 地方卸売市場事業 | 490,238,000 | 100.0 | 498,700,461 | 100.0 | 484,766,834 |
| 使用料及び手数料 | 179,320,000 | 36.6 | 180,903,760 | 36.3 | 175,032,200 |
| 国庫支出金 | 9,097,000 | 1.9 | 9,097,000 | 1.8 | 9,097,000 |
| 財 産 収 入 | 4,546,000 | 0.9 | 4,546,716 | 0.9 | 4,546,716 |
| 繰 入 金 | 190,785,000 | 38.9 | 190,785,000 | 38.3 | 190,785,000 |
| 繰 越 金 | 32,157,000 | 6.6 | 32,157,673 | 6.4 | 32,157,673 |
| 諸 収 入 | 57,133,000 | 11.7 | 64,010,312 | 12.8 | 55,948,245 |
| 市 債 | 17,200,000 | 3.5 | 17,200,000 | 3.4 | 17,200,000 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|---------------|------------|--------------|---------------|------------|--------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比率 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比率 E/B |
| 100.0 | 97.2 | 86.1 | 1,327,989,776 | 100.0 | 3.3 | 4,186,271,907 | 100.0 | 10.5 |
| 18.5 | 89.1 | 54.0 | 1,257,446,405 | 94.7 | 10.7 | 4,155,241,102 | 99.3 | 35.3 |
| 0.0 | 132.1 | 38.0 | 773,900 | 0.1 | 36.2 | 551,160 | 0.0 | 25.8 |
| 0.0 | 10.5 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 27.0 | 105.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 5.0 | 104.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 25.3 | 99.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 4.1 | 100.6 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 11.9 | 90.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 8.1 | 99.4 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 3.4 | 11.2 | 69,769,471 | 5.3 | 61.8 | 30,479,645 | 0.7 | 27.0 |
| 100.0 | 96.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 98.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.9 | 30.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 111.8 | 55.5 | 775,400 | 100.0 | 0.9 | 36,276,480 | 100.0 | 43.6 |
| 0.4 | 68.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 4.4 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 15.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 78.3 | 115.9 | 49.4 | 775,400 | 100.0 | 1.1 | 36,276,480 | 100.0 | 49.5 |
| 100.0 | 98.9 | 97.2 | 22,054 | 100.0 | 0.0 | 13,911,573 | 100.0 | 2.8 |
| 36.1 | 97.6 | 96.8 | — | — | — | 5,871,560 | 42.2 | 3.2 |
| 1.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 39.4 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 6.6 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 11.5 | 97.9 | 87.4 | 22,054 | 100.0 | 0.0 | 8,040,013 | 57.8 | 12.6 |
| 3.5 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |

1 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 調 定 額 | | 収 入 |
|---------------|-----------------|------------|-----------------|------------|-----------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 金 額 C |
| 介 護 保 險 事 業 | 21,902,865,000 | 100.0 | 22,013,536,992 | 100.0 | 21,862,761,306 |
| 介 護 保 險 料 | 3,348,072,000 | 15.3 | 3,434,287,667 | 15.6 | 3,337,620,339 |
| 使用料及び手数料 | 6,000 | 0.0 | 8,000 | 0.0 | 8,000 |
| 国 庫 支 出 金 | 5,100,494,000 | 23.3 | 5,140,607,650 | 23.4 | 5,140,607,650 |
| 支 払 基 金 交 付 金 | 6,129,171,000 | 28.0 | 6,130,022,000 | 27.8 | 6,130,022,000 |
| 道 支 出 金 | 3,051,674,000 | 13.9 | 2,981,019,846 | 13.5 | 2,981,019,846 |
| 財 産 収 入 | 415,000 | 0.0 | 392,886 | 0.0 | 392,886 |
| 繰 入 金 | 3,820,708,000 | 17.4 | 3,820,684,756 | 17.4 | 3,820,684,756 |
| 繰 越 金 | 424,780,000 | 1.9 | 424,779,468 | 1.9 | 424,779,468 |
| 諸 収 入 | 27,545,000 | 0.1 | 81,734,719 | 0.4 | 27,626,361 |
| 風 力 発 電 事 業 | 18,978,000 | 100.0 | 18,630,312 | 100.0 | 18,630,312 |
| 事 業 収 入 | 11,799,000 | 62.2 | 11,434,699 | 61.4 | 11,434,699 |
| 繰 入 金 | 6,500,000 | 34.3 | 6,500,000 | 34.9 | 6,500,000 |
| 繰 越 金 | 679,000 | 3.6 | 679,449 | 3.6 | 679,449 |
| 諸 収 入 | — | — | 16,164 | 0.1 | 16,164 |
| 母子寡婦福祉資金貸付事業 | 188,830,000 | 100.0 | 501,658,029 | 100.0 | 226,011,814 |
| 繰 入 金 | 42,000,000 | 22.2 | 42,000,000 | 8.4 | 42,000,000 |
| 繰 越 金 | 7,036,000 | 3.7 | 38,222,884 | 7.6 | 38,222,884 |
| 諸 収 入 | 58,206,000 | 30.8 | 339,847,145 | 67.7 | 64,200,930 |
| 市 債 | 81,588,000 | 43.2 | 81,588,000 | 16.3 | 81,588,000 |
| 後期高齢者医療事業 | 3,756,764,000 | 100.0 | 3,644,320,610 | 100.0 | 3,589,280,373 |
| 後期高齢者医療保険料 | 2,848,328,000 | 75.8 | 2,746,771,470 | 75.4 | 2,691,731,233 |
| 使用料及び手数料 | 1,000 | 0.0 | 4,300 | 0.0 | 4,300 |
| 広域連合支出金 | 240,000 | 0.0 | 237,824 | 0.0 | 237,824 |
| 繰 入 金 | 781,876,000 | 20.8 | 781,876,000 | 21.5 | 781,876,000 |
| 繰 越 金 | 76,947,000 | 2.0 | 76,947,879 | 2.1 | 76,947,879 |
| 諸 収 入 | 49,372,000 | 1.3 | 38,483,137 | 1.1 | 38,483,137 |
| 一般・特別会計合計 | 214,326,865,140 | | 222,980,543,050 | | 211,111,644,724 |

| 済 額 | | | 不 納 欠 損 額 | | | 収 入 未 済 額 | | |
|------------|------------|------------|---------------|------------|--------------|---------------|------------|--------------|
| 構 成 比 率 | 執行率 C/A | 収入率 C/B | 金 額 D | 構 成 比 率 | 対調定比率 D/B | 金 額 E | 構 成 比 率 | 対調定比率 E/B |
| 100.0 | 99.8 | 99.3 | 67,378,082 | 100.0 | 0.3 | 83,397,604 | 100.0 | 0.4 |
| 15.3 | 99.7 | 97.2 | 23,320,760 | 34.6 | 0.7 | 73,346,568 | 87.9 | 2.1 |
| 0.0 | 133.3 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 23.5 | 100.8 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 28.0 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 13.6 | 97.7 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 94.7 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 17.5 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 100.3 | 33.8 | 44,057,322 | 65.4 | 53.9 | 10,051,036 | 12.1 | 12.3 |
| 100.0 | 98.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 61.4 | 96.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 34.9 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 3.6 | 100.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.1 | 皆増 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 119.7 | 45.1 | 4,040,982 | 100.0 | 0.8 | 271,605,233 | 100.0 | 54.1 |
| 18.6 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 16.9 | 543.2 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 28.4 | 110.3 | 18.9 | 4,040,982 | 100.0 | 1.2 | 271,605,233 | 100.0 | 79.9 |
| 36.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 100.0 | 95.5 | 98.5 | 9,478,150 | 100.0 | 0.3 | 45,562,087 | 100.0 | 1.3 |
| 75.0 | 94.5 | 98.0 | 9,478,150 | 100.0 | 0.3 | 45,562,087 | 100.0 | 1.7 |
| 0.0 | 430.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 0.0 | 99.1 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 21.8 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 2.1 | 100.0 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| 1.1 | 77.9 | 100.0 | — | — | — | 0 | — | — |
| | 98.5 | 94.7 | 3,109,834,242 | | 1.4 | 8,759,064,084 | | 3.9 |

各会計不納欠損額年度比較表

2 表

| 区 分 | 不 納 欠 損 額 の 推 移 | | | | |
|--------------|-----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
| 一 般 会 計 | 407,031,658 | 365,043,876 | 416,498,507 | 473,660,789 | 1,700,091,118 |
| 市 税 | 300,166,216 | 249,669,595 | 303,462,161 | 382,171,562 | 394,510,617 |
| 分担金及び負担金 | 73,279,352 | 69,521,793 | 48,397,870 | 47,611,972 | 43,449,090 |
| 使用料及び手数料 | 10,554,335 | 12,046,575 | 16,135,553 | 7,807,060 | 8,044,380 |
| 諸 収 入 | 23,031,755 | 33,805,913 | 48,502,923 | 36,070,195 | 1,254,087,031 |
| 特 別 会 計 | 1,090,577,681 | 1,097,471,924 | 1,064,152,508 | 1,211,512,391 | 1,409,743,124 |
| 港 湾 事 業 | 1,179,365 | 1,704,697 | 1,572,522 | 197,559 | 58,680 |
| 使用料及び手数料 | 1,050,365 | 1,667,697 | 1,536,522 | 161,559 | 22,680 |
| 諸 収 入 | 129,000 | 37,000 | 36,000 | 36,000 | 36,000 |
| 国民健康保険事業 | 1,072,856,196 | 1,076,392,007 | 1,037,360,880 | 1,161,456,533 | 1,327,989,776 |
| 国民健康保険料 | 1,047,584,968 | 1,055,207,781 | 1,015,789,356 | 1,138,386,156 | 1,257,446,405 |
| 国民健康保険税 | 25,271,228 | 21,184,226 | 21,571,524 | 23,070,377 | 773,900 |
| 諸 収 入 | — | — | — | — | 69,769,471 |
| 奨 学 資 金 | — | — | 2,529,020 | 186,800 | 775,400 |
| 諸 収 入 | — | — | 2,529,020 | 186,800 | 775,400 |
| 地方卸売市場事業 | — | — | 2,018,306 | — | 22,054 |
| 使用料及び手数料 | — | — | 1,636,360 | — | — |
| 諸 収 入 | — | — | 381,946 | — | 22,054 |
| 介 護 保 険 事 業 | 16,542,120 | 19,375,220 | 20,671,780 | 21,752,270 | 67,378,082 |
| 介 護 保 険 料 | 16,542,120 | 19,375,220 | 20,671,780 | 21,752,270 | 23,320,760 |
| 諸 収 入 | — | — | — | — | 44,057,322 |
| 母子寡婦福祉資金貸付事業 | — | — | — | 18,359,029 | 4,040,982 |
| 諸 収 入 | — | — | — | 18,359,029 | 4,040,982 |
| 後期高齢者医療事業 | — | — | — | 9,560,200 | 9,478,150 |
| 後期高齢者医療保険料 | — | — | — | 9,560,200 | 9,478,150 |
| 一般・特別会計合計 | 1,497,609,339 | 1,462,515,800 | 1,480,651,015 | 1,685,173,180 | 3,109,834,242 |

| 対 調 定 比 率 の 推 移 | | | | | 指 数 (19年度=100) | | | |
|-----------------|------|------|------|------|-------------------|-------|-------|-------|
| 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
| 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.4 | 1.2 | 89.7 | 102.3 | 116.4 | 417.7 |
| 0.8 | 0.7 | 0.8 | 1.1 | 1.1 | 83.2 | 101.1 | 127.3 | 131.4 |
| 6.0 | 5.7 | 4.0 | 4.0 | 3.7 | 94.9 | 66.0 | 65.0 | 59.3 |
| 0.3 | 0.3 | 0.5 | 0.2 | 0.2 | 114.1 | 152.9 | 74.0 | 76.2 |
| 0.2 | 0.4 | 0.6 | 0.5 | 15.3 | 146.8 | 210.6 | 156.6 | 激増 |
| 0.9 | 1.2 | 1.3 | 1.3 | 1.7 | 100.6 | 97.6 | 111.1 | 129.3 |
| 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 144.5 | 133.3 | 16.8 | 5.0 |
| 0.4 | 0.7 | 0.6 | 0.1 | 0.0 | 158.8 | 146.3 | 15.4 | 2.2 |
| 0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 28.7 | 27.9 | 27.9 | 27.9 |
| 2.7 | 2.9 | 2.7 | 3.0 | 3.3 | 100.3 | 96.7 | 108.3 | 123.8 |
| 7.8 | 9.4 | 9.0 | 9.8 | 10.7 | 100.7 | 97.0 | 108.7 | 120.0 |
| 23.6 | 28.2 | 41.5 | 84.0 | 36.2 | 83.8 | 85.4 | 91.3 | 3.1 |
| — | — | — | — | 61.8 | — | — | — | 皆増 |
| — | — | 2.8 | 0.2 | 0.9 | — | 皆増 | 皆増 | 皆増 |
| — | — | 3.5 | 0.3 | 1.1 | — | 皆増 | 皆増 | 皆増 |
| — | — | 0.4 | — | 0.0 | — | 皆増 | — | 皆増 |
| — | — | 0.7 | — | — | — | 皆増 | — | — |
| — | — | 0.3 | — | 0.0 | — | 皆増 | — | 皆増 |
| 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.1 | 0.3 | 117.1 | 125.0 | 131.5 | 407.3 |
| 0.5 | 0.6 | 0.6 | 0.6 | 0.7 | 117.1 | 125.0 | 131.5 | 141.0 |
| — | — | — | — | 53.9 | — | — | — | 皆増 |
| — | — | — | 4.1 | 0.8 | — | — | 皆増 | 皆増 |
| — | — | — | 5.3 | 1.2 | — | — | 皆増 | 皆増 |
| — | — | — | 0.3 | 0.3 | — | — | 皆増 | 皆増 |
| — | — | — | 0.4 | 0.3 | — | — | 皆増 | 皆増 |
| 0.6 | 0.7 | 0.7 | 0.8 | 1.4 | 97.7 | 98.9 | 112.5 | 207.7 |

各会計収入未済額年度比較表

3 表

| 区 分 | 収 入 未 済 額 の 推 移 | | | | |
|-------------------|-----------------|---------------|----------------|----------------|---------------|
| | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
| 一 般 会 計 | 3,829,381,379 | 4,240,285,551 | 4,279,481,954 | 4,330,831,970 | 4,120,993,344 |
| 市 税 | 2,411,172,379 | 2,793,435,369 | 2,925,282,885 | 2,947,672,432 | 2,839,532,461 |
| 分担金及び負担金 | 371,951,055 | 350,052,494 | 339,572,847 | 313,898,935 | 283,598,780 |
| 使用料及び手数料 | 229,150,197 | 222,070,855 | 211,123,837 | 205,483,733 | 196,962,990 |
| 財 産 収 入 | 10,652,281 | 11,195,613 | 11,812,834 | 11,950,663 | 10,737,319 |
| 諸 収 入 | 806,455,467 | 863,531,220 | 791,689,551 | 851,826,207 | 790,161,794 |
| 特 別 会 計 | 5,200,434,108 | 5,458,191,632 | 5,797,345,041 | 5,928,101,819 | 4,638,070,740 |
| 港 湾 事 業 | 4,371,791 | 2,702,461 | 1,204,466 | 1,061,994 | 1,045,856 |
| 使用料及び手数料 | 3,633,471 | 2,001,141 | 539,146 | 432,674 | 452,536 |
| 諸 収 入 | 738,320 | 701,320 | 665,320 | 629,320 | 593,320 |
| 国民健康保険事業 | 3,658,027,345 | 3,862,456,490 | 4,166,613,185 | 4,301,282,194 | 4,186,271,907 |
| 国民健康保険料 | 3,483,404,131 | 3,710,971,158 | 4,039,677,946 | 4,199,685,676 | 4,155,241,102 |
| 国民健康保険税 | 75,096,038 | 52,026,174 | 27,476,081 | 2,137,360 | 551,160 |
| 諸 収 入 | 99,527,176 | 99,459,158 | 99,459,158 | 99,459,158 | 30,479,645 |
| 奨 学 資 金 | 33,293,450 | 34,396,050 | 34,654,330 | 36,857,530 | 36,276,480 |
| 諸 収 入 | 33,293,450 | 34,396,050 | 34,654,330 | 36,857,530 | 36,276,480 |
| 地方卸売市場事業 | 2,018,306 | 2,018,306 | 13,666,056 | 14,182,069 | 13,911,573 |
| 使用料及び手数料 | 1,636,360 | 1,636,360 | 5,817,560 | 6,119,960 | 5,871,560 |
| 財 産 収 入 | — | — | 207,680 | 8,062,109 | — |
| 諸 収 入 | 381,946 | 381,946 | 7,640,816 | — | 8,040,013 |
| 老人保健医療事業 | 1,131,135,359 | 1,130,383,853 | 1,130,383,853 | 1,130,383,853 | — |
| 諸 収 入 | 1,131,135,359 | 1,130,383,853 | 1,130,383,853 | 1,130,383,853 | — |
| 介護保険事業 | 118,611,670 | 126,145,044 | 124,069,054 | 122,993,501 | 83,397,604 |
| 介護保険料 | 65,102,900 | 73,061,280 | 70,985,290 | 69,909,737 | 73,346,568 |
| 諸 収 入 | 53,508,770 | 53,083,764 | 53,083,764 | 53,083,764 | 10,051,036 |
| 母子寡婦福祉資金貸付事業 | 252,976,187 | 270,021,267 | 282,107,077 | 272,853,108 | 271,605,233 |
| 諸 収 入 | 252,976,187 | 270,021,267 | 282,107,077 | 272,853,108 | 271,605,233 |
| 後期高齢者医療事業 | — | 30,068,161 | 44,647,020 | 48,487,570 | 45,562,087 |
| 後期高齢者医療保険料 | — | 30,068,161 | 44,647,020 | 48,487,570 | 45,562,087 |
| 一 般 ・ 特 別 会 計 合 計 | 9,029,815,487 | 9,698,477,183 | 10,076,826,995 | 10,258,933,789 | 8,759,064,084 |

| 対 調 定 比 率 の 推 移 | | | | | 指 数 (19年度=100) | | | |
|-----------------|------|------|-------|------|-------------------|-------|-------|-------|
| 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 |
| 3.0 | 3.3 | 3.2 | 3.3 | 3.0 | 110.7 | 111.8 | 113.1 | 107.6 |
| 6.6 | 7.6 | 8.2 | 8.3 | 8.0 | 115.9 | 121.3 | 122.3 | 117.8 |
| 30.4 | 28.8 | 28.3 | 26.7 | 24.4 | 94.1 | 91.3 | 84.4 | 76.2 |
| 6.3 | 6.4 | 6.3 | 6.0 | 6.1 | 96.9 | 92.1 | 89.7 | 86.0 |
| 2.3 | 1.8 | 4.6 | 3.9 | 2.4 | 105.1 | 110.9 | 112.2 | 100.8 |
| 8.5 | 9.7 | 9.8 | 11.9 | 9.7 | 107.1 | 98.2 | 105.6 | 98.0 |
| 4.4 | 6.2 | 6.9 | 6.5 | 5.4 | 105.0 | 111.5 | 114.0 | 89.2 |
| 0.1 | 0.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 61.8 | 27.6 | 24.3 | 23.9 |
| 1.4 | 0.8 | 0.2 | 0.2 | 0.2 | 55.1 | 14.8 | 11.9 | 12.5 |
| 1.4 | 0.5 | 2.1 | 1.9 | 1.9 | 95.0 | 90.1 | 85.2 | 80.4 |
| 9.2 | 10.4 | 11.0 | 11.0 | 10.5 | 105.6 | 113.9 | 117.6 | 114.4 |
| 26.0 | 32.9 | 35.7 | 36.2 | 35.3 | 106.5 | 116.0 | 120.6 | 119.3 |
| 70.2 | 69.2 | 52.8 | 7.8 | 25.8 | 69.3 | 36.6 | 2.8 | 0.7 |
| 62.7 | 84.5 | 61.1 | 61.1 | 27.0 | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 30.6 |
| 43.0 | 40.8 | 38.3 | 39.7 | 43.6 | 103.3 | 104.1 | 110.7 | 109.0 |
| 50.3 | 47.2 | 48.0 | 51.5 | 49.5 | 103.3 | 104.1 | 110.7 | 109.0 |
| 0.8 | 0.8 | 2.7 | 2.8 | 2.8 | 100.0 | 677.1 | 702.7 | 689.3 |
| 1.2 | 1.2 | 2.6 | 2.9 | 3.2 | 100.0 | 355.5 | 374.0 | 358.8 |
| — | — | 4.4 | 190.1 | — | — | 皆増 | 皆増 | — |
| 1.4 | 1.3 | 5.9 | — | 12.6 | 100.0 | 激増 | 皆減 | 激増 |
| 3.3 | 24.5 | 92.3 | 98.0 | — | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 皆減 |
| 97.4 | 92.7 | 99.4 | 99.6 | — | 99.9 | 99.9 | 99.9 | 皆減 |
| 0.6 | 0.7 | 0.6 | 0.6 | 0.4 | 106.4 | 104.6 | 103.7 | 70.3 |
| 2.0 | 2.2 | 2.1 | 2.0 | 2.1 | 112.2 | 109.0 | 107.4 | 112.7 |
| 90.9 | 97.8 | 94.4 | 91.4 | 12.3 | 99.2 | 99.2 | 99.2 | 18.8 |
| 69.9 | 69.1 | 70.2 | 60.4 | 54.1 | 106.7 | 111.5 | 107.9 | 107.4 |
| 80.8 | 82.1 | 82.3 | 78.1 | 79.9 | 106.7 | 111.5 | 107.9 | 107.4 |
| — | 0.9 | 1.3 | 1.3 | 1.3 | 皆増 | 皆増 | 皆増 | 皆増 |
| — | 1.2 | 1.7 | 1.8 | 1.7 | 皆増 | 皆増 | 皆増 | 皆増 |
| 3.7 | 4.5 | 4.6 | 4.6 | 3.9 | 107.4 | 111.6 | 113.6 | 97.0 |

平成 2 3 年 度 各 会 計 歳 出 款 別 一 覧 表

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|-------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|--------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B / A |
| 一 般 会 計 | 133,306,724,140 | 100.0 | 130,844,120,949 | 100.0 | 98.2 |
| 議 会 費 | 523,735,000 | 0.4 | 500,809,843 | 0.4 | 95.6 |
| 総 務 費 | 5,013,127,000 | 3.8 | 4,843,614,934 | 3.7 | 96.6 |
| 民 生 費 | 48,227,218,500 | 36.2 | 47,351,498,569 | 36.2 | 98.2 |
| 衛 生 費 | 8,615,618,000 | 6.5 | 8,273,109,973 | 6.3 | 96.0 |
| 労 働 費 | 950,258,000 | 0.7 | 914,112,986 | 0.7 | 96.2 |
| 農 林 水 産 費 | 886,316,000 | 0.7 | 827,528,140 | 0.6 | 93.4 |
| 商 工 費 | 5,796,616,000 | 4.3 | 5,711,963,217 | 4.4 | 98.5 |
| 土 木 費 | 9,794,862,891 | 7.3 | 9,530,173,047 | 7.3 | 97.3 |
| 消 防 費 | 1,709,875,000 | 1.3 | 1,367,202,593 | 1.0 | 80.0 |
| 教 育 費 | 7,408,360,640 | 5.6 | 7,258,162,886 | 5.5 | 98.0 |
| 災 害 復 旧 費 | 9,000,000 | 0.2 | 8,358,000 | 0.2 | 92.9 |
| 公 債 費 | 14,646,544,000 | 11.0 | 14,595,770,605 | 11.2 | 99.7 |
| 諸 支 出 金 | 8,510,638,714 | 6.4 | 8,482,565,305 | 6.5 | 99.7 |
| 職 員 費 | 21,181,043,000 | 15.9 | 21,179,250,851 | 16.2 | 100.0 |
| 予 備 費 | 33,511,395 | 0.0 | — | — | — |
| 特 別 会 計 | 81,020,141,000 | 100.0 | 79,822,782,318 | 100.0 | 98.5 |
| 港 湾 事 業 | 3,594,892,000 | 100.0 | 3,576,971,211 | 100.0 | 99.5 |
| 港 湾 管 理 費 | 301,836,000 | 8.4 | 289,864,815 | 8.1 | 96.0 |
| 港 湾 整 備 費 | 638,914,000 | 17.8 | 638,913,617 | 17.9 | 100.0 |
| 公 債 費 | 2,431,995,000 | 67.7 | 2,431,993,514 | 68.0 | 100.0 |
| 職 員 費 | 219,147,000 | 6.1 | 216,199,265 | 6.0 | 98.7 |
| 予 備 費 | 3,000,000 | 0.1 | — | — | — |
| 国 民 健 康 保 險 事 業 | 35,297,974,000 | 100.0 | 34,758,713,721 | 100.0 | 98.5 |
| 総 務 費 | 149,813,000 | 0.4 | 130,867,803 | 0.4 | 87.4 |
| 保 險 給 付 費 | 24,272,245,774 | 68.8 | 24,245,109,630 | 69.8 | 99.9 |
| 後 期 高 齡 者 支 援 金 等 | 3,451,044,000 | 9.8 | 3,451,043,414 | 9.9 | 100.0 |
| 前 期 高 齡 者 納 付 金 等 | 10,238,000 | 0.0 | 10,237,789 | 0.0 | 100.0 |
| 老 人 保 健 拠 出 金 | 4,124,000 | 0.0 | 4,122,547 | 0.0 | 100.0 |
| 介 護 納 付 金 | 1,624,480,000 | 4.6 | 1,621,719,073 | 4.7 | 99.8 |
| 共 同 事 業 拠 出 金 | 4,481,846,000 | 12.7 | 4,171,854,730 | 12.0 | 93.1 |
| 保 健 事 業 費 | 142,395,000 | 0.4 | 126,519,838 | 0.4 | 88.9 |
| 諸 支 出 金 | 555,991,000 | 1.6 | 553,618,546 | 1.6 | 99.6 |
| 職 員 費 | 323,735,000 | 0.9 | 322,467,468 | 0.9 | 99.6 |
| 繰 上 充 用 金 | 121,153,000 | 0.3 | 121,152,883 | 0.3 | 100.0 |
| 予 備 費 | 160,909,226 | 0.5 | — | — | — |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-----------|---------------|----------|-----------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越し | 計 C | 対予算 比率 | 金額 A-B-C | 構成 比率 | 対予算 比率 |
| — | 418,064,000 | 97,671,000 | 515,735,000 | 0.4 | 1,946,868,191 | 100.0 | 1.5 |
| — | — | — | — | — | 22,925,157 | 1.2 | 4.4 |
| — | — | — | — | — | 169,512,066 | 8.7 | 3.4 |
| — | — | — | — | — | 875,719,931 | 45.0 | 1.8 |
| — | — | — | — | — | 342,508,027 | 17.6 | 4.0 |
| — | — | — | — | — | 36,145,014 | 1.9 | 3.8 |
| — | 3,564,000 | — | 3,564,000 | 0.4 | 55,223,860 | 2.8 | 6.2 |
| — | — | — | — | — | 84,652,783 | 4.3 | 1.5 |
| — | 45,000,000 | 97,671,000 | 142,671,000 | 1.5 | 122,018,844 | 6.3 | 1.2 |
| — | 340,500,000 | — | 340,500,000 | 19.9 | 2,172,407 | 0.1 | 0.1 |
| — | 29,000,000 | — | 29,000,000 | 0.4 | 121,197,754 | 6.2 | 1.6 |
| — | — | — | — | — | 642,000 | 0.4 | 7.1 |
| — | — | — | — | — | 50,773,395 | 2.6 | 0.3 |
| — | — | — | — | — | 28,073,409 | 1.4 | 0.3 |
| — | — | — | — | — | 1,792,149 | 0.1 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 33,511,395 | 1.7 | 100.0 |
| — | — | — | — | — | 1,197,358,682 | 100.0 | 1.5 |
| — | — | — | — | — | 17,920,789 | 100.0 | 0.5 |
| — | — | — | — | — | 11,971,185 | 66.8 | 4.0 |
| — | — | — | — | — | 383 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 1,486 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 2,947,735 | 16.4 | 1.3 |
| — | — | — | — | — | 3,000,000 | 16.7 | 100.0 |
| — | — | — | — | — | 539,260,279 | 100.0 | 1.5 |
| — | — | — | — | — | 18,945,197 | 3.5 | 12.6 |
| — | — | — | — | — | 27,136,144 | 5.0 | 0.1 |
| — | — | — | — | — | 586 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 211 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 1,453 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 2,760,927 | 0.5 | 0.2 |
| — | — | — | — | — | 309,991,270 | 57.5 | 6.9 |
| — | — | — | — | — | 15,875,162 | 2.9 | 11.1 |
| — | — | — | — | — | 2,372,454 | 0.4 | 0.4 |
| — | — | — | — | — | 1,267,532 | 0.2 | 0.4 |
| — | — | — | — | — | 117 | 0.0 | 0.0 |
| — | — | — | — | — | 160,909,226 | 29.8 | 100.0 |

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|-----------------------|----------------|------------|----------------|------------|------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B/A |
| 自 転 車 競 走 事 業 | 15,728,230,000 | 100.0 | 15,699,391,535 | 100.0 | 99.8 |
| 管 理 費 | 65,364,000 | 0.4 | 55,338,195 | 0.4 | 84.7 |
| 事 業 費 | 14,675,172,000 | 93.3 | 14,666,538,173 | 93.4 | 99.9 |
| 公 債 費 | 298,883,000 | 1.9 | 298,881,607 | 1.9 | 100.0 |
| 職 員 費 | 99,334,000 | 0.6 | 98,689,708 | 0.6 | 99.4 |
| 繰 上 充 用 金 | 579,944,000 | 3.7 | 579,943,852 | 3.7 | 100.0 |
| 予 備 費 | 9,533,000 | 0.1 | — | — | — |
| 奨 学 資 金 | 41,370,000 | 100.0 | 41,196,179 | 100.0 | 99.6 |
| 奨 学 費 | 33,463,000 | 80.9 | 33,389,952 | 81.1 | 99.8 |
| 基 金 積 立 金 | 7,807,000 | 18.9 | 7,806,227 | 18.9 | 100.0 |
| 予 備 費 | 100,000 | 0.2 | — | — | — |
| 地 方 卸 売 市 場 事 業 | 490,238,000 | 100.0 | 477,528,609 | 100.0 | 97.4 |
| 市 場 管 理 費 | 321,405,000 | 65.6 | 311,599,801 | 65.3 | 96.9 |
| 地 方 卸 売 市 場 災 害 復 旧 費 | 27,051,000 | 8.4 | 27,050,730 | 8.7 | 100.0 |
| 公 債 費 | 87,761,000 | 17.9 | 87,759,882 | 18.4 | 100.0 |
| 職 員 費 | 51,521,000 | 10.5 | 51,118,196 | 10.7 | 99.2 |
| 予 備 費 | 2,500,000 | 0.5 | — | — | — |
| 介 護 保 險 事 業 | 21,902,865,000 | 100.0 | 21,643,007,953 | 100.0 | 98.8 |
| 総 務 費 | 272,398,000 | 1.2 | 247,870,520 | 1.1 | 91.0 |
| 保 險 給 付 費 | 20,525,080,000 | 93.7 | 20,342,097,900 | 94.0 | 99.1 |
| 地 域 支 援 事 業 費 | 323,852,000 | 1.5 | 314,500,397 | 1.5 | 97.1 |
| 基 金 積 立 金 | 303,492,000 | 1.4 | 303,470,533 | 1.4 | 100.0 |
| 諸 支 出 金 | 124,319,000 | 0.6 | 104,637,296 | 0.5 | 84.2 |
| 職 員 費 | 333,069,000 | 1.5 | 330,431,307 | 1.5 | 99.2 |
| 予 備 費 | 20,655,000 | 0.1 | — | — | — |
| 風 力 発 電 事 業 | 18,978,000 | 100.0 | 17,514,830 | 100.0 | 92.3 |
| 風 力 発 電 事 業 費 | 12,189,840 | 64.2 | 10,813,687 | 61.7 | 88.7 |
| 諸 支 出 金 | 3,600,000 | 19.0 | 3,600,000 | 20.6 | 100.0 |
| 職 員 費 | 3,102,000 | 16.3 | 3,101,143 | 17.7 | 100.0 |
| 予 備 費 | 86,160 | 0.5 | — | — | — |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------|----------|--------|-----------|-------------|----------|-----------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越 | 計 C | 対予算 比率 | 金額 A-B-C | 構成 比率 | 対予算 比率 |
| - | - | - | - | - | 28,838,465 | 100.0 | 0.2 |
| - | - | - | - | - | 10,025,805 | 34.8 | 15.3 |
| - | - | - | - | - | 8,633,827 | 29.9 | 0.1 |
| - | - | - | - | - | 1,393 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 644,292 | 2.2 | 0.6 |
| - | - | - | - | - | 148 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 9,533,000 | 33.1 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 173,821 | 100.0 | 0.4 |
| - | - | - | - | - | 73,048 | 42.0 | 0.2 |
| - | - | - | - | - | 773 | 0.4 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 100,000 | 57.5 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 12,709,391 | 100.0 | 2.6 |
| - | - | - | - | - | 9,805,199 | 77.1 | 3.1 |
| - | - | - | - | - | 270 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 1,118 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 402,804 | 3.2 | 0.8 |
| - | - | - | - | - | 2,500,000 | 19.7 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 259,857,047 | 100.0 | 1.2 |
| - | - | - | - | - | 24,527,480 | 9.4 | 9.0 |
| - | - | - | - | - | 182,982,100 | 70.4 | 0.9 |
| - | - | - | - | - | 9,351,603 | 3.6 | 2.9 |
| - | - | - | - | - | 21,467 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 19,681,704 | 7.6 | 15.8 |
| - | - | - | - | - | 2,637,693 | 1.0 | 0.8 |
| - | - | - | - | - | 20,655,000 | 7.9 | 100.0 |
| - | - | - | - | - | 1,463,170 | 100.0 | 7.7 |
| - | - | - | - | - | 1,376,153 | 94.1 | 11.3 |
| - | - | - | - | - | 0 | 0.0 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 857 | 0.1 | 0.0 |
| - | - | - | - | - | 86,160 | 5.9 | 100.0 |

4 表

| 科 目 | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | | |
|-------------------|-----------------|------------|-----------------|------------|------------|
| | 金 額 A | 構 成 比 率 | 金 額 B | 構 成 比 率 | 執行率 B/A |
| 母子寡婦福祉資金貸付事業 | 188,830,000 | 100.0 | 109,785,355 | 100.0 | 58.1 |
| 貸 付 事 業 費 | 188,830,000 | 100.0 | 109,785,355 | 100.0 | 58.1 |
| 後期高齢者医療事業 | 3,756,764,000 | 100.0 | 3,498,672,925 | 100.0 | 93.1 |
| 総 務 費 | 36,649,000 | 1.0 | 30,465,107 | 0.9 | 83.1 |
| 保 健 事 業 費 | 29,170,000 | 0.8 | 19,443,858 | 0.6 | 66.7 |
| 後期高齢者医療広域連合納付金 | 3,598,566,000 | 95.8 | 3,362,397,771 | 96.1 | 93.4 |
| 諸 支 出 金 | 8,982,000 | 0.2 | 4,471,200 | 0.1 | 49.8 |
| 職 員 費 | 82,397,000 | 2.2 | 81,894,989 | 2.3 | 99.4 |
| 予 備 費 | 1,000,000 | 0.0 | — | — | — |
| 一 般 ・ 特 別 会 計 合 計 | 214,326,865,140 | | 210,666,903,267 | | 98.3 |

| 翌年度繰越額 | | | | | 不用額 | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|-----------|---------------|----------|-----------|
| 継続費 通次繰越 | 繰越明許費 | 事故 繰越 | 計 C | 対予算 比率 | 金額 A-B-C | 構成 比率 | 対予算 比率 |
| - | - | - | - | - | 79,044,645 | 100.0 | 41.9 |
| - | - | - | - | - | 79,044,645 | 100.0 | 41.9 |
| - | - | - | - | - | 258,091,075 | 100.0 | 6.9 |
| - | - | - | - | - | 6,183,893 | 2.4 | 16.9 |
| - | - | - | - | - | 9,726,142 | 3.8 | 33.3 |
| - | - | - | - | - | 236,168,229 | 91.5 | 6.6 |
| - | - | - | - | - | 4,510,800 | 1.7 | 50.2 |
| - | - | - | - | - | 502,011 | 0.2 | 0.6 |
| - | - | - | - | - | 1,000,000 | 0.4 | 100.0 |
| - | 418,064,000 | 97,671,000 | 515,735,000 | 0.2 | 3,144,226,873 | | 1.5 |

各会計別財産の増減高および現在高

5 表

(一般会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|--------------|---------------|------------|------------|-----------|---------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公有財産 | | | | | |
| 土地 (㎡) | 57,535,151.52 | 182,051.73 | 132,258.29 | 49,793.44 | 57,584,944.96 |
| 建物 (㎡) | 1,111,266.79 | 21,952.08 | 13,446.42 | 8,505.66 | 1,119,772.45 |
| 山林 (㎡) | 692,514.50 | 30,577.00 | 15,867.00 | 14,710.00 | 707,224.50 |
| 動産 | | | | | |
| 船舶 (隻) | 1 | — | — | — | 1 |
| 物権 | | | | | |
| 地上権 (㎡) | 357.26 | — | — | — | 357.26 |
| 温泉権 (か所) | 9 | 1 | — | 1 | 10 |
| 無体財産権 (件) | 5 | — | — | — | 5 |
| 有価証券 (千円) | 289,644 | — | — | — | 289,644 |
| 出資による権利 (千円) | 2,353,316 | — | 2,512 | △2,512 | 2,350,804 |
| 物品 (点) | 1,806 | 51 | 55 | △4 | 1,802 |
| 債権 (千円) | 3,137,921 | 154,609 | 290,368 | △135,759 | 3,002,162 |
| 基金 (千円) | 14,230,530 | 3,732,712 | 4,144,258 | △411,546 | 13,818,984 |

※ 山林には、分収林の立木を含む。

(港湾事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|--------------|-------------|-----------|-----------|------------|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公有財産 | | | | | |
| 土地 (㎡) | 493,981.54 | 25,650.35 | 45,617.89 | △19,967.54 | 474,014.00 |
| 建物 (㎡) | 7,591.14 | 30.40 | 10.80 | 19.60 | 7,610.74 |
| 動産 | | | | | |
| 船舶 (隻) | 1 | — | — | — | 1 |
| 浮標 (個) | 2 | — | — | — | 2 |
| 浮さん橋 (個) | 1 | — | — | — | 1 |
| 浮さん橋 (基) | 7 | — | — | — | 7 |
| 出資による権利 (千円) | 1,000 | — | — | — | 1,000 |
| 物品 (点) | 12 | 1 | — | 1 | 13 |
| 債権 (千円) | 89,271 | — | 25,498 | △25,498 | 63,773 |

(国民健康保険事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|--------|-------------|----------|---|----|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 物品 (点) | 1 | — | — | — | 1 |

(自転車競走事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|--------|-------------|----------|---|----|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公有財産 | | | | | |
| 土地 (㎡) | 52,660.70 | — | — | — | 52,660.70 |
| 建物 (㎡) | 18,873.51 | — | — | — | 18,873.51 |
| 物品 (点) | 38 | 1 | — | 1 | 39 |

(奨学資金特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|----------|-------------|----------|--------|--------|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 債 権 (千円) | 323,231 | 32,294 | 36,401 | △4,107 | 319,124 |
| 基 金 (千円) | 148,425 | 7,806 | 2,017 | 5,789 | 154,214 |

(地方卸売市場事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|---------|-------------|----------|---|----|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 90,864.72 | — | — | — | 90,864.72 |
| 建 物 (㎡) | 41,734.36 | — | — | — | 41,734.36 |
| 物 品 (点) | 4 | 2 | 1 | 1 | 5 |

(介護保険事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|----------|-------------|----------|---------|----------|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 基 金 (千円) | 377,895 | 303,471 | 664,320 | △360,849 | 17,046 |

(風力発電事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|---------|-------------|----------|---|----|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 公 有 財 産 | | | | | |
| 土 地 (㎡) | 12,800.00 | — | — | — | 12,800.00 |
| 物 品 (点) | 3 | — | — | — | 3 |

(母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計)

| 区 分 | 前年度末 現在高 | 決算年度中増減高 | | | 決算年度末 現在高 |
|----------|-------------|----------|--------|--------|--------------|
| | | 増 | 減 | 差引 | |
| 債 権 (千円) | 518,997 | 108,984 | 66,994 | 41,990 | 560,987 |

基金年度末現在高比較表

6 表

| 区 分 | 平成19年度 | 平成20年度 | | 平成21年度 | |
|---------------------|----------------|----------------|-------------|----------------|-------------|
| | 年度末現在高 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 |
| 財政調整基金 | 307,523,556 | 485,930,695 | 58.0 | 428,218,323 | △11.9 |
| 土地開発基金 | 2,992,295,448 | 2,998,921,760 | 0.2 | 3,002,706,434 | 0.1 |
| 亀田公民館建設基金 | 793,482 | 796,910 | 0.4 | 798,580 | 0.2 |
| 公共施設整備等基金 | 2,234,324,406 | 2,034,324,406 | △9.0 | 1,884,324,406 | △7.4 |
| 減債基金 | 778,591,932 | 1,073,307,712 | 37.9 | 1,441,298,774 | 34.3 |
| 障害者福祉基金 | 295,590,000 | 295,590,000 | 0.0 | 295,590,000 | 0.0 |
| 育英基金 | 87,500,000 | 86,099,000 | △1.6 | 84,269,492 | △2.1 |
| 社会福祉施設整備基金 | 206,783,071 | 213,415,071 | 3.2 | 209,000,960 | △2.1 |
| 在宅福祉ふれあい基金 | 1,541,505,642 | 1,532,652,642 | △0.6 | 1,515,393,624 | △1.1 |
| 国際交流基金 | 238,500,000 | 231,516,000 | △2.9 | 224,127,115 | △3.2 |
| 青少年芸術教育奨励基金 | 101,000,000 | 98,527,000 | △2.4 | 96,450,139 | △2.1 |
| 西部地区歴史的町並み基金 | 415,641,981 | 414,145,059 | △0.4 | 409,136,592 | △1.2 |
| スポーツ振興基金 | 108,795,758 | 107,378,758 | △1.3 | 105,685,216 | △1.6 |
| 地域振興基金 | 3,000,000,000 | 4,200,000,000 | 40.0 | 4,000,000,000 | △4.8 |
| 地球温暖化対策基金 | — | — | — | 87,800,000 | 皆増 |
| 奨学基金 | 164,739,000 | 161,770,000 | △1.8 | 160,061,832 | △1.1 |
| 介護給付費準備基金 | 463,887,298 | 688,286,432 | 48.4 | 688,036,416 | △0.0 |
| 介護従事者処遇改善 臨時特例基金 | — | 155,196,083 | 皆増 | 109,309,647 | △29.6 |
| 合 計 | 12,937,471,574 | 14,777,857,528 | 14.2 | 14,742,207,550 | △0.2 |

| 平成 2 2 年 度 | | 平 成 2 3 年 度 | | | |
|----------------|-------------|--------------|-----------|----------------|-------------|
| 年度末現在高 | 対前年度 増減率 | 原資等の増減 | 運 用 益 | 年度末現在高 | 対前年度 増減率 |
| 428,667,126 | 0.1 | △50,000,000 | 445,681 | 379,112,807 | △11.6 |
| 3,010,335,280 | 0.3 | — | 4,755,592 | 3,015,090,872 | 0.2 |
| 799,379 | 0.1 | — | 823 | 800,202 | 0.1 |
| 1,884,324,406 | 0.0 | △500,000,000 | — | 1,384,324,406 | △26.5 |
| 1,921,846,840 | 33.3 | 280,036,283 | 1,957,408 | 2,203,840,531 | 14.7 |
| 295,590,000 | 0.0 | — | — | 295,590,000 | 0.0 |
| 82,332,940 | △2.3 | △2,528,000 | — | 79,804,940 | △3.1 |
| 203,067,335 | △2.8 | △4,560,270 | — | 198,507,065 | △2.2 |
| 1,494,494,337 | △1.4 | △33,605,679 | — | 1,460,888,658 | △2.2 |
| 214,654,398 | △4.2 | △7,314,047 | — | 207,340,351 | △3.4 |
| 94,770,331 | △1.7 | △1,942,445 | — | 92,827,886 | △2.0 |
| 402,622,345 | △1.6 | △16,324,848 | — | 386,297,497 | △4.1 |
| 104,811,830 | △0.8 | △1,204,321 | — | 103,607,509 | △1.1 |
| 4,020,959,000 | 0.5 | △10,007,000 | — | 4,010,952,000 | △0.2 |
| 71,254,888 | △18.8 | △71,328,965 | 74,077 | 0 | 皆減 |
| 148,424,851 | △7.3 | 5,789,227 | — | 154,214,078 | 3.9 |
| 317,647,581 | △53.8 | △300,932,353 | 330,253 | 17,045,481 | △94.6 |
| 60,247,123 | △44.9 | △60,309,756 | 62,633 | 0 | 皆減 |
| 14,756,849,990 | 0.1 | △774,232,174 | 7,626,467 | 13,990,244,283 | △5.2 |